

TOSHIBA

東芝調光操作卓

TOLSTAR III

形名 **TRDM3-20M**

取扱説明書

この度は東芝ライテック製品をお買い求めいただき誠にありがとうございます。
安全にご愛用いただくために、ご使用前には必ず取扱説明書をお読みください。

東芝ライテック株式会社

目 次

ご使用の前に -----	1
はじめに -----	2
付属品を確認する -----	3
安全上のご注意 -----	4
TOL STARⅢを設置する -----	9
配線を接続する -----	10
背面のスイッチを設定する -----	12
主電源を入れる・切る -----	13
操作電源を入れる・切る -----	14
ちょっと操作してみましょう -----	15
各部の名前と使い方 -----	18
操作パネル -----	19
背面パネル -----	20
場面／シーン設定パネル -----	21
記憶パネル -----	22
設定パネル -----	23
ページ／シーンパネル -----	24
マスター／クロスパネル -----	25
プリセット／サブマスターパネル -----	26
チェイスパネル -----	27
ユーザーパネル -----	28
仕込み記入板 -----	29
フェーダ切替で調光卓の使い方を設定する -----	30
フェーダ切替機能 -----	31
場面を選択、消去する -----	36
場面を選択する -----	37
場面を消去する -----	38
場面にパッチを仕込む -----	39
パッチを仕込む -----	40
パッチを消去する -----	42
パッチする負荷を点灯する -----	45
パッチした内容をチェックする -----	46

プリセットで灯りを点灯する ----- 47

プリセットの機能 -----	48
プリセットで灯りを点灯する -----	50
プリセットをフリー設定にする -----	51
プリセットをタッチで点灯する -----	53

シーンで灯りを点灯する ----- 55

シーンの機能 -----	56
シーンに灯りを記憶する -----	57
シーンを消去する -----	59
シーンボタン再生で灯りを出す -----	62
シーンの自動再生をおこなう -----	64

クロスを使って灯りを点灯する ----- 68

クロスの機能 -----	69
P F - P F 再生で点灯する -----	71
シーン - P F 1 再生で点灯する -----	72
シーン - シーン 再生で点灯する -----	73

サブマスタで灯りを点灯する ----- 74

サブマスタの機能 -----	75
サブマスタに灯りを記憶する -----	76
サブマスタを消去する -----	79
サブマスタで灯りを出す -----	82
サブマスタをタッチで点灯する -----	83

チェイスを使う ----- 84

チェイスの機能 -----	85
チェイスに灯りを記憶する -----	86
チェイスを消去する -----	88
チェイスをサブマスタにコピーする -----	91
チェイスで灯りを出す -----	92
チェイスをサブマスタで点灯する -----	93
チェイスをタッチで点灯する -----	94

シーン、サブマスタ、チェイスを編集する ----- 95

コピー機能 -----	96
コピーをする -----	97
修正機能 -----	100
シーン、サブマスタを修正する -----	101

チェイスステップを修正する	104
ユーザー パネルを使う	106
ユーザー パネルを使う	107
ユーザー パネルの使い方を選ぶ	108
ON/OFF	109
ハウスライト（客席灯り）	113
ワンタッチシーン再生をつかう	118
その他の機能	122
フェーダ切替 固定／切替可の設定	123
記憶操作 禁止／記憶可の設定	124
電源OFF時に保持する情報	125
ブザー音について	126
拡張ユニットについて	127
PFユニットと客席調光ユニット	128
拡張ユニットの操作を有効にする	130
拡張ユニットをつなぐ	132
PFユニットのチャンネル割り付け	134
点検、仕様について	137
故障かなと思ったら	138
日常点検	141
概略仕様	142
添付資料	143

ご使用の前に

はじめに

東芝調光操作卓 TOL STARⅢをお買い上げいただきありがとうございます。本製品は、演出照明用の小型調光操作卓です。ボタンでのシーン再生、シーンの自動再生などの簡単な灯りから、クロス再生、サブマスタ、チェイス再生、客席調光などの演出用の灯りまで幅広い用途に使用いただけます。

TOL STARⅢの主な特徴

- 小型、軽量、多機能な調光操作卓です。
- 3場面とデフォルト場面を用意しています。3場面に負荷512回路をパッチできます。
- 場面ごとにシーン、サブマスタ、チェイスを記憶できます
- 20本フェーダを様々な用途でご使用いただけます
 - 10本×2段および20本1段のプリセットフェーダとして
 - 10本をサブマスタ、10本をプリセットフェーダとして
 - 20本のサブマスタとして 使用できます。
- シーン数は20シーン×10ページ 合計200シーン
- サブマスタ数は、20本×15ページ 合計 300シーン
- チェイスは 3パターン×25ステップ、3パターンの同時再生が可能です
ボタンとサブマスタの2種類の操作で再生します
- シーン再生は、ボタン再生、自動再生、クロス再生の3パターン
ボタン再生のフェード時間は、0.0秒～999.9秒
自動再生時間は、シーン毎に
 - フェード時間 0.1秒～9時間59分59.9秒
 - ウエイト時間 0.0秒～9時間59分59.9秒 の設定が可能です
- ユーザーパネルは、客席調光、ON/OFF再生、ワンタッチシーン再生の1つを選択して使用できます。
- その他、フリーフェーダ、+/-タッチ再生機能やコピー、修正などの編集機能など快適な仕込みと多様な演出を実現します。
- 調光出力信号は、業界標準のDMX512／1990
- 別売の拡張ユニット（PFユニット、客席調光ユニット）を組み合わせることで、機能の拡張、操作性の向上をすることができます。
詳しくは、「拡張ユニットを使用する」（→P127）をご参照ください

付属品を確認する

本製品には以下の付属品があります。ご確認ください。

※ 調光出力（DMX）用のDMXケーブルは付属しておりません。

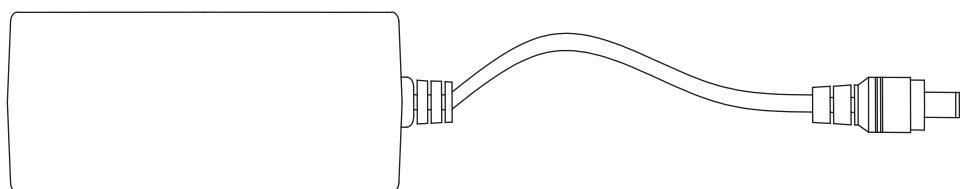
使用時にDMXケーブルをご用意ください。

別売：DMX512ケーブル（2m）

型名 AL-EXSR-2D-2（東芝ライテック製）

ケーブル長は上記以外3m、5m、10m、20m、30m、50mがあります。

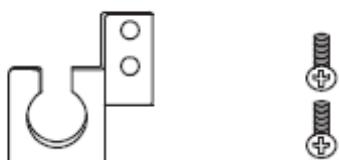
ACアダプタ（1個）



電源ケーブル（2m）（1本）



コネクタ抜け防止金具およびネジ（金具 1個、ネジ 2本）



仕込み記入板（各種 7枚）

プリセット用	シーン用	チェイス・場面用	ユーザーパネル用

安全上のご注意

必ずお守りください

お使いになる方や他の方への危害、財産への損害を未然に防止するため
必ずお守りしていただきたいことを、次のように説明しています。

表示内容の確認なしで、誤った使い方をしたときに生じる危険や損害の程度を、
次の表示で区分し、説明しています。

警告表示内容の説明

取扱説明書に警告表示をしています。

装置の使用前に警告内容を必ず確認の上、安全にご使用ください。

シグナル用語の意味



警告 この表示の欄は、「使用者が取扱いを誤った場合、死亡または重傷を負う可能性が想定される」また、「軽傷または物的損害のみの発生が想定される」内容です。



注意 この表示の欄は、「使用者が取扱いを誤った場合、軽傷を負う可能が想定される」また、「物的損害のみの発生が想定される」内容です。

絵文字の例



記号は警告や注意を促す内容があることを告げるものです。
図の中や近傍に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。



記号は禁止の行為であることを告げるものです。
図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

警告表示例

! 警 告	
	装置の通風口をふさがないで下さい。 火災・故障の恐れがあります。
	通電点検は電気工事士などの有資格者が行うこと。
	装置の分解・改造は行わないで下さい。 火災・感電・故障の恐れがあります。



警 告



- ・装置の通風口をふさぐ物が置かれていないか確認してください。
ふさがれると装置内部温度が上昇し、火災・故障の原因になります。



- ・装置の通電点検は、電気工事士などの有資格者が行ってください。
感電の恐れがあります。



- ・装置の分解、改造は行わないでください。
火災・感電・故障の恐れがあります。



注 意

1. 設置・取付けについて

- ・装置は屋内用です。屋外に設置しないでください。
屋外で使用すると、火災・感電・故障の原因になります。
- ・装置は発熱します。必ず換気された場所に設置してください。
火災・感電・故障の原因になります。
- ・直射日光・高温・多湿・塵埃・腐食性ガス・振動・衝撃等の環境は避けて設置してください。
火災・感電・故障の原因になります。
- ・装置の設置・取付に方向性のある装置があります。取扱説明書に従って正しく設置してください。
装置の転倒や火災・感電・故障の原因になります。
- ・装置の設置・取付時は、不安定な場所に設置しないでください。
装置の転倒や火災・感電・故障の原因になります。
- ・装置の入力電源は正しく選定して接続してください。
火災・感電・故障の原因になります。
- ・電源ケーブル、DMXケーブル等のケーブル類を無理に引っ張らないでください。
感電・故障の恐れがあります。
- ・電源ケーブル、DMXケーブル等のケーブル類は、コネクタに確実に接続してください。
コネクタがゆるんでいると火災・故障の原因になります。
- ・装置の移動は電源を切ってから行ってください。
火災・感電・故障の恐れがあります
- ・装置に強い衝撃を与えないでください。
火災・感電・故障の恐れがあります。
- ・装置に濡れた手で触れないでください。
感電の恐れがあります。



注 意

- 遮断器がトリップした時は、必ず原因を取り除いてから再投入してください。
火災・感電・故障の恐れがあります。
- ACアダプタ (DC IN 12V)、調光出力のケーブルを抜き挿しする前に主電源スイッチを切ってください。火災・感電・故障の原因になります。
- ACアダプタ本体は、安定した場所に設置してください。
火災・感電・故障の原因になります。

2. 使用前の準備について

- 装置の使用前に必ず取扱説明書または注意書をお読みください。
お読みいただいた後は大切に保管し、必要なときに活用してください。
- 装置の使用前の準備は、「舞台・テレビジョン照明技術者技能認定者」などの専門家が行ってください。
未熟練者だけでの対応は、間違いの原因になるおそれがあります。
- 装置の日常点検を実施してください。
点検の結果、取扱説明書に記載されている基準をはずれている場合は、取扱説明書に基づき処置をしてください。
- 装置は発熱します。換気されているか確認してください。
火災・感電・故障の原因になります。
- 直射日光・高温・多湿・塵埃・腐食性ガス・振動・衝撃等がないか確認してください。
火災・感電・故障の原因になります。
- 装置の設置・取付が不安定な場所に設置されていないか確認してください。
装置の転倒や火災・感電・故障の原因になります。
- 装置の入力電源が正しく接続されているか確認してください。
火災・感電・故障の原因になります。
- 電源ケーブル、DMXケーブル等のケーブル類が無理に引っ張られないか点検してください。
感電・故障の原因になります。
- 装置に強い衝撃を与えないでください。
火災・感電・故障の原因になります。
- 装置に濡れた手で触れないでください。
感電のおそれがあります。
- 電源ケーブル、DMXケーブル等のケーブル類がコネクタに確実に接続されているか確認してください。
コネクタがゆるんでいると火災・故障の原因になります。
- 操作卓の上に灰皿・飲食物等を置かれていないか、確認してください。
感電・故障の原因になります。



注 意

3. 使用方法について

- ・装置を取り扱う場合は、「舞台・テレビジョン照明技術者技能認定者」などの専門家が行ってください。
未熟練者だけでの対応は間違いの原因になります。
- ・装置に強い衝撃を与えないでください。
火災・感電・故障の原因になります。
- ・装置に濡れた手で触れないでください。
感電のおそれがあります。
- ・操作ケーブルを無理に引っ張らないでください。
感電・故障の原因になります。
- ・操作卓の上に灰皿・飲食物等を置かないでください。
感電・故障の原因になります。
- ・ACアダプタは、メーカー指定の純正部品を使用してください。
火災・感電・故障の原因になります。
- ・地震などの天災の後、再使用前に「舞台・テレビジョン照明技術者技能認定者」などの専門家が点検を行ってください。
- ・背面のPC、拡張、リモコンの各コネクタは使用できません。
- ・塗装色、表示色は、同一製品内及びトルスターⅢシリーズの機器内であっても
違いが生じることがあります。

4. 保守点検について

- ・装置の日常点検を実施してください。点検の結果、取扱説明書に記載されている基準をはずれている場合は、取扱説明書に基づき処置をしてください。
- ・装置の点検（整備）は「舞台・テレビジョン照明技術者技能認定者」などの専門家が行ってください。未熟練者だけでの対応は・火災・感電・故障の原因になります。
- ・装置の点検・清掃時は、必ず電源を切ってください。
電源を切らないと感電するおそれがあります。
- ・操作ケーブルを無理に引っ張らないでください。
感電・故障の原因になります。
- ・装置に強い衝撃を与えないでください。
火災・感電・故障の原因になります。
- ・装置に濡れた手で触れないでください。
感電のおそれがあります。



注 意

- ・装置の安全で正常な動作を維持するため、定期的に製造業者、専門家の点検・調整を受けてください。
- ・交換部品は、メーカー指定の純正部品を使用し、取扱説明書に基づき確実に処置をしてください。装置の火災・感電・故障の原因になります。

5. 異常時の対処について

- ・煙が出る、変な臭いがするなどの異常事態には、すぐに電源を切ってください。
火災・感電の原因になります。
- ・装置の異常と思われるときには、異常の原因を究明してください。
容易に原因の究明ができない場合は、メーカーに修理依頼をしてください。
- ・地震などの天災の後、再使用前に「舞台・テレビジョン技術者技能認定者」などの専門家が点検を行ってください。
未熟練者だけでの対応は、火災・感電・故障の原因になります。

6. 保管時について

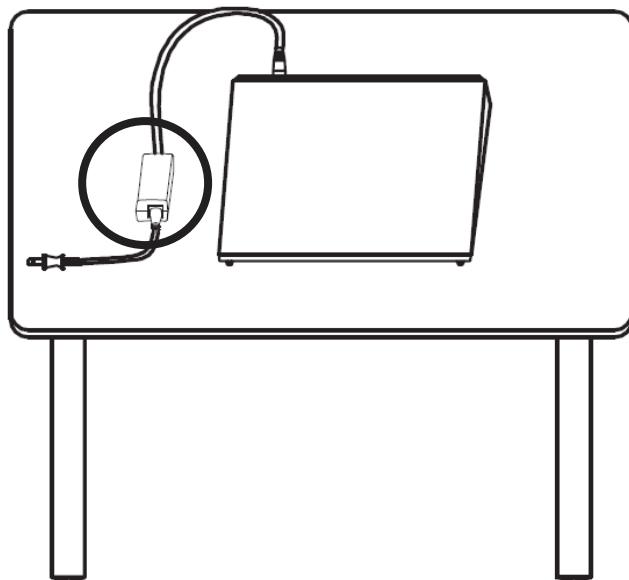
- ・直射日光・高温・多湿・塵埃・腐食性ガス・振動・衝撃等の環境に保管しないでください。
故障・絶縁不良の原因となります。
- ・再使用するときは、点検を必ず行ってから使用してください。
火災・感電・故障の原因となるおそれがあります。

TOL STARⅢを設置する

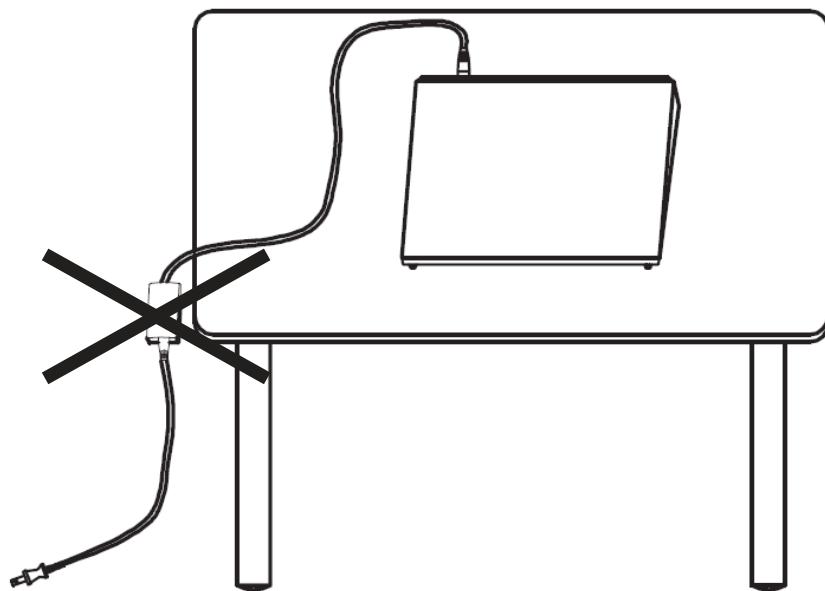
TOL STARⅢは、安定した平らな机などの上に設置してご使用ください。

電源ケーブル、信号ケーブルなどのケーブルがひっぱられないように十分ご注意ください。
ACアダプタ本体をケーブルで支えるような設置はしないでください。

正しい設置例



誤った設置例



配線を接続する

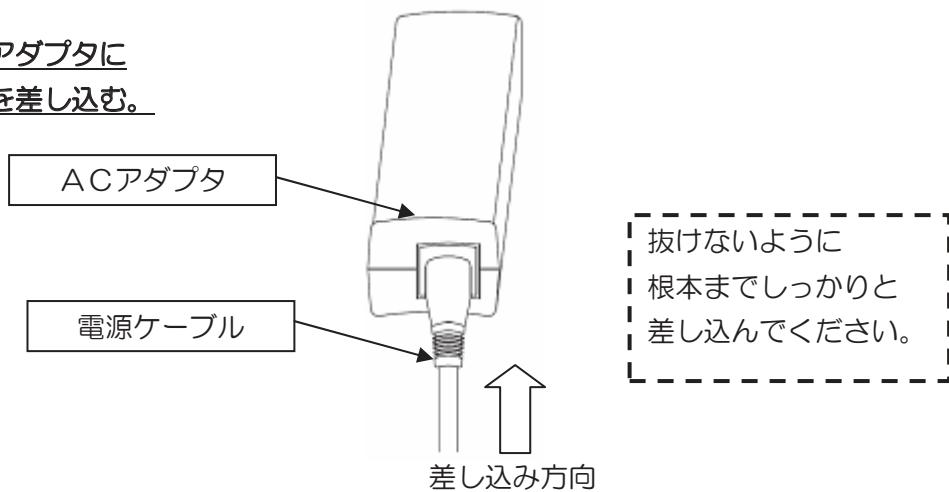


警 告

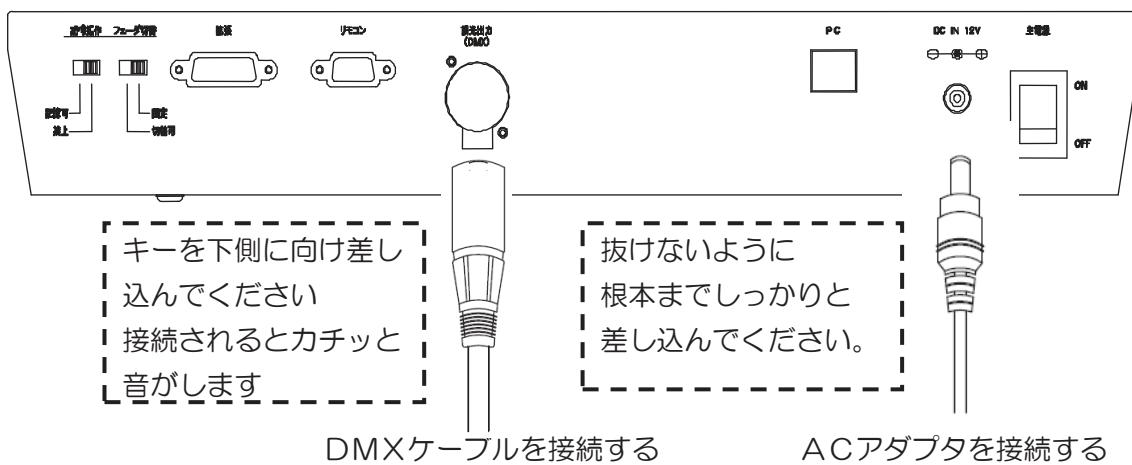


- 配線を接続するときは、電源ケーブルをコンセント（AC 100V）につながないでください。
感電・故障の恐れがあります。

付属品のACアダプタに
電源ケーブルを差し込む。

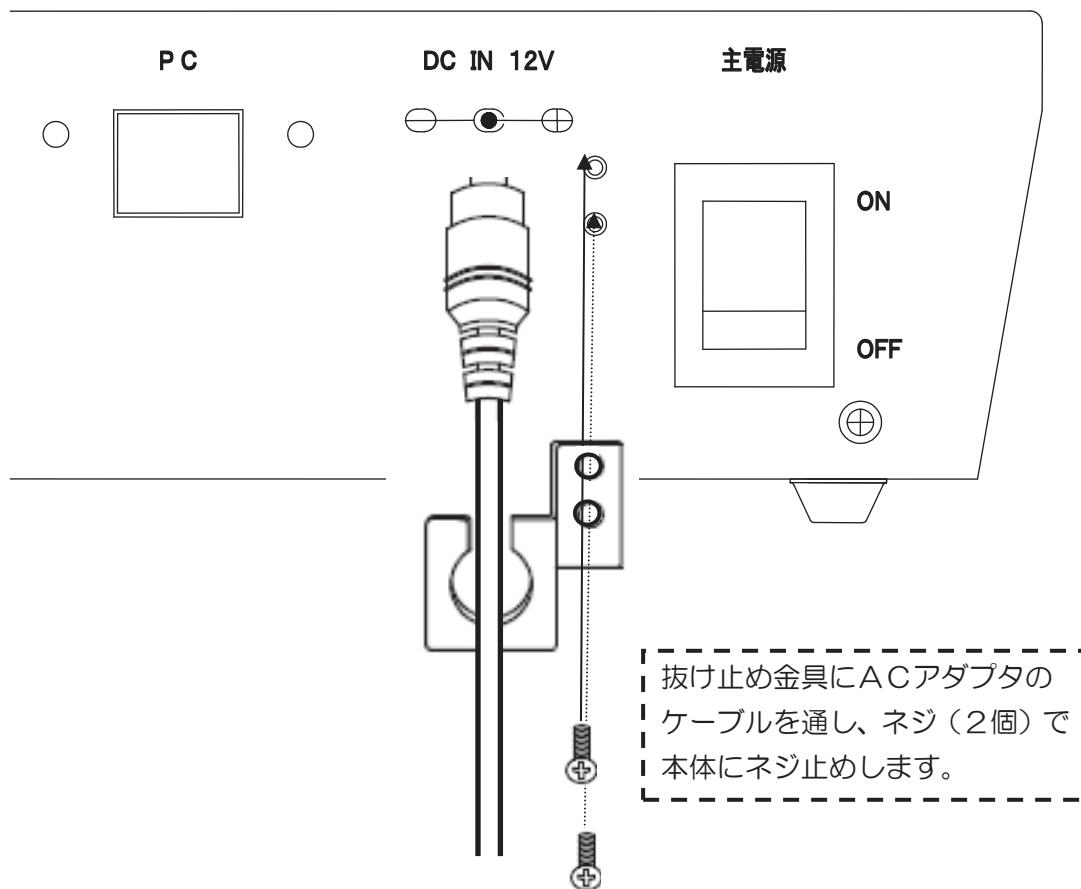


ACアダプタをTOL STARⅢ本体に差し込む。
調光出力にDMXケーブルを差し込む。

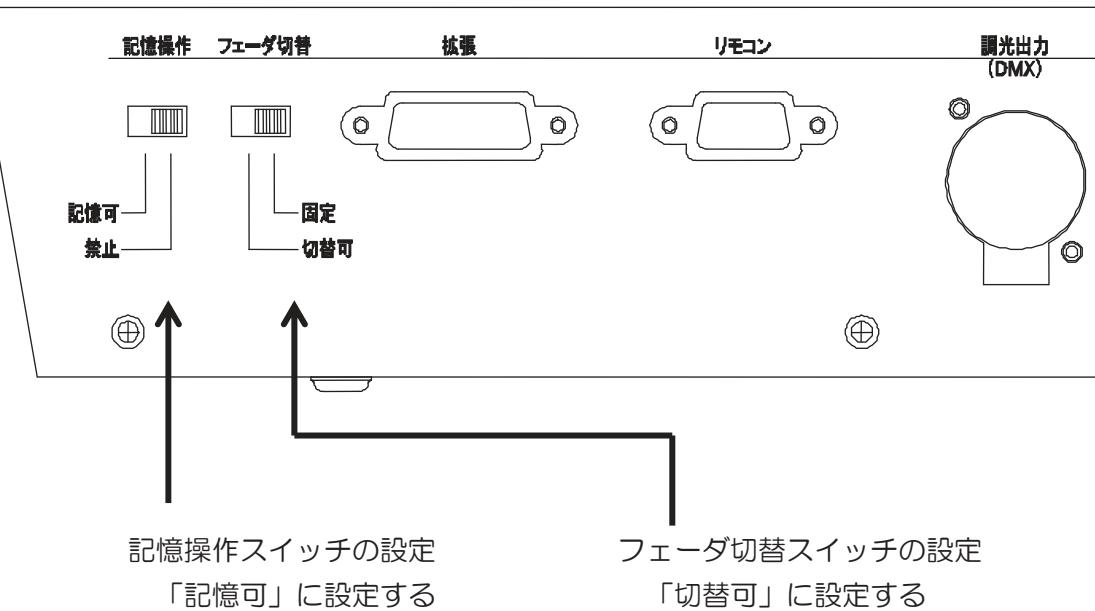


抜け止め防止金具を取り付ける

ACアダプタのコネクタが本体から外れないように付属品の抜け止め金具で固定することができます。



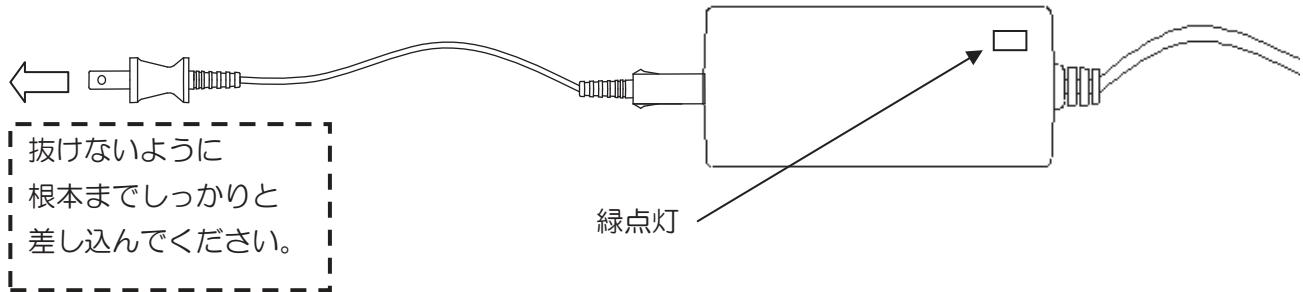
背面のスイッチを設定する



主電源を入れる・切る

配線が正しく接続されていることを確認してください。

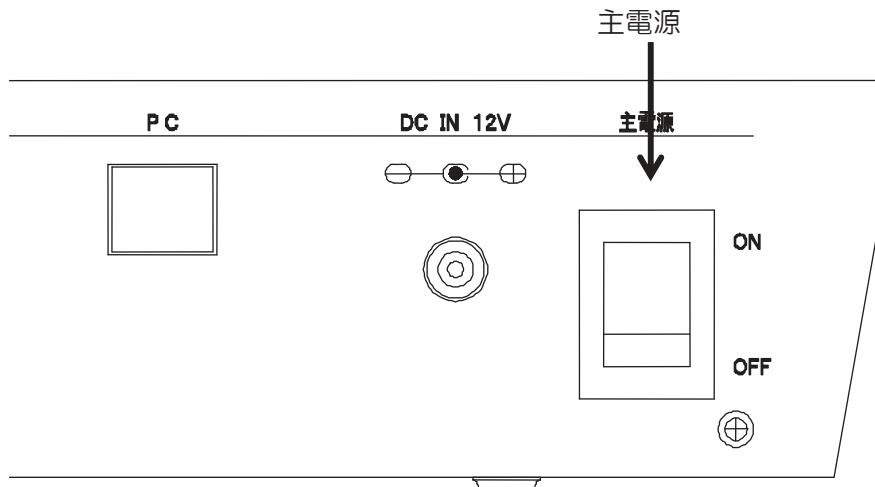
電源ケーブルをAC100Vコンセントに差し込む。



主電源をONにする。

通常、主電源はONのままで使用してください。

長期間使用しない場合は、主電源をOFFにしてください。

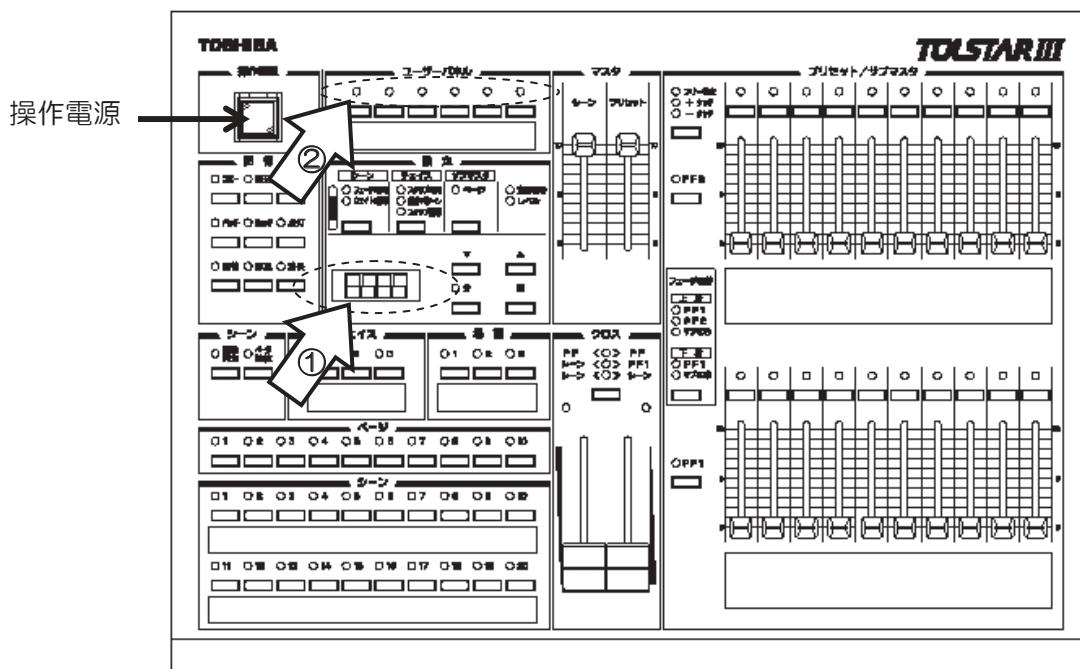


注意：

操作電源ONの状態で主電源をOFFしないでください。

卓に保存しているデータが壊れる場合があります。

操作電源を入れる・切る



操作電源ON

操作電源をONすると、操作電源のスイッチが点灯します。

- ①7セグ表示にソフトウェアのバージョンを2秒間表します。
- ②ユーザーパネルの設定を2秒間表示します。

左から1番目が点灯：ON/OFF

左から2番目が点灯：ハウスライト

左から3番目が点灯：ワンタッチシーン

主電源を入れてから10秒程度は、

操作電源を入れてもすぐに操作電源スイッチが点灯しない場合があります。

操作電源OFF

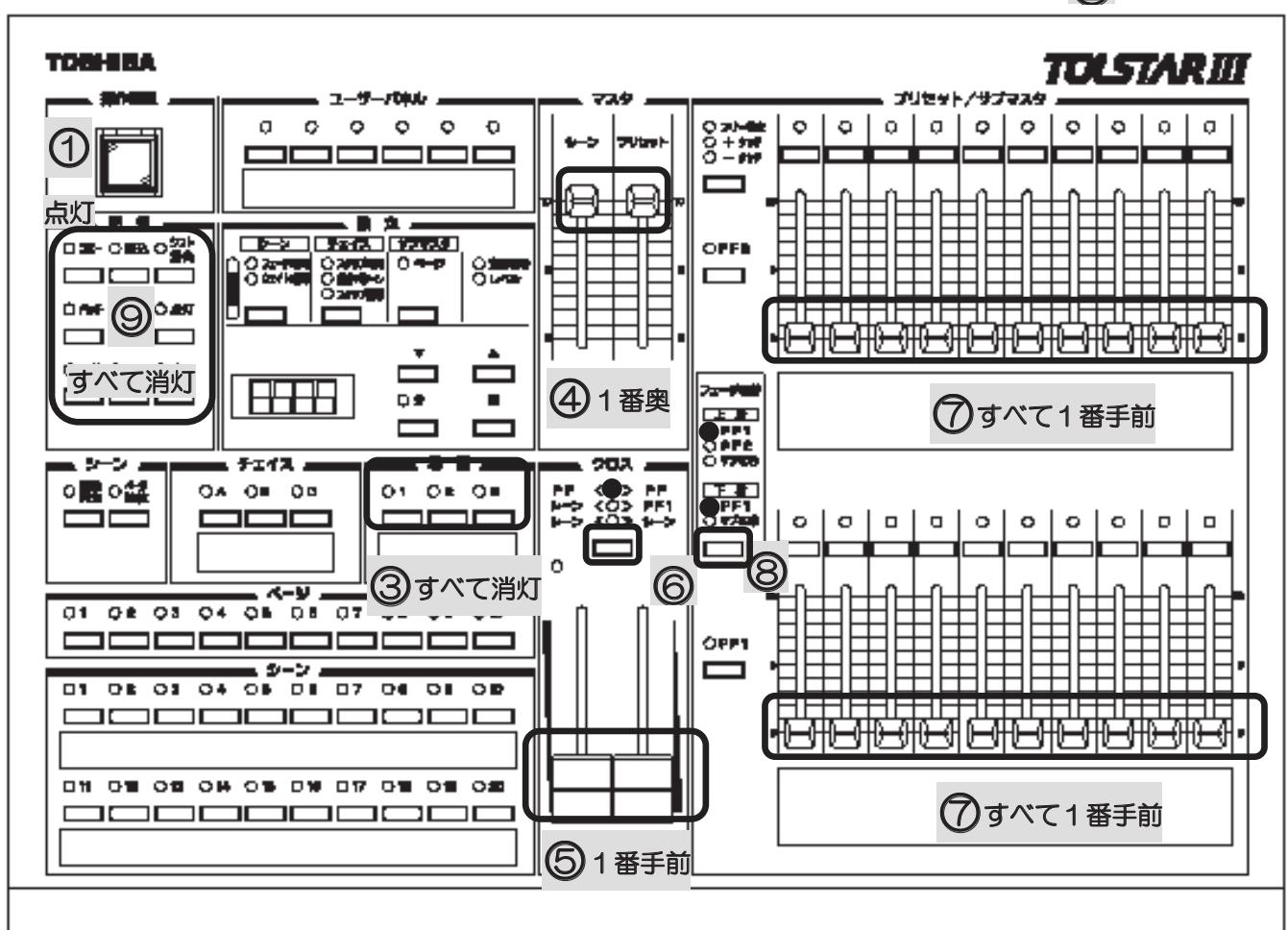
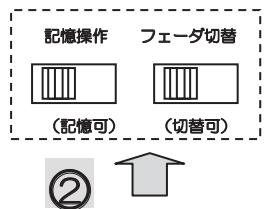
操作電源をOFFすると、操作電源スイッチが消灯します。

内部データ保護のため操作電源スイッチが消灯するまでしばらくかかる場合があります。

ちょっと操作してみましょう

*パネルの状態を確認します

- ① 操作電源をONします。（「操作電源」LEDが点灯）
- ② 背面のスイッチを記憶可、切替可側に設定します。
- ③ 場面のLEDが消灯していることを確認します。
点灯している時は、点灯している場面（1、2、3）ボタンを2回ゆっくりと押します。
- ④ プリセットマスタとシーンマスタを一番奥に動かします。
- ⑤ クロスフェーダを2本とも一番手前に動かします。
- ⑥ クロスフェーダ切替ボタンを押して、「PF-PF」のLEDを点灯させます。
- ⑦ 20本のフェーダを一番手前に動かします。
- ⑧ フェーダ切替ボタンを押して上段「PF1」下段「PF1」にします。
- ⑨ 記憶パネルのLEDがすべて消灯していることを確認します。
点灯している時は、点灯しているボタンを一回押します。（LEDが消えます）



*灯りをつけてみます

- ① 20本のフェーダを奥側に動かします。

灯りがつくはずです。20本のフェーダで自由に灯りを操作してください。

→灯りが付かない場合には、背面の調光出力コネクタにDMXケーブルが差さっていることを確認してください。

*灯り（シーン）を記憶します

- ② 好きな灯りができたら、記憶パネルの記憶ボタンを一回押します。「記憶」LEDが点灯します。

- ③ ページパネルの1のボタンを押します。（赤点灯していれば押す必要はありません）

- ④ シーンパネルの1のボタンを押します。

・・・「1」のLEDが橙色に点灯したら、記憶ができました。

・・・「1」のLEDが赤点滅していたら、もう一度、1のボタンを押します。（上書き）

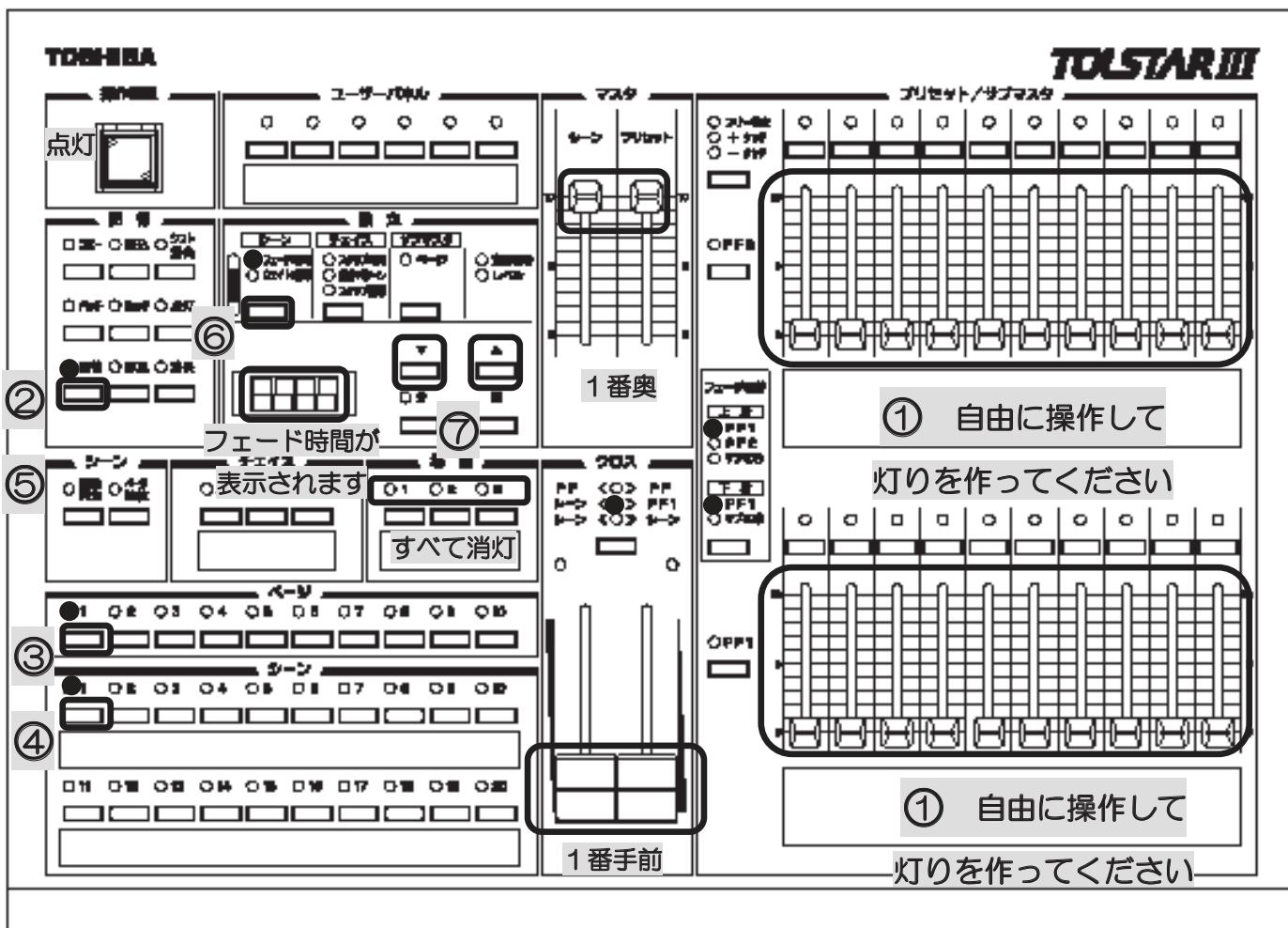
- ⑤ 記憶パネルの記憶ボタンを一回押します。「記憶」LEDが消灯します。

*フェード時間を設定します。（シーン灯りの移り変わる時間です）

- ⑥ 設定パネルのシーンボタンを一回押します。「フェード時間」LEDが点灯します。

- ⑦ ▼ ▲ ボタンを押すと7セグ表示の数字がUP/DOWNします。

7セグ表示の数字がフェード時間です。例えば3.0の場合3秒間を示しています。



* 灯り（シーン）を再生します

- ① 20本のフェーダをすべて、手前にします。（フェーダの灯りが全て消えます）
- ② 先ほど記憶した1のボタンを押します。1のLEDが赤点灯します。
・・・・先ほど記憶した灯りが再現されます。
- ③ シーンマスターを動かしてみます。・・・・シーンの灯りが全体的に変化します。
シーンマスターを一番奥側に戻します。
- ④ もう一度、1番のボタンを押します。1のLEDが橙点灯します。・・・・シーンの灯りが消えます。

＊＊ シーンの灯りとプリセットフェーダの灯りは同時に点灯することができます。

（その灯りをシーンに保存することもできます）

＊＊ いろいろな灯りをシーンパネル1～20のボタンに保存して、再生してください。

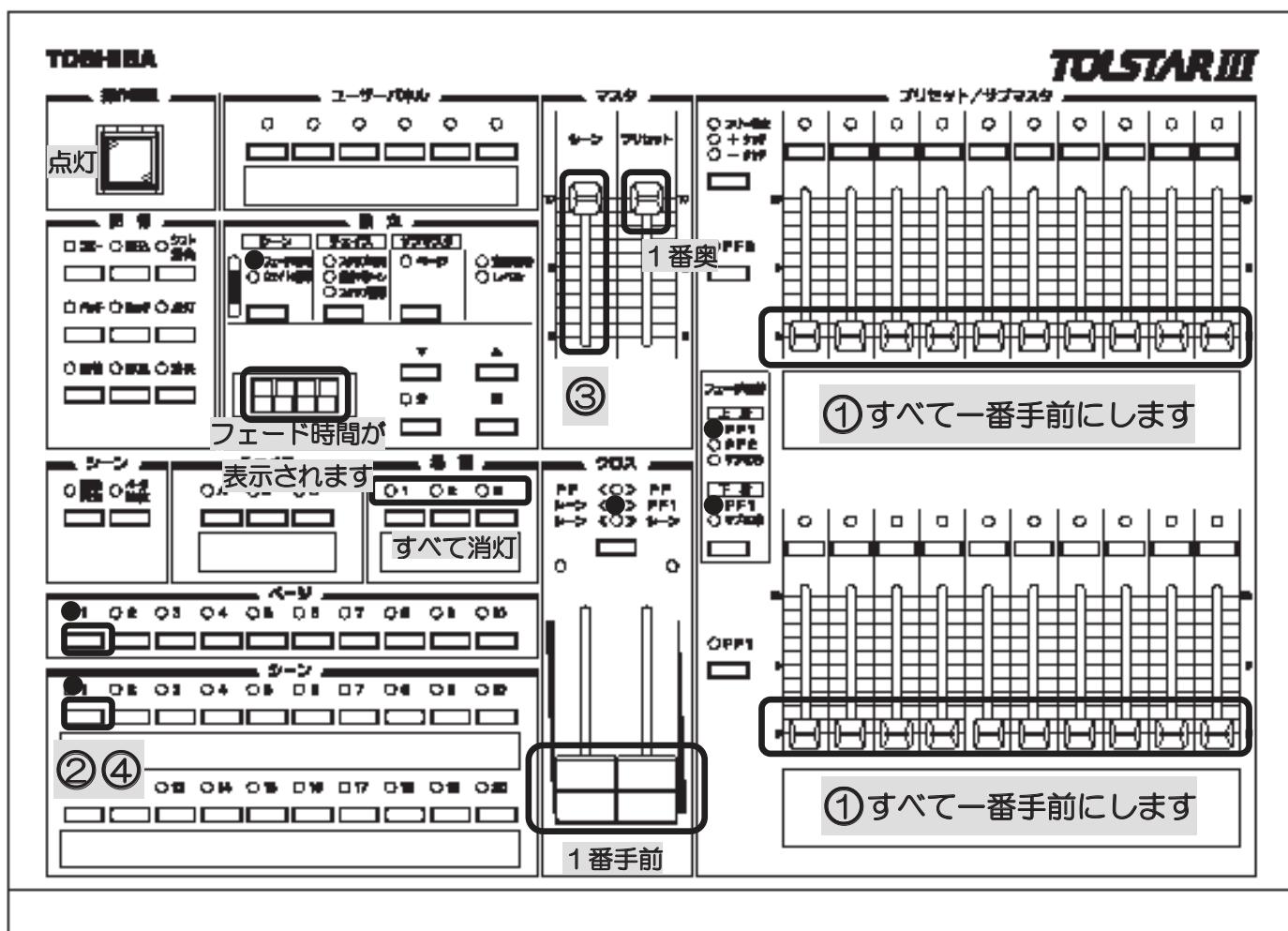
＊＊ ページ（1～10）を切替えることでさらに多くのシーンをつくることができます。

＊＊ シーンの複数同時再生はできません。

シーンを再生している時に別のシーンボタンを押すと

再生していたシーンの灯りはフェード時間で0レベルへ移り変わり

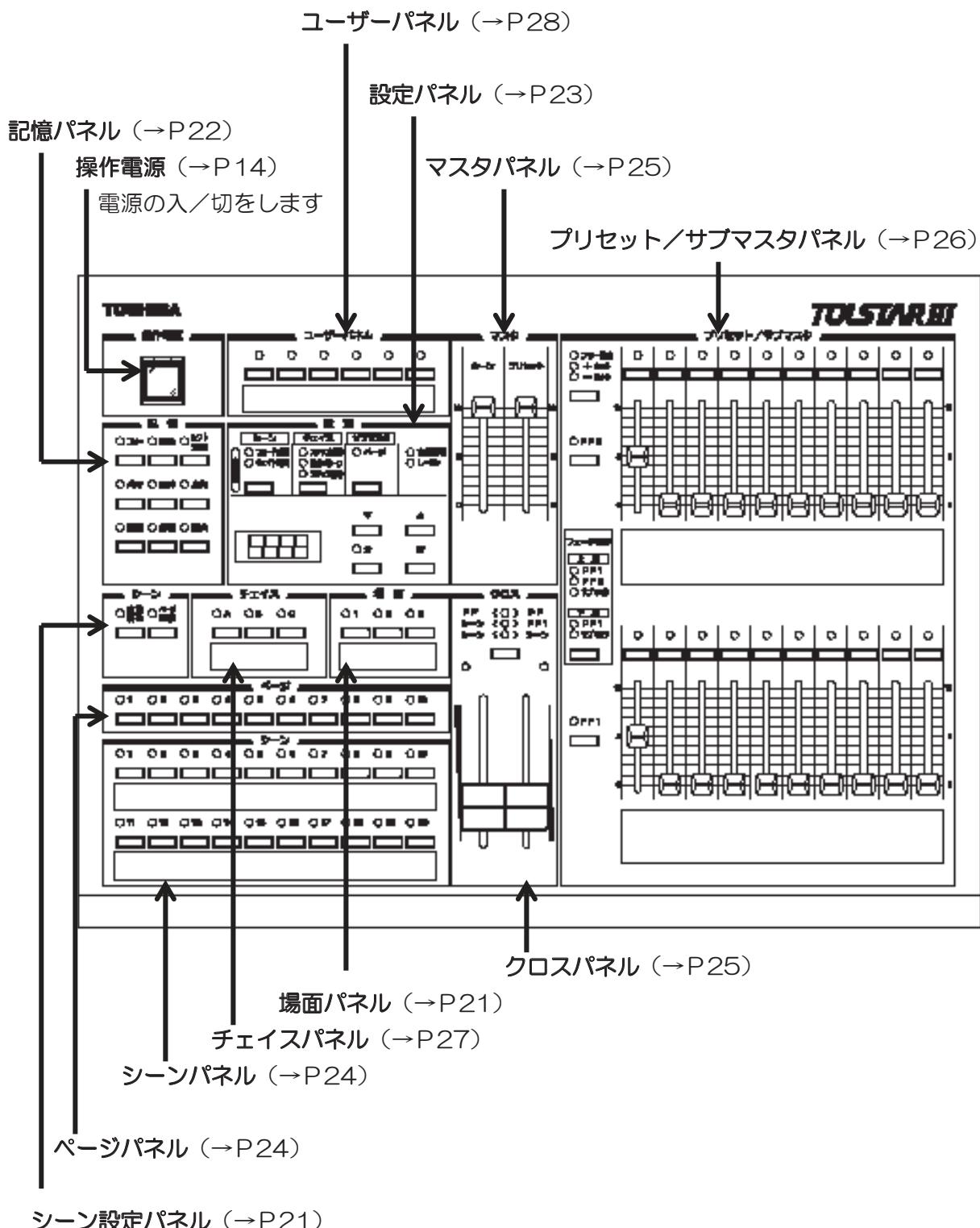
再生するシーンは、0レベルからフェード時間でシーンの灯りに移り変わります。



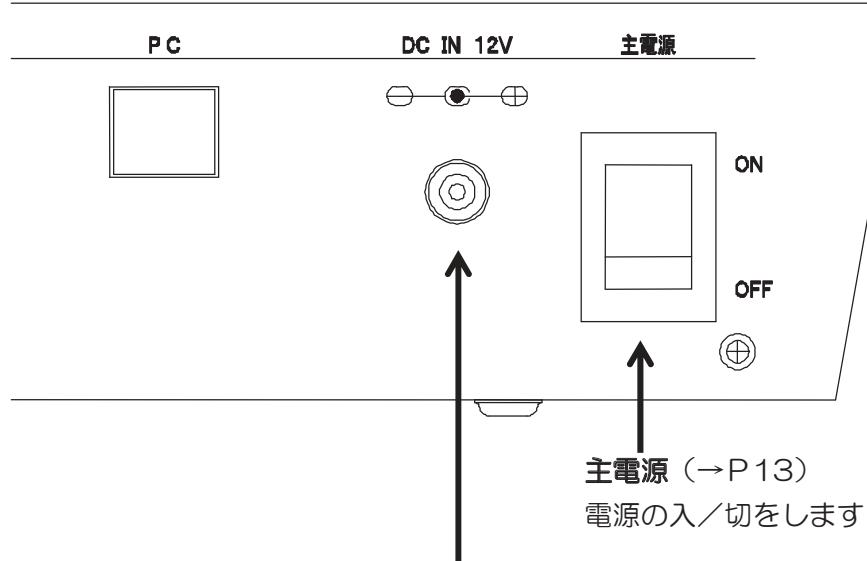
各部の名前と 使い方

操作パネル

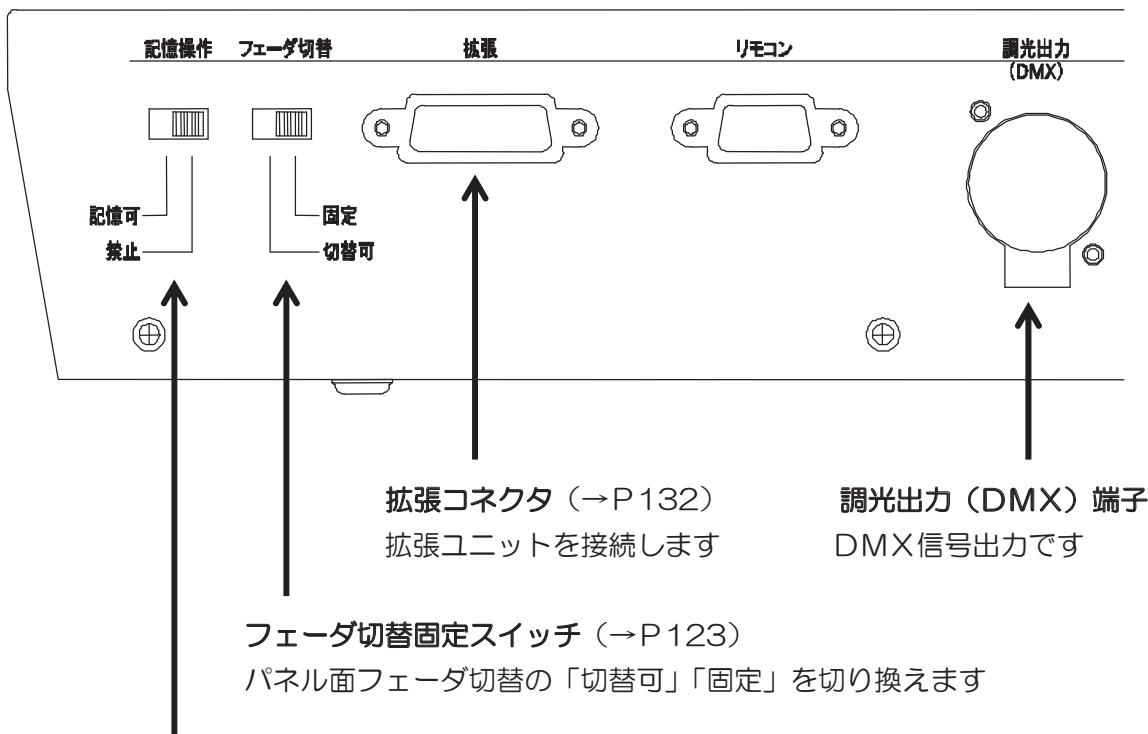
※ パネル個別の詳細は各ページを参照してください。



背面パネル



ACアダプタ入力端子
DC 12VのACアダプタ入力端子です

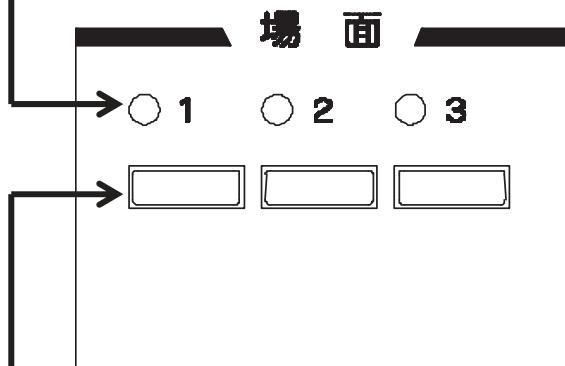


場面／シーン設定パネル

場面パネル

場面選択LED

選択している場面のLEDが点灯します
すべて消灯の時はデフォルト場面が選択されています



場面選択ボタン (→P37)

場面を選択するボタンです

現在選択している場面のボタンを2回押すとデフォルト場面になります

シーン設定パネル

自動再生LED

シーンの自動再生が
行われている時に
点灯します。

自動再生ボタン (→P64)

シーンを自動再生する場合の
選択ボタンです。

ページ連続LED

シーン再生がページをまたいで
連続して行われる場合に点灯
します。

ページ連続ボタン (→P67)

シーンの再生をページ単位か
ページをまたいで連続で再生するか
を選択するボタンです。

記憶パネル

コピーLED/ボタン

コピーに使用します

- シーンへのコピー (→P97)
- サブマスタへのコピー (→P97)
- チェイスをサブマスタへコピー (→P91)

チェックLED/ボタン

パッチ設定時、パッチの確認に使用します。

- パッチの確認 (→P46)
- ON/OFF パッチの確認 (→P109)

パッチLED/ボタン

- パッチ設定に使用します
- パッチ設定 (→P41)
- ON/OFF パッチの設定 (→P110)

記憶LED/ボタン

各種、記憶操作時に使用します

- シーンへの記憶 (→P57)
- サブマスタへの記憶 (→P76)
- チェイスへの記憶 (→P86)
- 客調への記憶 (→P114)
- ワンタッチシーン再生への記憶 (→P119)

割込LED/ボタン

割込み記憶に使用します。

- シーンでの割込記憶 (→P58)
- サブマスタでの割込記憶 (→P78)
- チェイスでの割込記憶 (→P87)

シフト消去LED/ボタン

シフト消去に使用します。
シーンのシフト消去 (→P60)

- サブマスタのシフト消去 (→P80)
- チェイスのシフト消去 (→P89)

点灯LED/ボタン

パッチ設定時に負荷の点灯確認をする場合に使用します
パッチ設定時 (→P45)

記憶

○**コピー** ○**割込** ○**シフト消去**

○**パッチ** ○**チェック** ○**点灯**

○**記憶** ○**修正** ○**消去**

↑
↑
↑

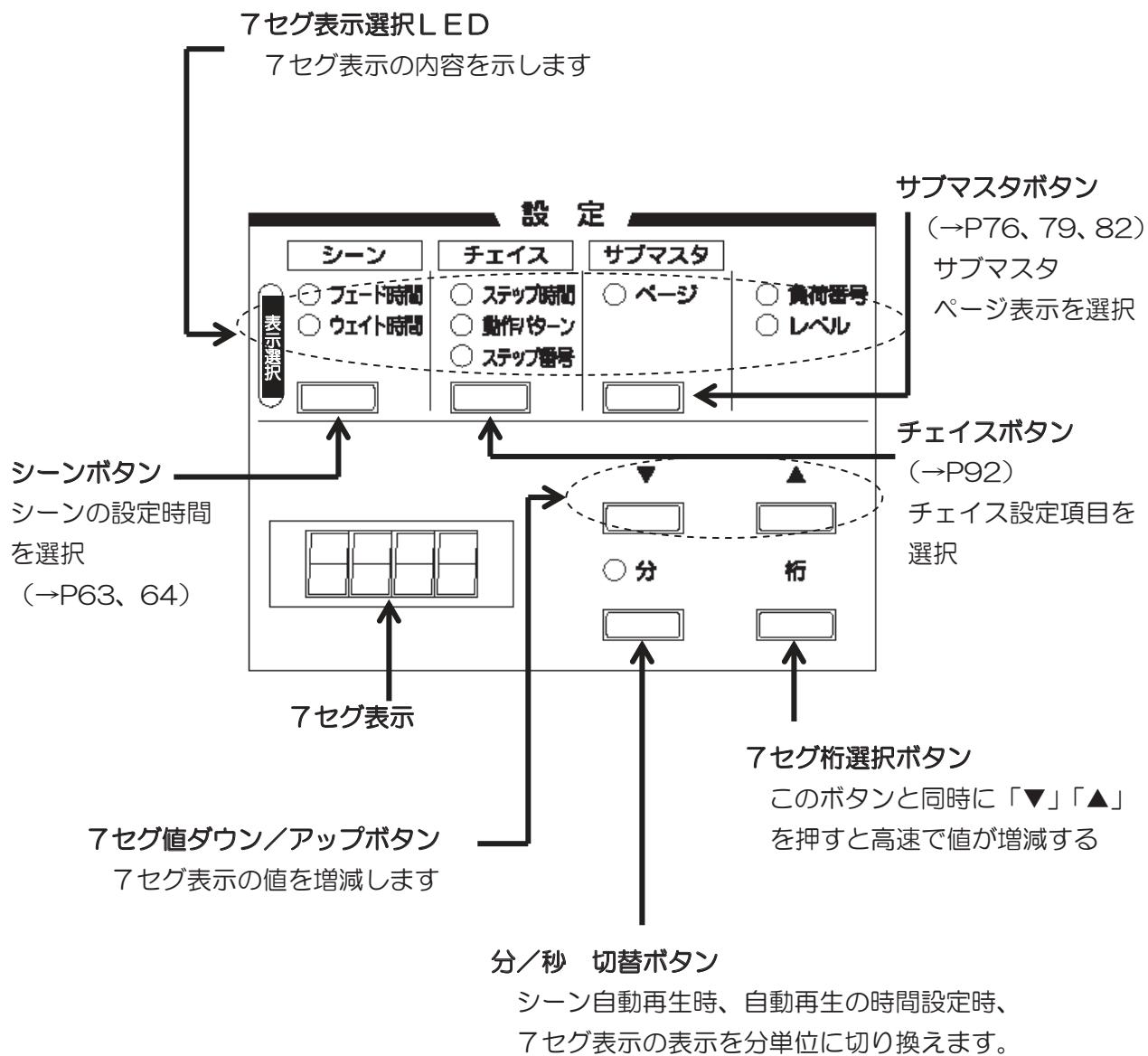
修正LED/ボタン

- 修正記憶時に使用します
- シーンの修正 (→P101)
- サブマスタの修正 (→P101)
- チェイスの修正 (→P104)

消去LED/ボタン

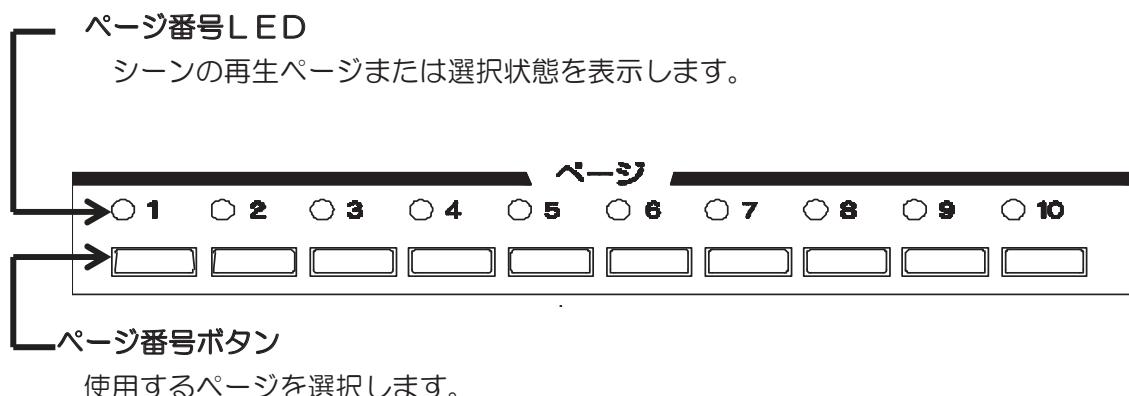
- 消去時に使用します
- パッチの消去 (→P42)
- ON/OFF パッチの消去 (→P111)
- シーンの消去 (→P59)
- サブマスタの消去 (→P79)
- チェイスの消去 (→P88)
- 客調(明、暗)の消去 (→P115)
- ワンタッチシーン再生の消去 (→P120)

設定パネル



ページ／シーンパネル

ページパネル (→P55)



シーンパネル (→P55)

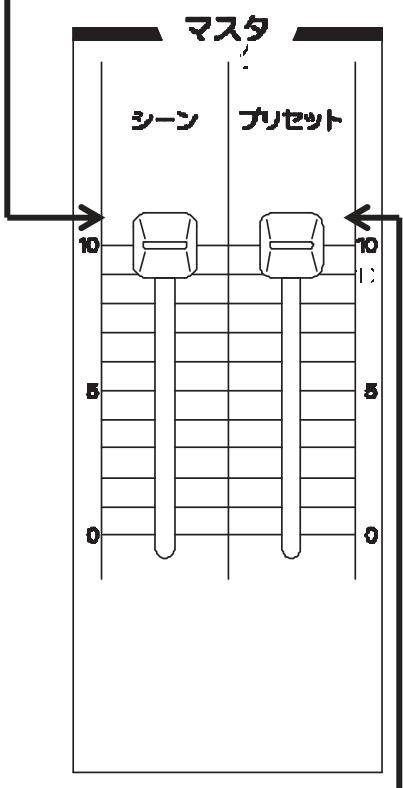


マスタ／クロスパネル

マスタパネル

シーンマスタフェーダ (→P56)

シーン再生、チェイス再生時の
全体の明るさを調整します



プリセット

マスタフェーダ (→P48)

プリセットフェーダ

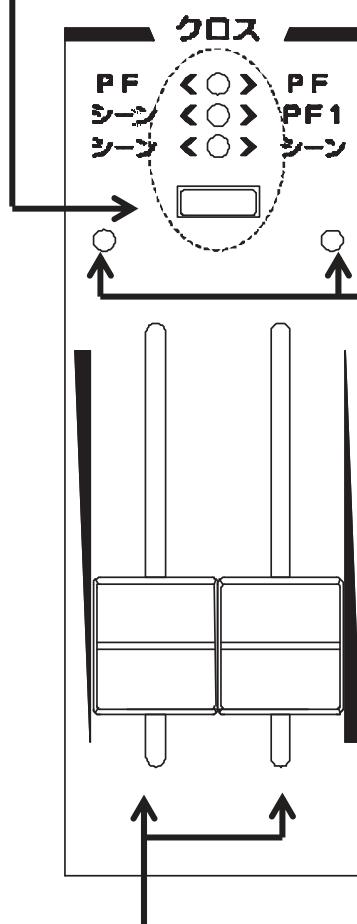
再生時の全体の明るさを
調整します

クロスパネル

クロスマード切替 (→P69)

ボタン/LED

クロスフェーダへ割り付けを切替えます



クロスフェーダ (左・右)

左側に割りついている灯りは上側でフル点灯
右側に割りついている灯りは下側でフル点灯

プリセット/サブマスタパネル

フェーダ選択ボタン

タッチ再生、各種設定のフェーダ選択に使用します。

フェーダLED

調光レベル又はフェーダの設定状態、選択状態を表示します。

フェーダ選択切替 LED/ボタン

フェーダ選択ボタンの
使用方法を切替えます。

フリー機能 (→P51)

タッチ機能

プリセット (→P53)

サブマスタ (→P83)

チェイス (→P94)

フェーダ切替 LED/ボタン (→P31)

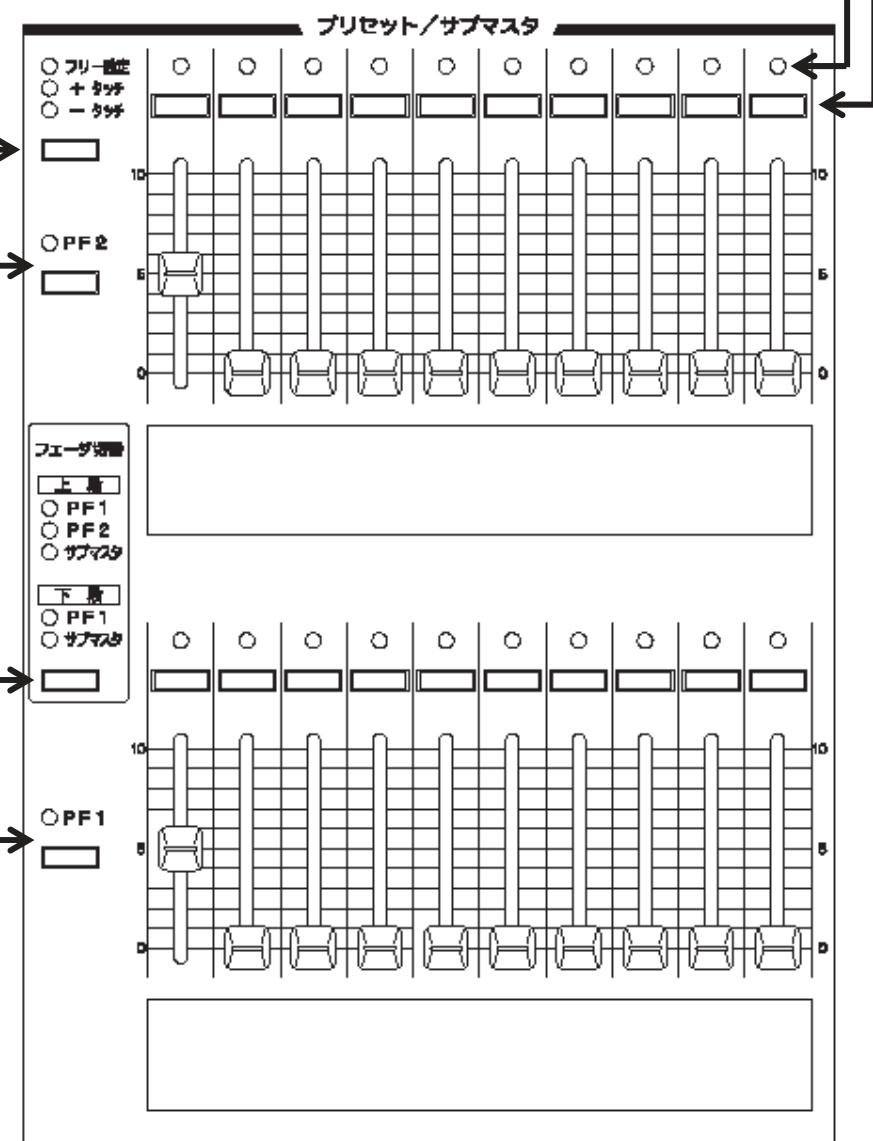
フェーダの再生機能を
切り換えます

PF1, PF2 LED

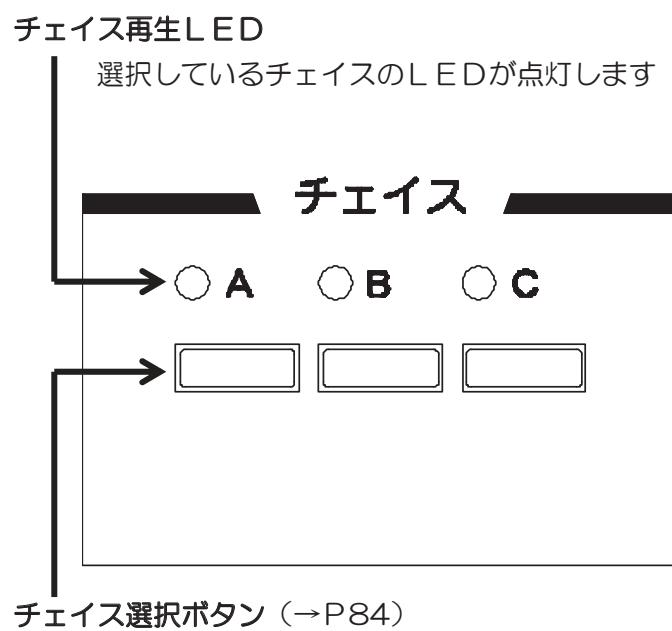
PF1, 2のプリセットの
再生状態、または修正段の
選択状態を表示します。

修正段選択切替ボタン (→P101, 104)

修正段の切り換えに使用します



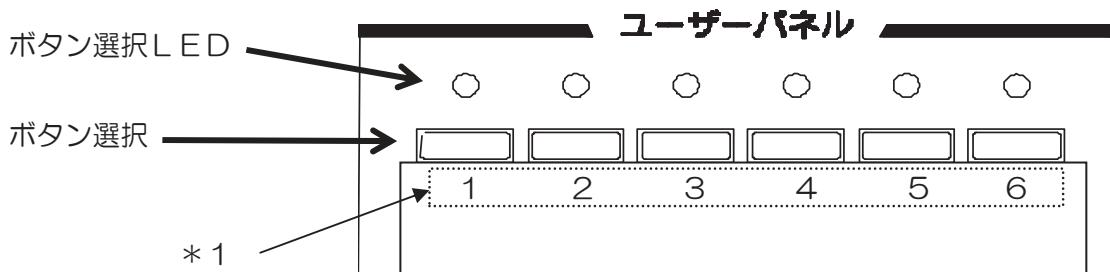
チェイスパネル



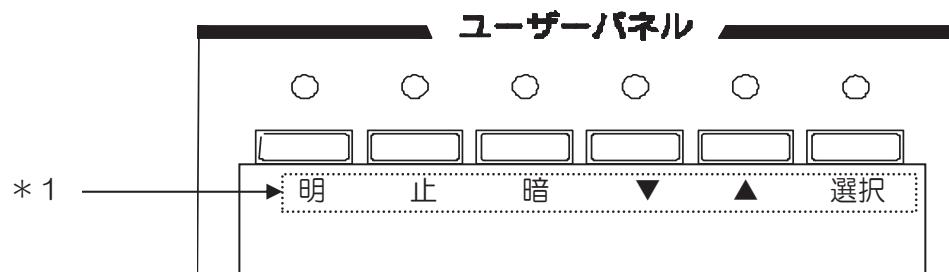
ユーザーパネル

ユーザーパネルは3つの機能から一つ選択します。(選択のしかた→P108)

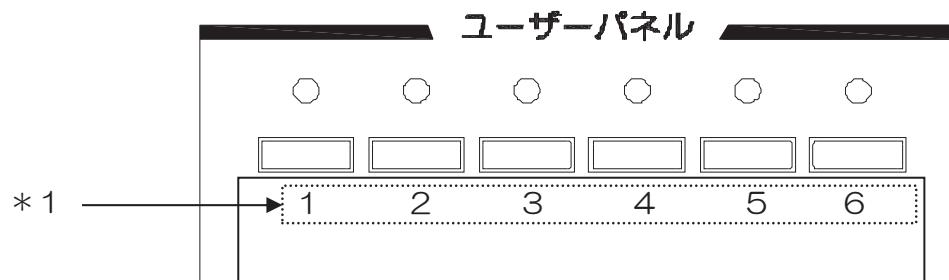
ON/OFFパネル



客席パネル



ワンタッチシーン再生パネル



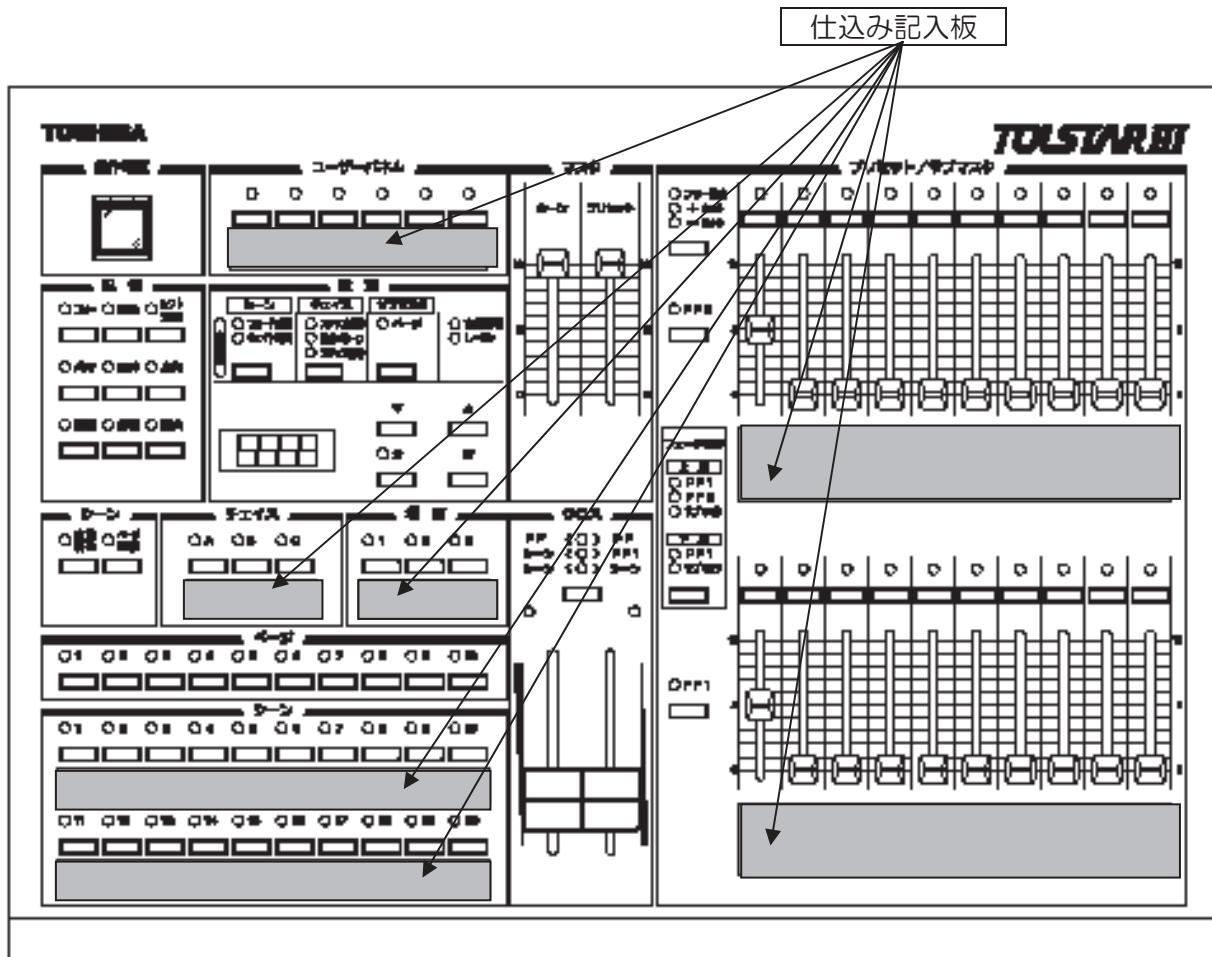
*1 ご使用になるパネルの設定に応じて、付属品の仕込み記入板に点線枠内の文字を書き込んでください。

仕込み記入板

TOLSTARⅢ は7枚の仕込み記入板を付属しています。

仕込み記入板は、磁力を帶びていますのでパネルに張り付きます。

下図の通り配置いただき、フェーダの名称などを表示してご使用ください。



仕込み記入板が汚れた場合には、消しゴムやアルコール塗布した布で汚れをふき取ってください。

(TOLSTARⅢ本体、仕込み記入板以外の付属品の清掃にはアルコールを使用しないでください)
ご使用になる筆記文具によっては汚れが落ちない場合がございますのでご注意ください。

フェーダ切替で 調光卓の使い方 を設定する

フェーダ切替機能

フェーダ切替とは

プリセット／サブマスタパネルの10本×2段のフェーダの使用用途を設定します。

使用用途は4パターンです。

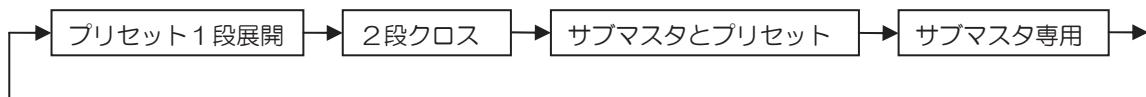
上下段 20本連続のプリセットフェーダ（プリセット1段展開）

2段10本のプリセットフェーダ（2段クロス）

上段10本のサブマスタフェーダと下段10本のプリセットフェーダ（サブマスタとプリセット）

上下段20本連続のサブマスタフェーダ（サブマスタ専用）

フェーダ切替ボタンにより次の順番で切り替わります



上段10本、下段10本 2段のプリセットフェーダとして使用する場合（2段クロス）

上段が P F 2、下段が P F 1となります。P F 1とP F 2の灯りの切り換えは、クロスフェーダでおこないます。「クロスを使って灯りを点灯する」(→P68) を参照してください。

サブマスタページの表示の見方

サブマスタ10本設定時とサブマスタ20本設定時で異なります。

どちらの設定でも300シーンのサブマスタを保存、再生できます。

サブマスタ10本設定時の7セグ表示

ページ1-1、1-2、2-1・・・15-1、15-2 の30ページ

サブマスタ20本設定時の7セグ表示

ページ1、2、3・・・14、15 の15ページ

サブマスタ10本設定時と20本設定時のフェーダの対応は以下の通りです。

7セグ表示（10本設定時） → 20本設定時のフェーダ位置

ページ 1-1 → ページ 1 下段の10本

ページ 1-2 → ページ 1 上段の10本

ページ 2-1 → ページ 2 下段の10本

•

•

•

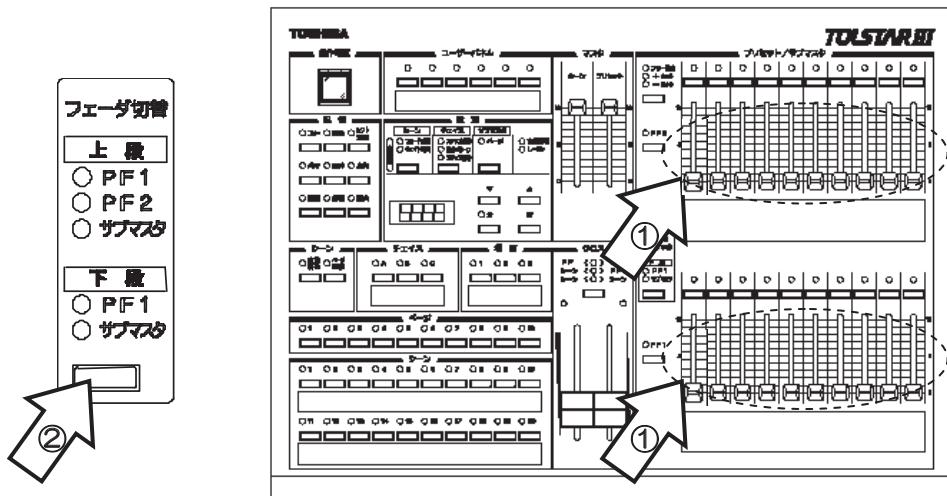
ページ14-2 → ページ14 上段の10本

ページ15-1 → ページ15 下段の10本

ページ15-2 → ページ15 上段の10本

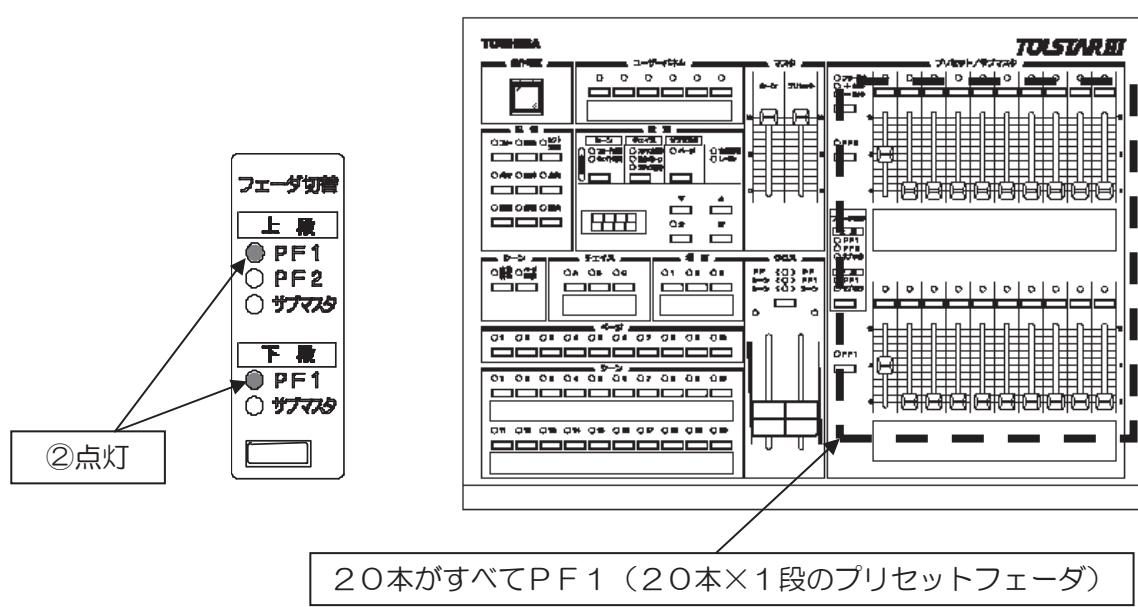
プリセット1段展開（20本）で使用する

20本を1段のプリセットフェーダとして使用します。)



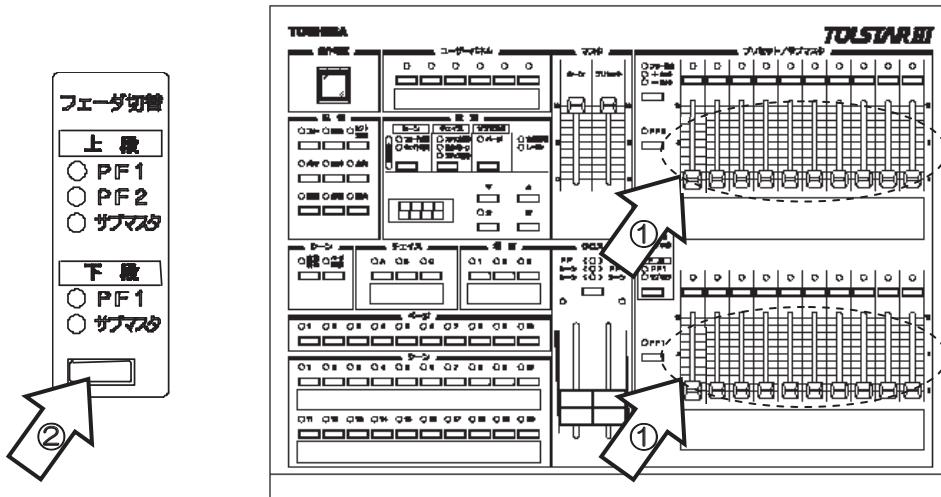
- ① フェーダ切替により設定が変化する段のフェーダをすべてO（手前側）にする
 *現在、フェーダが「PF2」「PF1」の2段クロス設定または
 「サブマスター」「PF1」のサブマスター＆プリセット設定のとき
 →上段10本のフェーダすべてをO（手前側）にする
 *現在、フェーダが上下段とも「サブマスター」のサブマスター設定のとき
 →上段、下段 20本のフェーダすべてをO（手前側）にする
- ② 上下段 20本連続のプリセットフェーダ（PF1）に設定する。

プリセット/サブマスター フェーダ切替を押し、上下段「PF1」を選択する
 上段 PF1 LED 点灯
 下段 PF1 LED 点灯
 ボタン音 ピッ



2段（×10本）クロスで使用する

10本×2段のプリセットフェーダとして使用します。



① フェーダ切替により設定が変化する段のフェーダをすべてO（手前側）にする

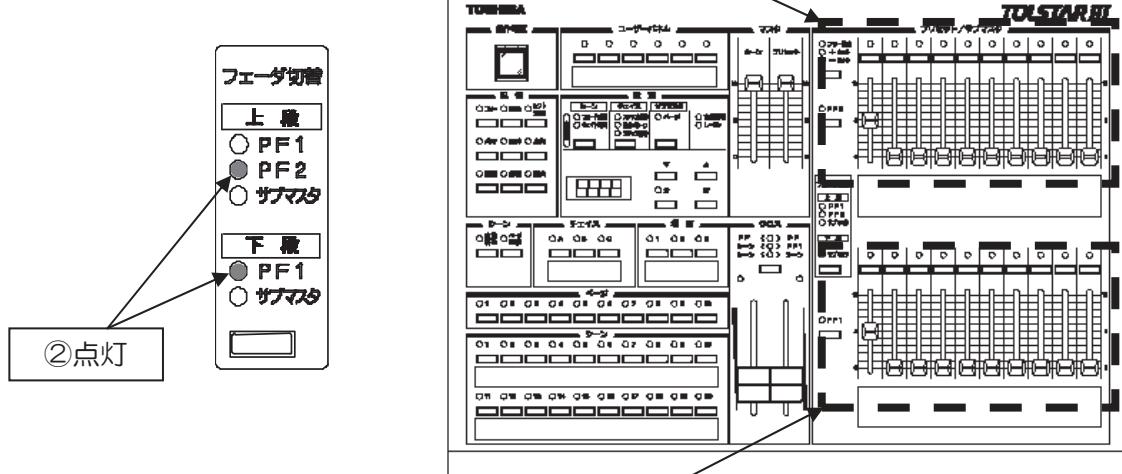
*現在、フェーダが「PF1」「PF1」の1段展開設定または
「サブマスター」「PF1」のサブマスター＆プリセット設定のとき
→上段10本のフェーダすべてをO（手前側）にする

*現在、フェーダが上下段とも「サブマスター」のサブマスター設定のとき
→上段、下段 20本のフェーダすべてをO（手前側）にする

② 上段「PF2」下段「PF1」に設定する。

プリセット/サブマスター	フェーダ切替	を押し、上段「PF2」下段「PF1」を選択する
上段 PF2 LED		点灯
下段 PF1 LED		点灯
ボタン音		ピッ

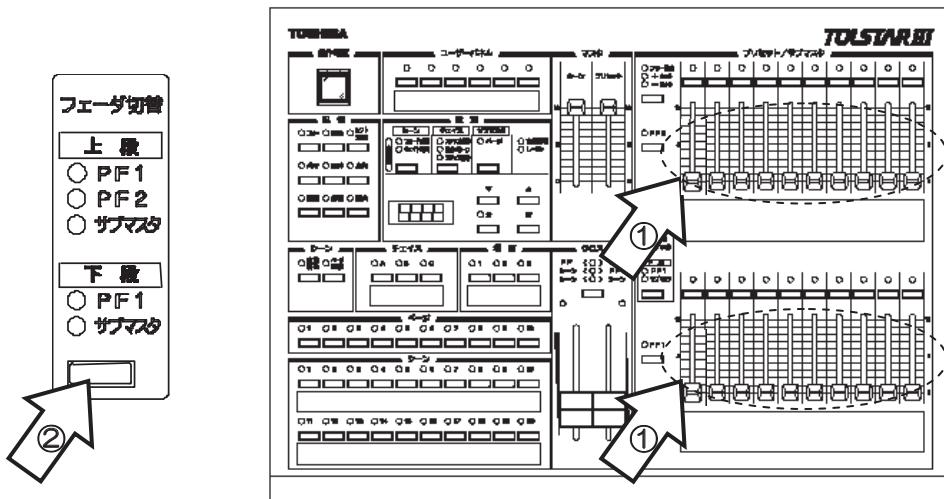
上段10本がPF2（10本のプリセットフェーダ）



下段10本がPF1（10本のプリセットフェーダ）

サブマスタ（10本）とプリセット（10本）で使用する

10本のサブマスタと10本のプリセットフェーダとして使用します。



① フェーダ切替により設定が変化する段のフェーダをすべてO（手前側）にする

*現在、フェーダが「PF1」「PF1」の1段展開設定または

「PF2」「PF1」の2段クロス設定のとき

→上段10本のフェーダすべてをO（手前側）にする

*現在、フェーダが上下段とも「サブマスタ」のサブマスタ設定のとき

→上段、下段 20本のフェーダすべてをO（手前側）にする

② 上段「サブマスタ」下段「PF2」に設定する。

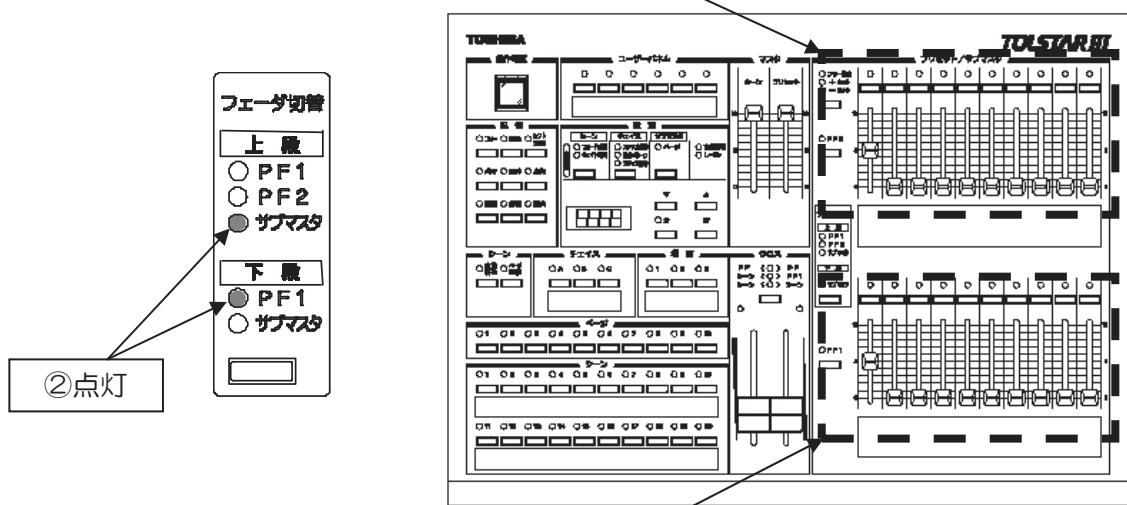
プリセット/サブマスタ フェーダ切替を押し上段「サブマスタ」下段「PF1」を選択する

上段 サブマスタ LED 点灯

下段 PF1 LED 点灯

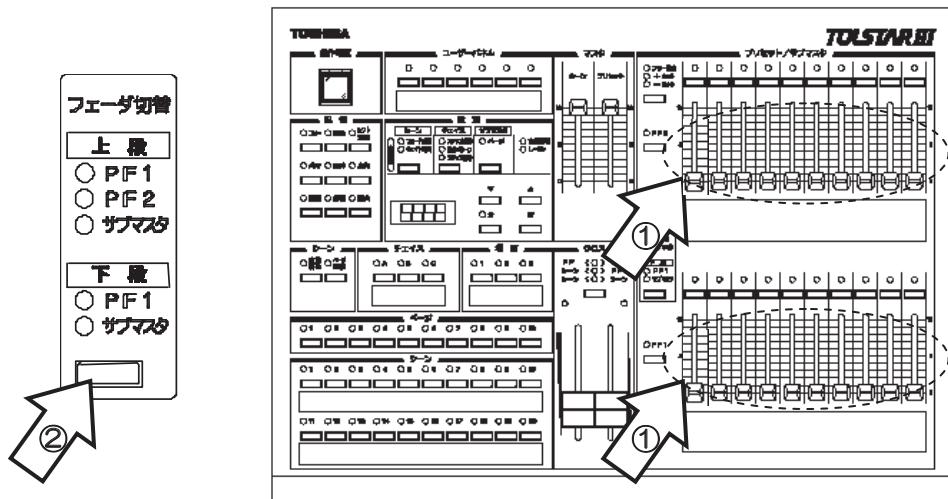
ボタン音 ピッ

上段10本がサブマスタフェーダ



サブマスタ（20本）専用で使用する

20本のサブマスタフェーダとして使用します。



- ① フェーダ切替により設定が変化する段のフェーダをすべて○（手前側）にする
上段、下段 20本のフェーダすべてを○（手前側）にする

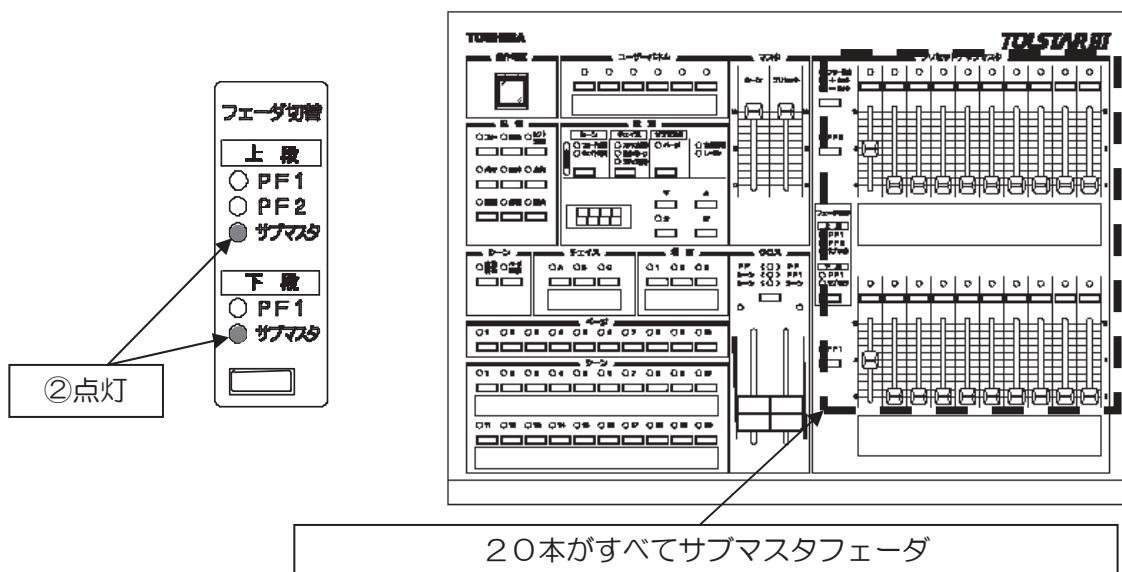
- ② 上下段 20本のサブマスタフェーダに設定する。

プリセット/サブマスタ **フェーダ切替**を押し、上下段「サブマスタ」を選択する

上段 サブマスタLED 点灯

下段 サブマスタLED 点灯

ボタン音 ピップ



場面を選択、
消去する

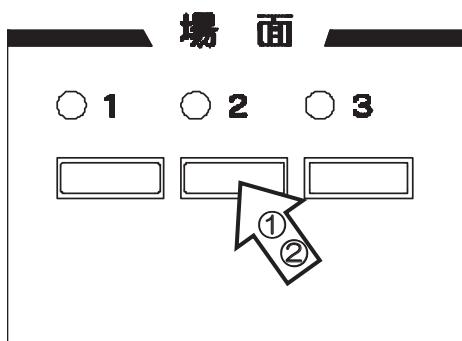
場面を選択する

場面とは

本卓において場面とは、1つの照明使用状況に関わるデータをひとまとめにしたものです。場面毎に使用状況に合わせたデータを保存できます。場面を切替えることにより、パッチ、シーン、サブマスター、チェイスなどのデータが全て切り替わります。

場面は3つ+1つあります。場面1～3はそれぞれパッチ、シーン、サブマスター、チェイスのデータを保存できます。もうひとつ特別な場面としてデフォルト場面があります。デフォルト場面はパッチが1対1に固定されています（1対1パッチについては→P40を参照）。デフォルト場面では、パッチを除く、シーン、サブマスター、チェイスのデータを保存できます。

場面を選択する



使用する場面番号のボタンを押します。

デフォルト場面を使用するときは、現在選択している場面のボタンをゆっくりと2回押し、3つのLEDが消灯した状態にします。

① 場面 選択する**場面選択**を押す

選択した場面選択LED 点滅 （現在確定されている場面は点灯）

ボタン音 ピッピッ

（操作をキャンセルしたいときは、今選択していない**場面選択**を押す）

② 場面 もう一度選択する**場面選択**を押すと確定

選択した場面選択LED 点滅 （現在確定されていた場面は消灯）

ボタン音 ピッ

③ 場面 約1秒後

選択した場面選択LED 点灯

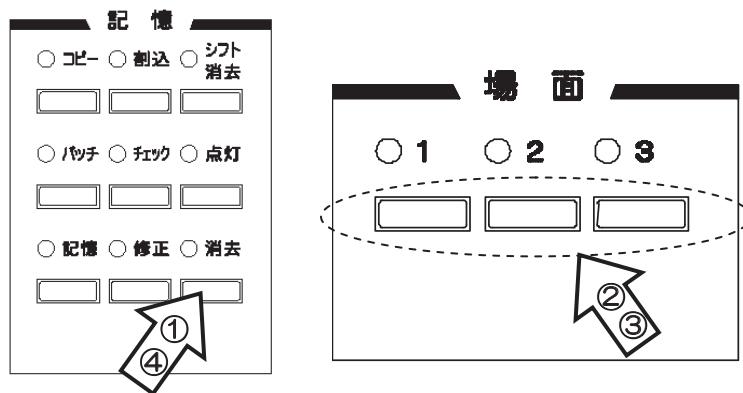
ボタン音 ピッ

場面を消去する

場面消去を行う前にご確認ください

消去おこなうとその場面で記憶したシーン、サブマスター、チェイス及びユーティリティパネルの情報が消去されます。パッチは1対1パッチに変更されます。

(パッチを場面単位で消去する方法については→P44を参照)



- | | | |
|---------------------------|-------------|-----------|
| ① 記憶 消去を押す | 消去LED | 点灯 |
| | ボタン音 | ピッ |
| ② 場面 消去する場面選択を押す | 選択した場面選択LED | 点滅 |
| | ボタン音 | ピッピッ |
| (操作をキャンセルしたいときは、記憶 消去を押す) | | |
| ③ 場面 もう一度、消去する場面選択を押すと消去 | ボタン音 | ピッ |
| | 選択した場面選択LED | 数秒 点滅後 消灯 |
| ④ 記憶 消去を押し終了 | 消去LED | 消灯 |
| | ボタン音 | ピッ |

場面にパッチを 仕込む

パッチを仕込む

パッチとは

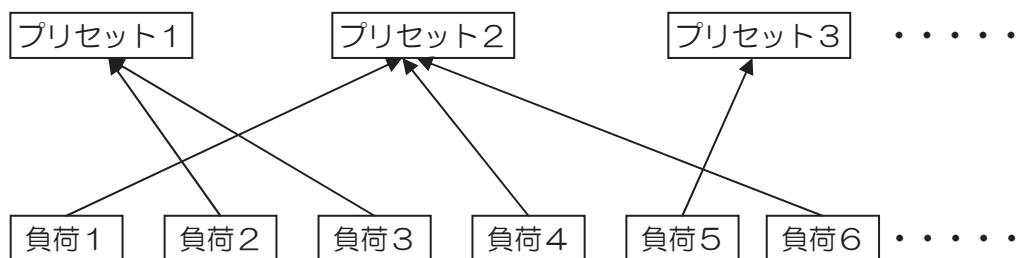
パッチとはある操作単位に対して1つまたは複数の負荷を割付けることです。

本製品ではプリセットフェーダに、調光出力で制御する負荷を番号で割付けます。これを「パッチを仕込む」といいます。パッチを仕込むことにより、プリセットで同じ役割の負荷など、まとめて制御することができます。パッチは最大プリセットフェーダ本数分の20まで仕込めます。

パッチは次のように仕込めます。

- ・ プリセットには1つまたは複数の負荷を仕込めます
- ・ 負荷は1つのプリセットにのみ仕込めます

パッチの例)



プリセット1を操作すると負荷2と3が制御できる

プリセット2を操作すると負荷1と4と6が制御できる

プリセット3を操作すると負荷5が制御できる

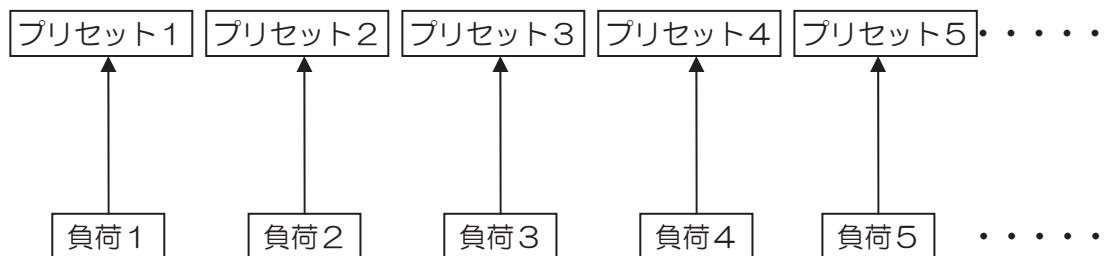
1対1パッチとは

1対1パッチとはプリセット1つと負荷1つがそれぞれ割り付けてある状態です。

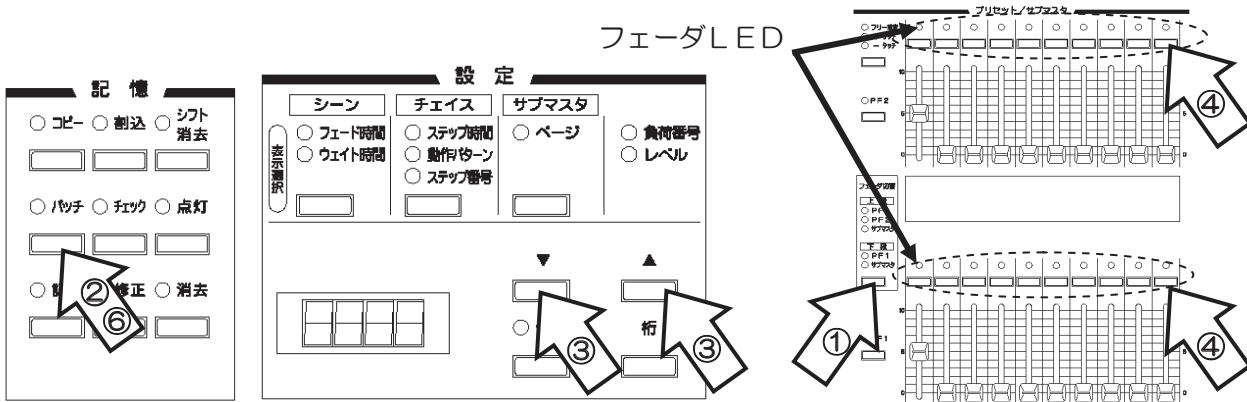
簡単に使用する場合は、この1対1パッチとなっているデフォルト場面が使用できます。

製品出荷時は全てのパッチが1対1となっています。

1対1パッチ)



パッチを仕込む



プリセットフェーダに負荷を割付けます。まず、場面を選択しておきます。デフォルト場面は1対1パッチ固定なのでパッチを仕込むことはできません。

① プリセット/サブマスター フェーダ切替を押し、上段「PF1」下段「PF1」を選択する

上段 PF1 LED 点灯

下段 PF1 LED 消灯

② 記憶 パッチを押す

パッチLED 点灯

アセグ表示 負荷番号（パッチ済み負荷番号の場合、点滅）

フェーダLED パッチ仕込みなしプリセット 消灯

パッチ仕込み済みプリセット 橙点灯

選択した負荷番号仕込み済みプリセット 橙点滅

ボタン音 ピッ

③ 設定 ▼ ▲ を押して割付けたい負荷番号を選択

アセグ表示 負荷番号（パッチ済み負荷番号の場合、点滅）

④ プリセット/サブマスター 負荷を仕込むプリセットのフェーダ選択を押す

パッチ済みの負荷番号を他のフェーダにパッチする場合には次の操作をおこなう

フェーダLED 赤点滅、

ボタン音 ピッピッ

もう一度、フェーダ選択を押す

アセグ表示 負荷番号表示（点滅）

フェーダLED パッチしたプリセット 橙点滅

ボタン音 ピッ

⑤ ③と④を繰り返し、必要な負荷をパッチする

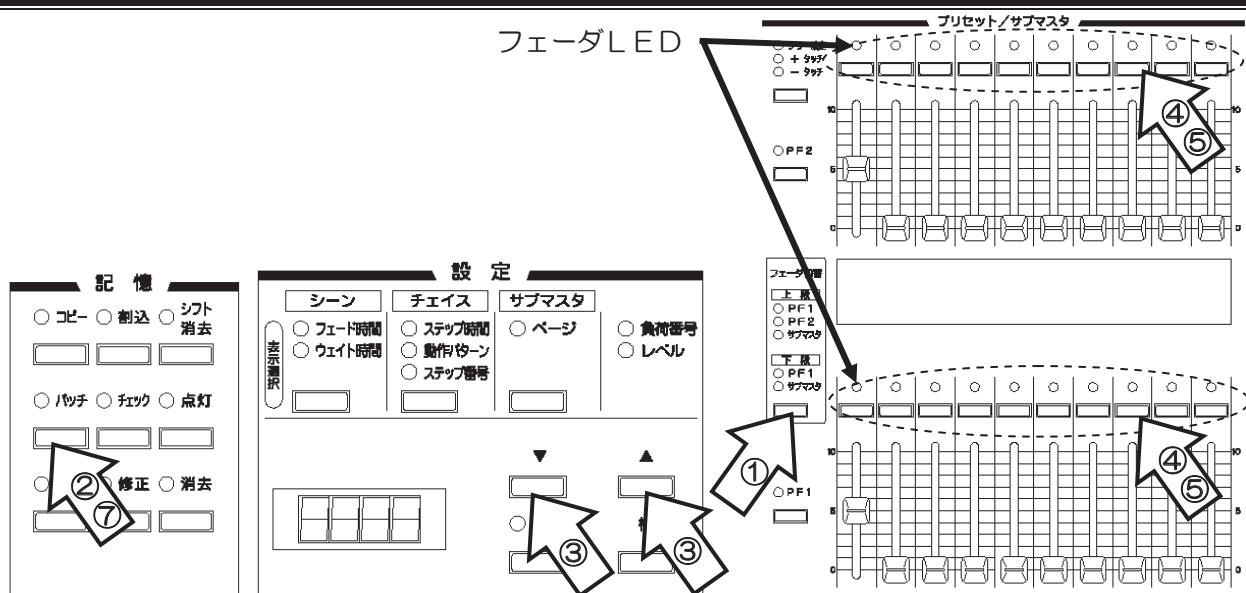
⑥ 記憶 パッチを押す パッチ作業終了

パッチLED 消灯

ボタン音 ピッ

パッチを消去する

パッチを負荷単位で消去する



① プリセット/サブマスタ フェーダ切替を押し、上段「PF1」下段「PF1」を選択する

上段 PF1 LED 点灯

下段 PF1 LED 点灯

② 記憶 パッチを押す

パッチLED 点灯

ボタン音 ピッ

③ 設定 ▼ ▲を押して消去する負荷番号を選択

7セグ表示 負荷番号（点滅）

④ プリセット/サブマスタ フェーダLEDが点滅しているフェーダ選択を押す

フェーダLED 赤点滅

ボタン音 ピッピッ

（操作をキャンセルしたいときは、記憶 パッチを押す）

⑤ プリセット/サブマスタ もう一度フェーダLEDが赤点滅しているフェーダ選択を押すと消去確定

フェーダLED 消灯（仕込なし）または橙点灯（仕込あり）

ボタン音 ピッ

7セグ表示 負荷番号（点灯）

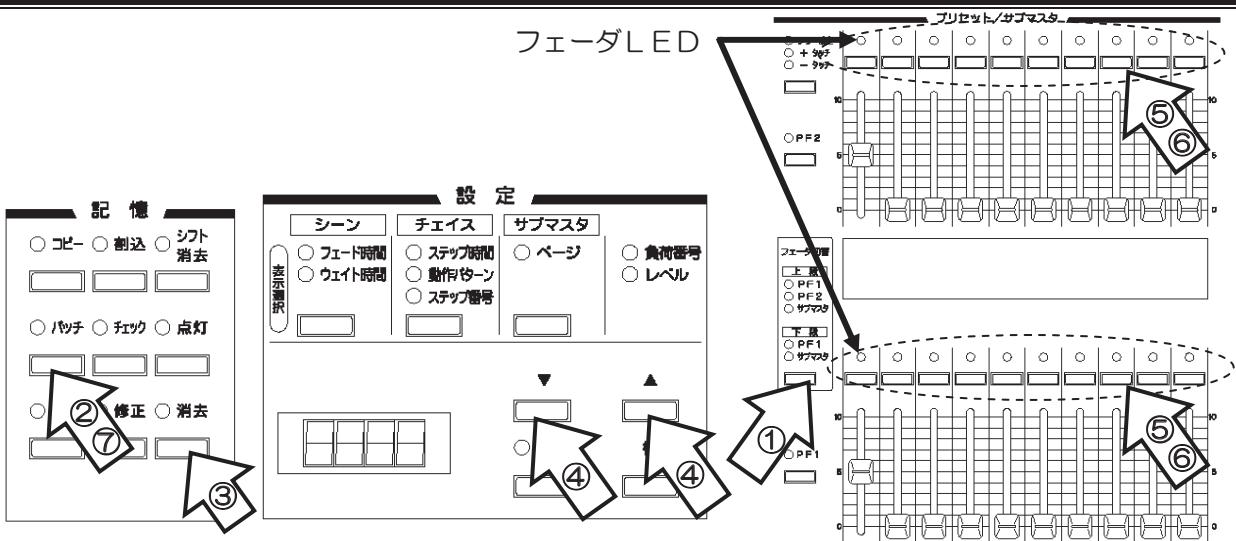
⑥ ③から⑤を繰り返して負荷単位のパッチ消去をする

⑦ 記憶 パッチを押す パッチの負荷単位消去終了

パッチLED 消灯

ボタン音 ピッ

パッチをプリセット単位で消去する



① プリセット/サブマスター フェーダ切替を押し、上段「PF1」下段「PF1」を選択する

上段 PF1 LED 点灯

下段 PF1 LED 点灯

② 記憶 パッチを押す

パッチLED 点灯

ボタン音 ピッ

③ 記憶 消去を押す

7セグ表示 ALL

フェーダLED パッチ仕込みなしプリセット

消灯

パッチ仕込み済みプリセット

橙点灯

ボタン音 ピッ

④ 設定 ▽ △を押してALLを選択

7セグ表示 負荷番号(点滅)

⑤ プリセット/サブマスター 消去するプリセットのフェーダ選択を押す

フェーダLED 赤点滅

ボタン音 ピッピッ

(操作をキャンセルしたいときは、記憶 消去を押す)

⑥ プリセット/サブマスター もう一度消去するプリセットのフェーダ選択を押すと消去確定

フェーダLED 消灯(仕込なし)

ボタン音 ピッ

⑦ 記憶 パッチを押す パッチのプリセット単位消去終了

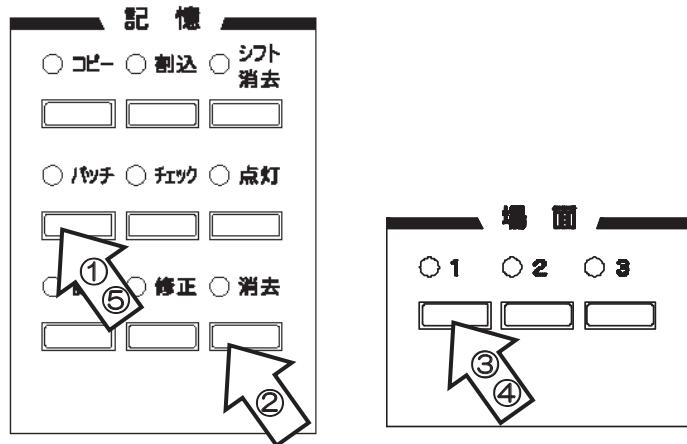
パッチLED 消灯

消去LED 消灯

ボタン音 ピッ

*④でALL以外(負荷番号)を選択した場合、選択した負荷番号のパッチだけを消去します。

パッチを場面単位で消去する



① 記憶 **パッチ**を押す

パッチLED 点灯
ボタン音 ピッ

② 記憶 **消去**を押す

消去LED 点灯
ボタン音 ピッ

③ 場面 **場面選択**を押す

場面選択LED 点滅
ボタン音 ピッピッ

(操作をキャンセルしたいときは、記憶 **消去**を押す)

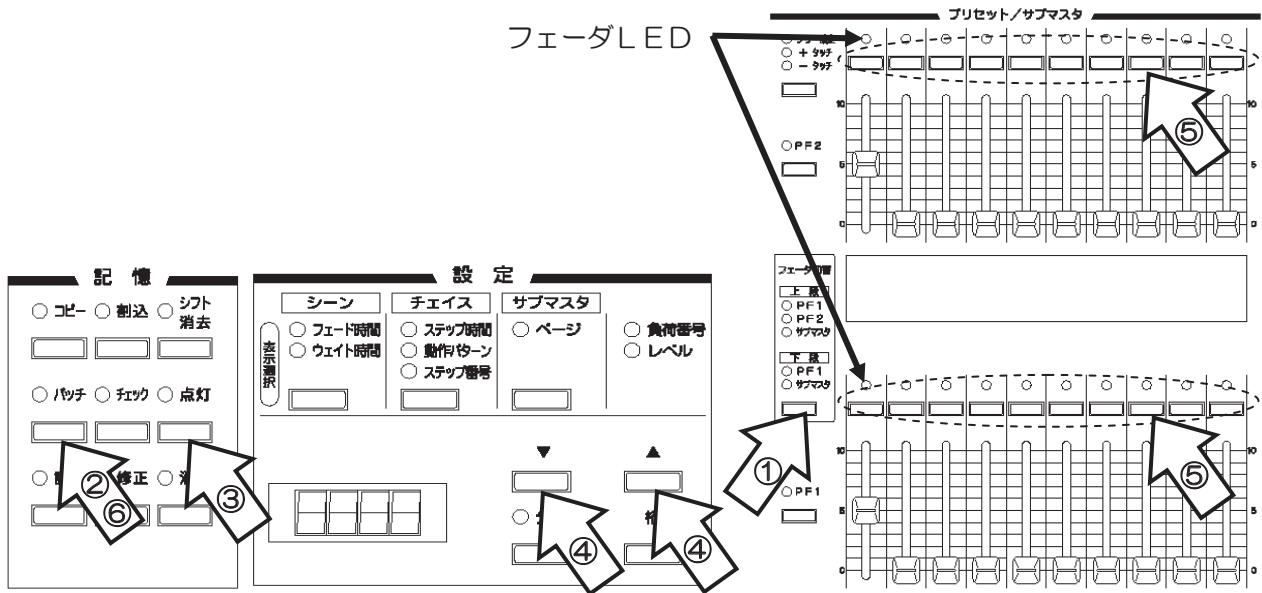
④ 場面 もう一度、**場面選択**を押すと消去確定

場面選択LED 元の点灯状態にもどる
ボタン音 ピッ

⑤ 記憶 **パッチ**を押す パッチの場面単位消去終了

パッチLED 消灯
消去LED 消灯
ボタン音 ピッ

パッチする負荷を点灯する



パッチをしている時に、負荷が実際どの照明なのかを点灯して確認する。

- ① プリセット/サブマスター フェーダ切替を押し、上段「PF1」下段「PF1」を選択する

上段 PF1 LED 点灯

下段 PF1 LED 点灯

- ② 記憶 パッチを押す

パッチLED 点灯

ボタン音 ピッ

- ③ 記憶 点灯を押す

7セグ表示 負荷番号

ボタン音 ピッ

- ④ 設定 ▼ ▲を押して点灯する負荷番号を選択

7セグ表示 負荷番号（点灯）

- ⑤ この状態で負荷を点灯しながらパッチをおこなう

- ⑥ 記憶 パッチを押す パッチ操作終了

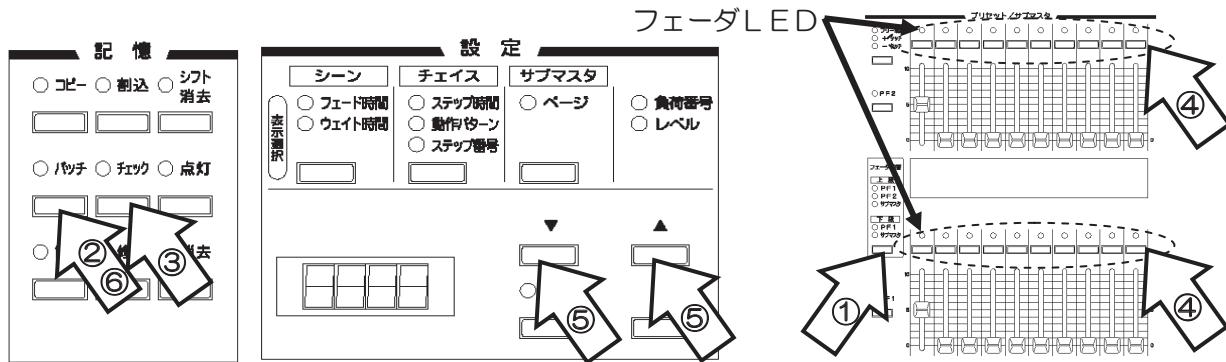
パッチLED 消灯

点灯LED 消灯

ボタン音 ピッ

パッチした内容をチェックする

プリセットに仕込まれている負荷番号をチェックする



① プリセット/サブマスタ フェーダ切替を押し、上段「P F 1」下段「P F 1」を選択する

上段 P F 1 LED 点灯

下段 P F 1 LED 点灯

② 記憶 パッチを押す

パッチLED 点灯

ボタン音 ピッ

③ 記憶 チェックを押す

7セグ表示 負荷番号

フェーダLED パッチ仕込みなしプリセット

消灯

パッチ仕込み済みプリセット

橙点灯

選択した負荷番号仕込み済みプリセット

橙点滅

ボタン音 ピッ

④ プリセット/サブマスタ チェックするプリセットのフェーダ選択を押す

フェーダLED 緑色

ボタン音 ピッ

⑤ 設定 ▼ ▲を押してプリセットに仕込んだ負荷番号をチェック

7セグ表示 負荷番号（点滅）

チェック中のフェーダLED 緑色

⑥ 記憶 パッチを押す パッチのチェック終了

パッチLED 消灯

チェックLED 消灯

ボタン音 ピッ

プリセットで
灯りを点灯する

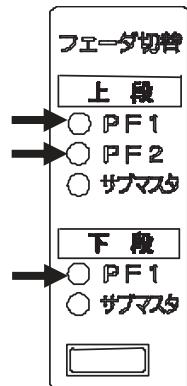
プリセットの機能

プリセットを使用するための設定

プリセットを使用するには、プリセット／サブマスタパネルのフェーダ切替で「PF1」または「PF2」を選択します。
サブマスタ設定ではプリセットの機能を使用することはできません。

フェーダ切替設定状態

- 上段：「PF1」 下段：「PF1」 20本プリセットフェーダ
上段：「PF2」 下段：「PF1」 10本2段プリセット
上段：「サブマスタ」 下段：「PF1」 下段の10本プリセットフェーダ
上段：「サブマスタ」 下段：「サブマスタ」 プリセット機能なし



プリセットの灯りのレベルとプリセットマスタフェーダ

プリセットフェーダで出る灯りは、プリセットフェーダ個々で出す灯りにマスタパネルのプリセットマスタのレベルを掛けたものになります。

$$\text{(プリセットフェーダで出る灯り)} = \\ \text{(個々のプリセットのあわせたもの)} \times \text{(プリセットマスタレベル)}$$

さらにクロスフェーダのモードによりクロスフェーダのレベルを掛けます。

プリセットマスタは、プリセットで出す灯りの全体を調整するものなので、通常フル（100%）で使用します。

プリセットの機能

プリセットによる灯りを出す機能は、次のものがあります。

フェーダ再生（→P50）

※クロスフェーダを使用した「クロスを使って灯りを点灯する」（→P68）を
参照してください。

次の関係により灯りを出します。

（プリセットフェーダ）×（クロスフェーダ）×（プリセットマスタフェーダ）

フリーフェーダ再生（→P51）

プリセットフェーダをフリーに設定した場合、そのフェーダに割りつけられた負荷の
灯りは、他の操作に関係なく、プリセットフェーダの操作によります。この設定では、
プリセットマスタフェーダに関係なく灯りが出ます。また、この設定で出ている灯り
は、シーン、サブマスターなどの全ての記憶操作の対象外です。

タッチ（→P53）

フェーダ選択切替を「+タッチ」または「-タッチ」に設定し、フェーダ選択ボタン
を押すと、そのプリセットの灯りをフル点灯します。

この設定では、プリセットマスタフェーダに関係なく灯りが出ます。

フリー設定になっているフェーダはタッチ動作ができません。

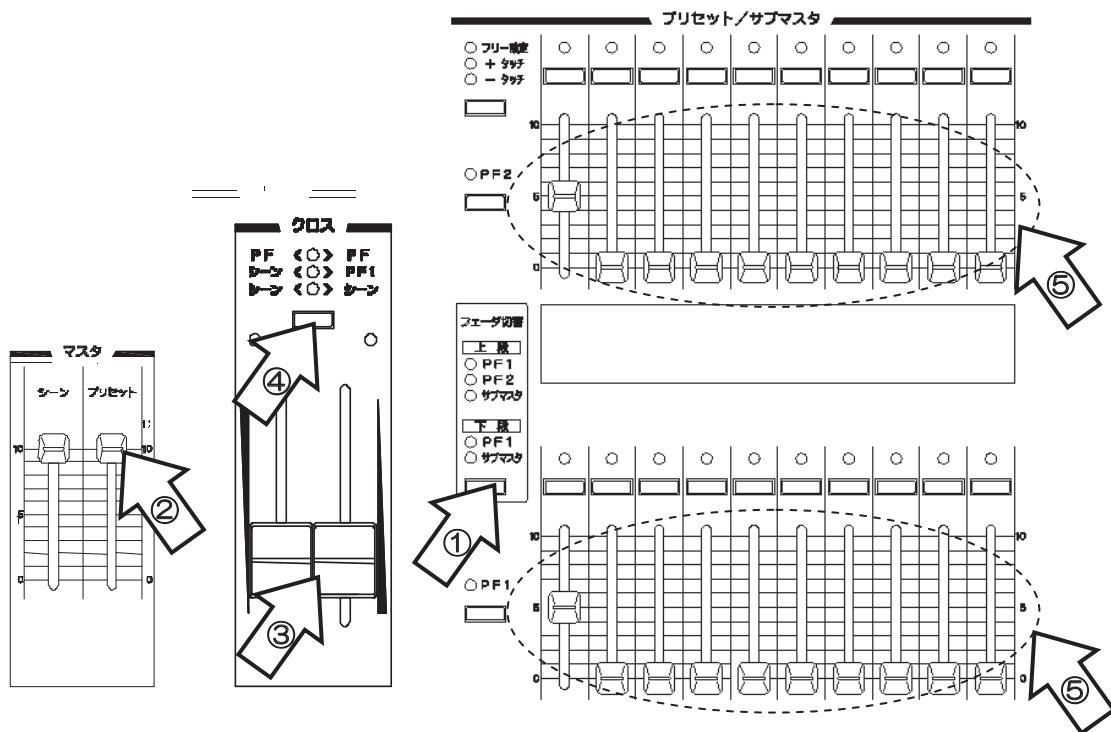
また、この設定で出ている灯りは、シーン、サブマスターなどの全ての記憶操作の対象
外です。

+タッチ：タッチの灯りが現在の灯りに加わります。

-タッチ：タッチの灯りが点灯し、他の灯りは消灯します。

ただし、フリー設定、ハウスライトで出している灯りは消灯しません。

プリセットで灯りを点灯する



20本のプリセットフェーダとして設定し使用します。

クロスフェーダはPF1が100%となる位置に固定して使用します。

① プリセット/サブマスタ フェーダ切替を押し、上段「PF1」下段「PF1」を選択する

上段 PF1 LED 点灯

下段 PF1 LED 点灯

② マスタ プリセットマスタフェーダを100%（一番上）の位置にする

③ クロス クロスフェーダ2本とも手前側に持ってくる

左側0% 右側100%

④ クロス クロスマード切替を押して 「PF-PF」 を選択

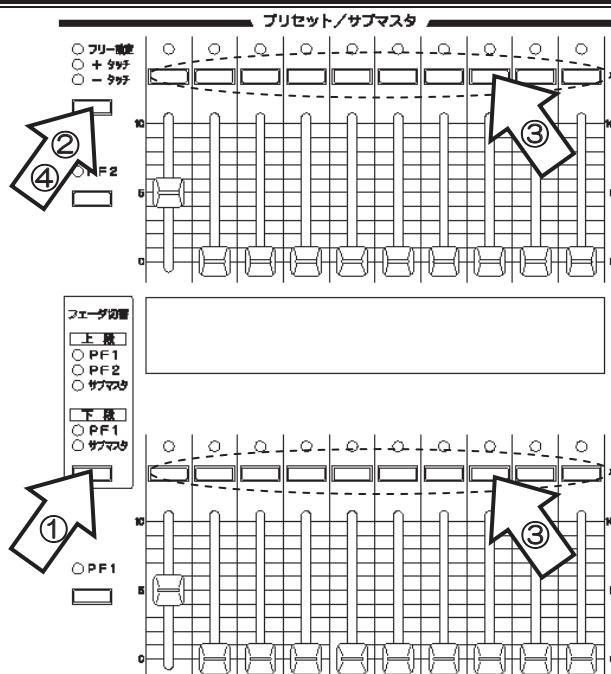
PF-PF LED 点灯

⑤ プリセット/サブマスタ プリセットフェーダを操作して灯りを出す

プリセットをフリー設定にする

プリセット／サブマスタパネルのフェーダ切替の設定により、操作が異なります。

20本プリセットフェーダ設定でフリーにする



- ① プリセット/サブマスター フェーダ切替を押し、上段「PF1」下段「PF1」を選択する

上段PF1 LED 点灯

下段PF1 LED 点灯

- ② プリセット/サブマスター フェーダ選択切替を押し、「フリー設定」を選択する

フェーダ選択切替LED フリー設定点灯

- ③ プリセット/サブマスター フリー設定にするフェーダのフェーダ選択を押す

フェーダLED 緑点灯

ボタン音 ピッ

フリー設定を解除するには、フリー設定にしたフェーダのフェーダ選択を押す

フェーダLED 緑消灯

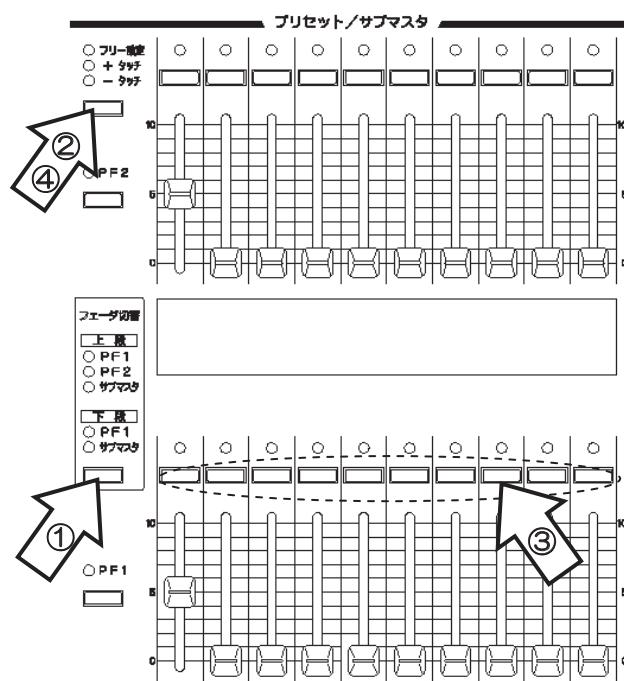
ボタン音 ピッ

- ④ プリセット/サブマスター フェーダ選択切替を押し、フェーダ選択切替LEDを消灯する

フェーダ選択切替LED 消灯

- ⑤ プリセット/サブマスター フリー設定にしたフェーダがフリーフェーダ動作する

10本プリセットフェーダ設定でフリーにする



① プリセット/サブマスター フェーダ切替を押し、
上段「PF2」下段「PF1」を選択する

上段PF2 LED 点灯

下段PF1 LED 点灯

または、

上段「サブマスター」下段「PF1」を選択する

上段サブマスターLED 点灯

下段PF1 LED 点灯

② プリセット/サブマスター フェーダ選択切替を押し、「フリー設定」を選択する

フェーダ選択切替LED フリー設定点灯

③ プリセット/サブマスター 下段10本からフリー設定にするフェーダのフェーダ選択を押す

フェーダLED 緑点灯

ボタン音 ピッ

フリー設定を解除するには、フリー設定にしたフェーダのフェーダ選択を押す

フェーダLED 緑消灯

ボタン音 ピッ

④ プリセット/サブマスター フェーダ選択切替を押し、フェーダ選択切替LEDを消灯する

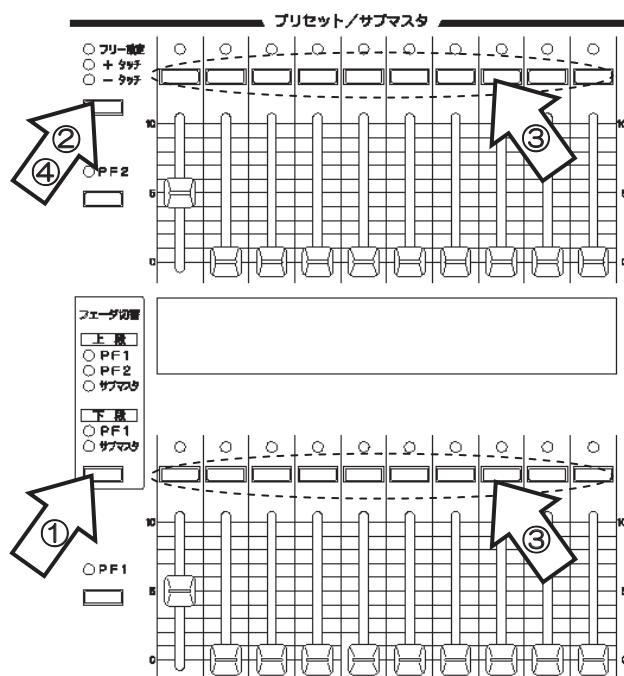
フェーダ選択切替LED 消灯

⑤ プリセット/サブマスター フリー設定にしたフェーダがフリーフェーダ動作する

プリセットをタッチで点灯する

プリセット／サブマスタパネルのフェーダ切替の設定により、操作が異なります。

20本プリセットフェーダ設定でタッチ点灯する



① プリセット/サブマスタ フェーダ切替を押し、上段「PF1」下段「PF1」を選択する

上段PF1 LED 点灯

下段PF1 LED 点灯

② プリセット/サブマスタ フェーダ選択切替を押し、「+タッチ」または「-タッチ」を選択する

フェーダ選択切替LED +タッチ点灯

または

フェーダ選択切替LED -タッチ点灯

③ プリセット/サブマスタ タッチ点灯するフェーダのフェーダ選択を押すと点灯

フェーダLED 赤点灯

ボタン音 ピッ

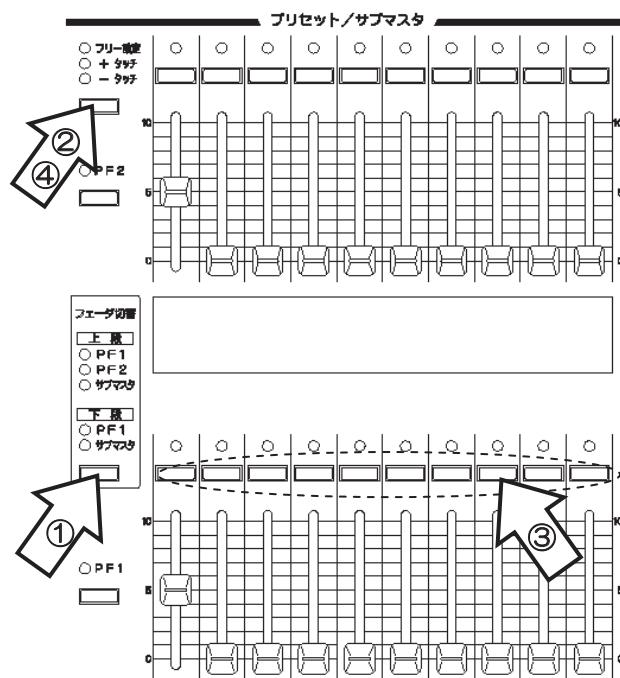
タッチ動作を終了する時

④ プリセット/サブマスタ フェーダ選択切替を押し、フェーダ選択切替LEDを消灯する

フェーダ選択切替LED 消灯

ボタン音 ピッ

10本プリセットフェーダ設定でタッチ点灯する



① プリセット/サブマスタ フェーダ切替を押し、

上段「PF2」下段「PF1」を選択する

上段PF2LED 点灯

下段PF1LED 点灯

または、

上段「サブマスタ」下段「PF1」を選択する

上段サブマスタLED 点灯

下段PF1LED 点灯

② プリセット/サブマスタ フェーダ選択切替を押し、「+タッチ」または「-タッチ」を選択する

フェーダ選択切替LED +タッチ点灯

または

フェーダ選択切替LED -タッチ点灯

③ プリセット/サブマスタ 下段10本からタッチ点灯するフェーダのフェーダ選択を押すと点灯

フェーダLED 赤点灯

ボタン音 ピッ

タッチ動作を終了する時

④ プリセット/サブマスタ フェーダ選択切替を押し、フェーダ選択切替LEDを消灯する

フェーダ選択切替LED 消灯

ボタン音 ピッ

シーンで灯りを 点灯する

シーンの機能

シーンとは

シーンとは灯りの状態のことです。

記憶する灯りは、プリセット、シーン、サブマスタで出している灯りです。

(フリーフェーダ、チェイス、タッチスイッチ、ハウスライト、ワンタッチシーン、ON/OFFの
灯りは記憶しません)

シーン機能では、20シーン×10ページ=200シーンの記憶ができます。

シーンで灯りを点灯するには次の方法があります。

- ・ボタン再生 シーン番号ボタンを押し、灯りを点灯する
- ・自動再生 シーンを順番に連続的に点灯する
- ・クロス再生 クロスを使って灯りを点灯する (→P68) を参照

シーンの灯りのレベルとシーンマスタフェーダ

シーンで出る灯りは、シーン個々で出す灯りにマスタパネルのシーンマスタのレベルを掛けたものになります。

・ボタン再生

(シーンで出る灯り) = (記憶したシーンの灯り) × (シーンマスタレベル)

・クロス再生

(シーンで出る灯り) = (記憶したシーンの灯り) × (シーンマスタレベル)
× (シーンを割り付けたクロスフェーダのレベル)

シーンマスタは、シーンで出す灯り全体を調整するものなので、通常フル(100%)で使用します。

*注意

記憶する灯りは、プリセットマスタ、シーンマスタのレベルを掛けた結果です。

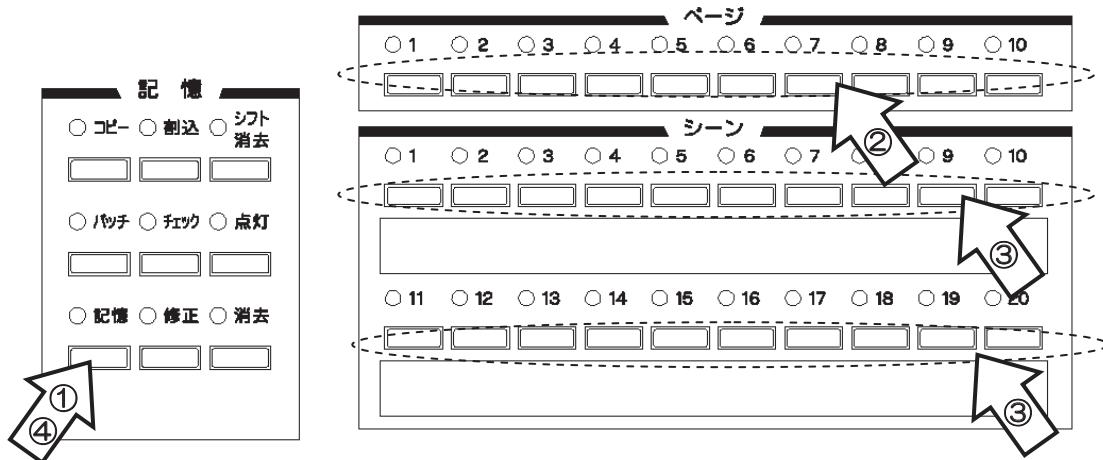
例えば、

シーン(1)を再生、シーンマスタで50%暗くし、別のシーン(2)に記憶する。

シーンマスタを100%に戻して、シーン(2)を再生するとシーンの灯りはシーン(1)の
50%の灯りになります。

シーンに灯りを記憶する

シーンに灯りを記憶する



記憶したい灯りを作り、ページとシーン番号を指定して記憶する。

① 記憶 **記憶**を押す

記憶LED

点灯

ボタン音

ピッ

② ページ 記憶する**ページ番号**を押す。

選択したページ番号LED

赤点灯

ボタン音

ピッ

③ シーン 記憶する**シーン番号**LEDが消灯している場合

記憶する**シーン番号**を押す

選択したシーン番号LED 橙点灯

ボタン音

ピッ

記憶するシーン番号LEDが橙点灯している場合（上書き）

記憶する**シーン番号**を押す

選択したシーン番号LED 赤点滅

ボタン音

ピッピッ

もう一度、記憶する**シーン番号**を押す

選択したシーン番号LED 橙点灯

ボタン音

ピッ

④ 記憶 **記憶**を押し終了

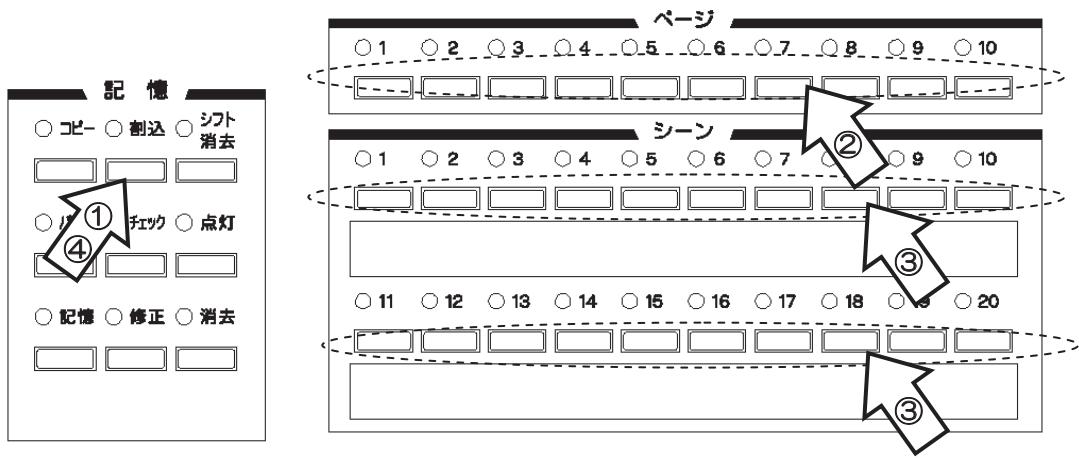
記憶LED

消灯

ボタン音

ピッ

シーンに割込ませて灯りを記憶する



指定したシーン番号の位置に割込ませて記憶する。割込み記憶位置以降のシーン記憶位置は後ろにずれる。ページ内の割込み記憶位置以降にシーンの空きがない場合はこの操作はできません。他ページのシーン記憶位置はそのままです。

- ① 記憶 **割込**を押す

割込LED

点灯

ボタン音

ピッ

- ② ページ 記憶する**ページ番号**を押す。

選択したページ番号LED 赤点灯

ボタン音

ピッ

- ③ シーン 記憶する**シーン番号**を押す

選択したシーン番号LED 橙点灯

ボタン音

ピッ

- ④ 記憶 **割込**を押し終了

割込LED

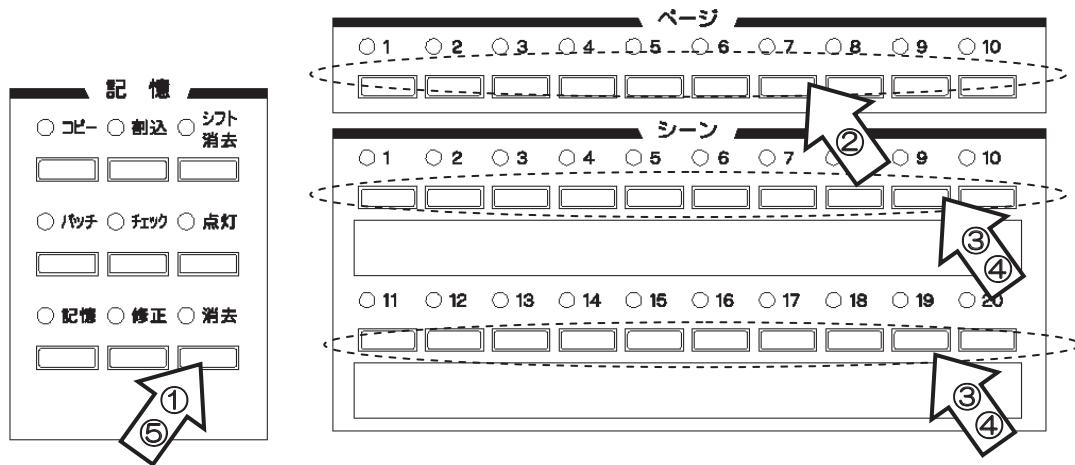
消灯

ボタン音

ピッ

シーンを消去する

1 シーンを消去する



消去するシーンのページ番号とシーン番号を指定する。

- ① 記憶 消去を押す

消去LED

点灯

ボタン音

ピッ

- ② ページ 消去するシーンがあるページ番号を押す。

選択したページ番号LED 赤点灯

ボタン音

ピッ

- ③ シーン 消去するシーン番号を押す

選択したシーン番号LED 赤点滅

ボタン音

ピッピッ

(操作をキャンセルしたいときは、記憶 消去を押す)

- ④ シーン もう一度、消去するシーン番号を押すと消去

選択したシーン番号LED 消灯

ボタン音

ピッ

- ⑤ 記憶 消去を押し終了

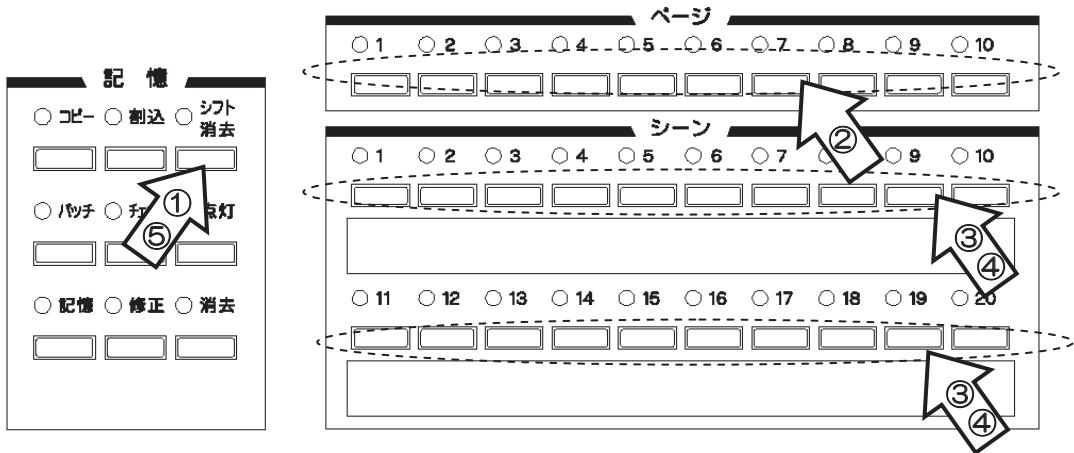
消去LED

消灯

ボタン音

ピッ

シーンをシフト消去する



消去するシーンのページ番号とシーン番号を指定して消去する。消去した位置以降のシーン記憶位置がひとつ手前にずれる。他ページのシーン記憶位置はそのままです。

- ① 記憶 **シフト消去**を押す

シフト消去LED 点灯

ボタン音 ピッ

- ② ページ 消去するシーンがある**ページ番号**を押す。

選択したページ番号LED 赤点灯

ボタン音 ピッ

- ③ シーン 消去する**シーン番号**を押す

選択したシーン番号LED 赤点滅

ボタン音 ピッピッ

(操作をキャンセルしたいときは、記憶 **シフト消去**を押す)

- ④ シーン もう一度、消去する**シーン番号**を押すと消去

選択したシーン番号LED 消灯

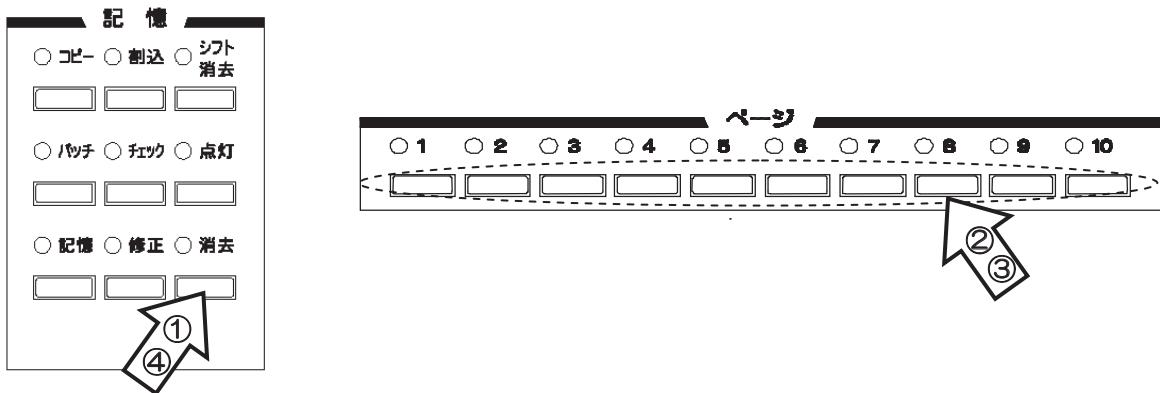
ボタン音 ピッ

- ⑤ 記憶 **シフト消去**を押し終了

シフト消去LED 消灯

ボタン音 ピッ

シーンをページ単位で消去する



消去するページを指定してシーンを消去する。

① 記憶 消去を押す

消去LED

点灯

ボタン音

ピッ

② ページ 消去する[ページ番号]を押す。

選択したページ番号LED 赤点滅

ボタン音

ピッピッ

(操作をキャンセルしたいときは、記憶 消去を押す)

③ シーン もう一度、消去する[ページ番号]を押すと消去

選択したページ番号LED 消灯

ボタン音

ピッ

④ 記憶 消去を押し終了

消去LED

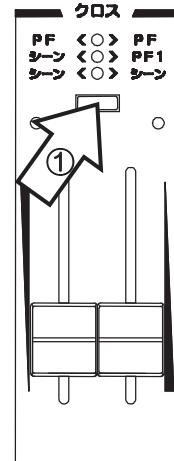
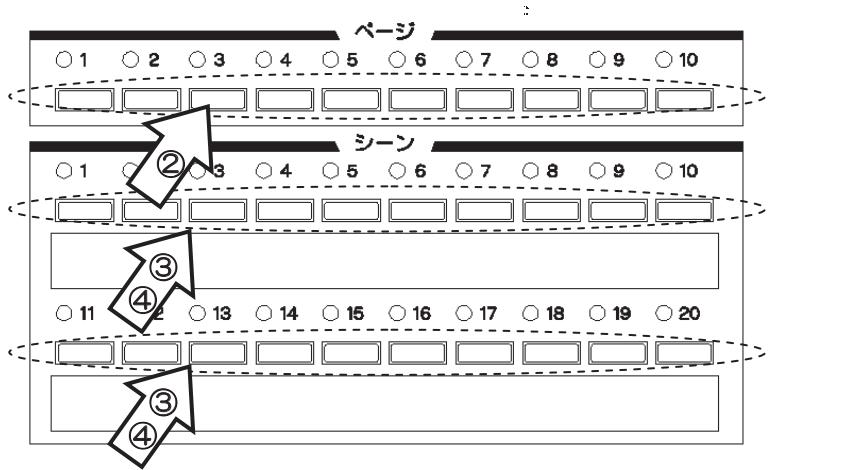
消灯

ボタン音

ピッ

シーンボタン再生で灯りを出す

シーンのボタン再生で灯りを出す（消す）



シーン番号ボタンを押すことでシーン灯りを再生します。シーンの切り替わりは、設定したフェード時間でフェードチェンジします。フェード時間はすべてのシーンで共通です。

- ・ シーンマスターが0レベル（手前側）のときは灯りがでません。記憶したシーンをそのままの灯りで再生するときは、シーンマスターを100%（一番奥側）の位置にしてください。
- ・ 複数のシーンを同時に点灯することはできません。
- ・ ボタン再生はクロスモード「PF-PF」の時のみ使用できます。
- ・ 再生中シーンのシーン番号を押すとそのシーン灯りは消灯します。

- ① クロス クロスモード切替を押して「PF-PF」を選択

PF-PF LED 点灯

- ② ページ 再生するシーンがあるページ番号を押す。

選択したページ番号LED 赤点灯

ボタン音 ピッ

- ③ シーン 再生するシーン番号を押す

選択したシーン番号LED 赤点灯

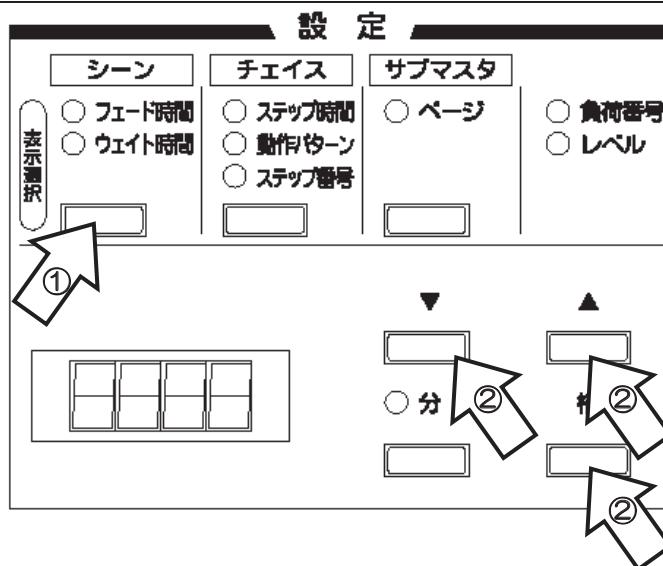
ボタン音 ピッ

- ④ シーン 消灯するシーン番号を押す

選択したシーン番号LED 消灯

ボタン音 ピッ

シーンボタン再生のフェード時間を変更する



シーンのフェード時間は「0. 0秒～999. 9秒」まで0. 1秒間隔で設定できる。

① 設定 **シーン**を押す

7セグ表示 フェード時間（秒）

フェード時間LED 点灯

② 設定 **▼** **▲**を押してフェード時間を0. 1秒単位で変更

桁を押しながら**▼** **▲**を押すと1秒単位で変更

7セグ表示 フェード時間（秒）

シーンの自動再生をおこなう

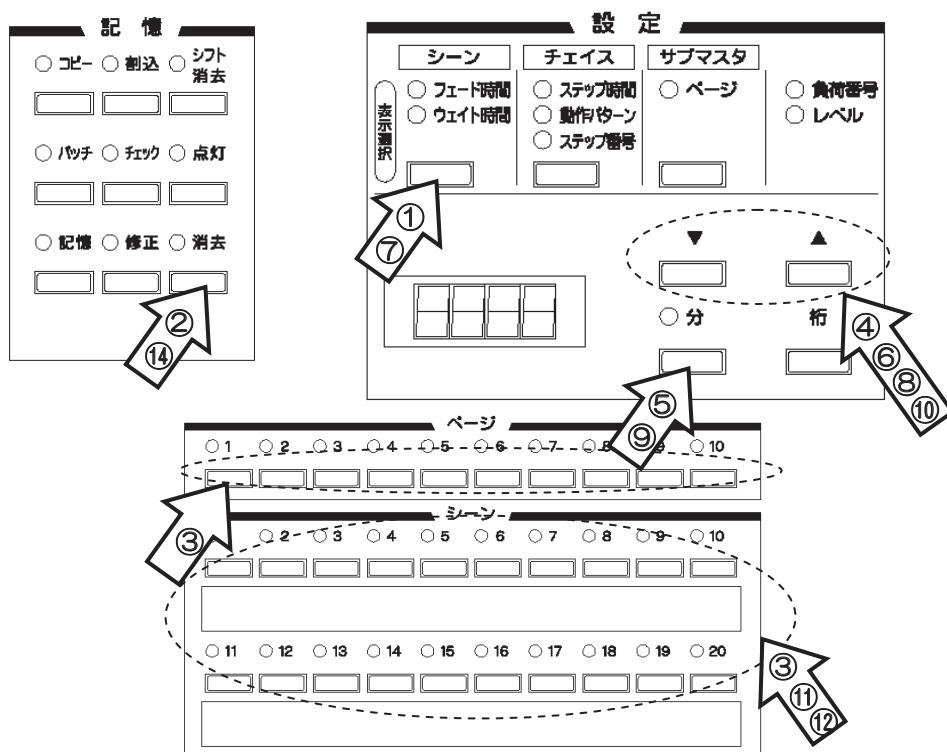
シーンの自動再生とは

シーンを連続的に再生し灯りを点灯します。ページ内での再生とページをまたいで連続的な再生ができます。

シーン自動再生が可能なのは、クロスモード「P F—P F」の時のみです。

自動再生の再生時間は、トルスターⅢの内部時間です。長時間連続して再生をおこなう場合、それが生じる場合があります。

シーンの再生時間を設定する



自動再生をおこなう場合には、シーンごとにフェード時間、ウエイト時間を設定する必要があります。フェード時間、ウエイト時間は「0. 0秒～9時間59分59. 9秒」まで0. 1秒間隔で設定できます。設定は秒の「0. 0秒～59. 9秒」までと、分の「0分～9時間59分」とに分かれており、それぞれの設定を足したもののが実際のフェード時間、ウエイト時間になります。

- ① 設定 **シーン**を押し、「フェード時間」を選択する

7セグ表示 フェード時間(秒)

フェード時間LED 点灯

- ② 記憶 **修正** を押す。

修正LED 点灯

- ③ シーン 時間設定するシーンの**ページ番号**、**シーン番号**を押す

選択したページ番号LED 赤点灯

選択したシーン番号LED 緑点滅

- ④ 設定 **▼** **▲**を押してフェード時間を0. 1秒単位で変更

桁を押しながら **▼** **▲**を押すと1秒単位で変更

7セグ表示 フェード時間(秒)

- ⑤ 設定 **分**を押す

7セグ表示 フェード時間(時分)

- ⑥ 設定 **▼** **▲**を押してフェード時間を1分単位で変更

桁を押しながら **▼** **▲**を押すと10分単位で変更

7セグ表示 フェード時間(時分)

- ⑦ 設定 **シーン**を押し、「ウエイト時間」を選択する

ウエイト時間LED 点灯

- ⑧ 設定 **▼** **▲**を押してウエイト時間を0. 1秒単位で変更

桁を押しながら **▼** **▲**を押すと1秒単位で変更

7セグ表示 ワエイト時間(秒)

- ⑨ 設定 **分**を押す

7セグ表示 ワエイト時間(時分)

- ⑩ 設定 **▼** **▲**を押してフェード時間を1分単位で変更

桁を押しながら **▼** **▲**を押すと10分単位で変更

7セグ表示 ワエイト時間(時分)

- ⑪ シーン 緑点滅している**シーン番号**を押す

選択したシーンLED 赤点滅

ボタン音 ピッピッ

- ⑫ シーン 赤点滅している**シーン番号**を押す

選択したシーンLED 橙点灯

ボタン音 ピッ

- ⑬ ③～⑫を自動再生するすべてのシーンでおこないます。

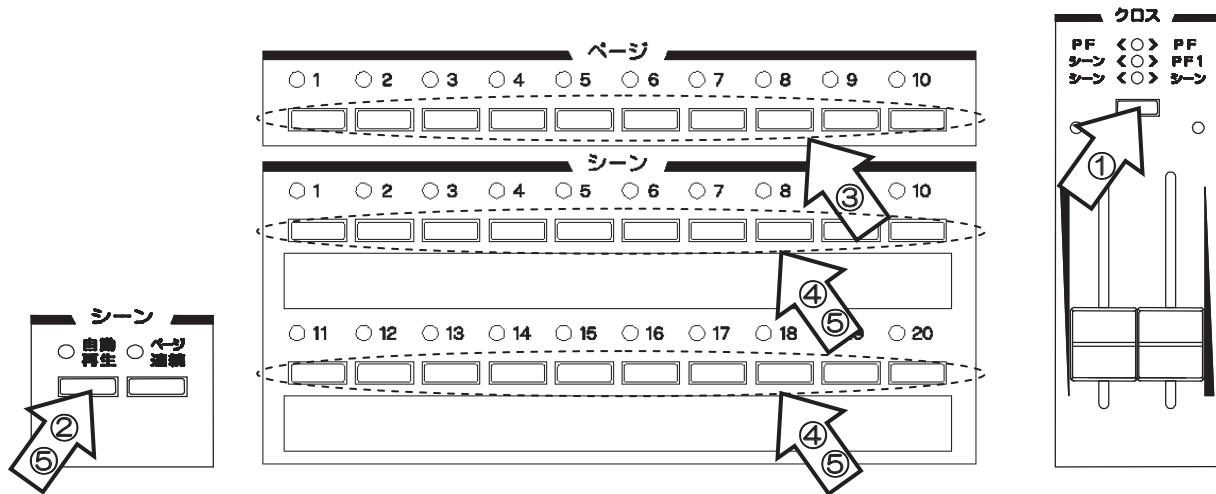
- ⑭ 記憶 **修正**を押し終了

修正LED 消灯

ボタン音 ピッ

フェード時間LED 点灯

ページ内のシーンの自動再生をおこなう



自動再生に設定し、自動再生を開始するシーン番号を押す。ページ内のシーンを順次、予め設定したフェード時間、ウエイト時間で繰り返し再生します。

- ① クロス クロスマード切替を押し、「PF—PF」を選択する

PF-PF LED 点灯

- ② シーン 自動再生を押す

自動再生LED	点滅
ボタン音	ピッ

- ③ ページ 自動再生するシーンがあるページ番号を押す

選択したページ番号LED	赤点灯
ボタン音	ピッ

- ④ シーン 自動再生するシーン番号を押す

選択したシーン番号LED	赤点灯
ボタン音	ピッ
自動再生LED	点灯

自動再生を開始します

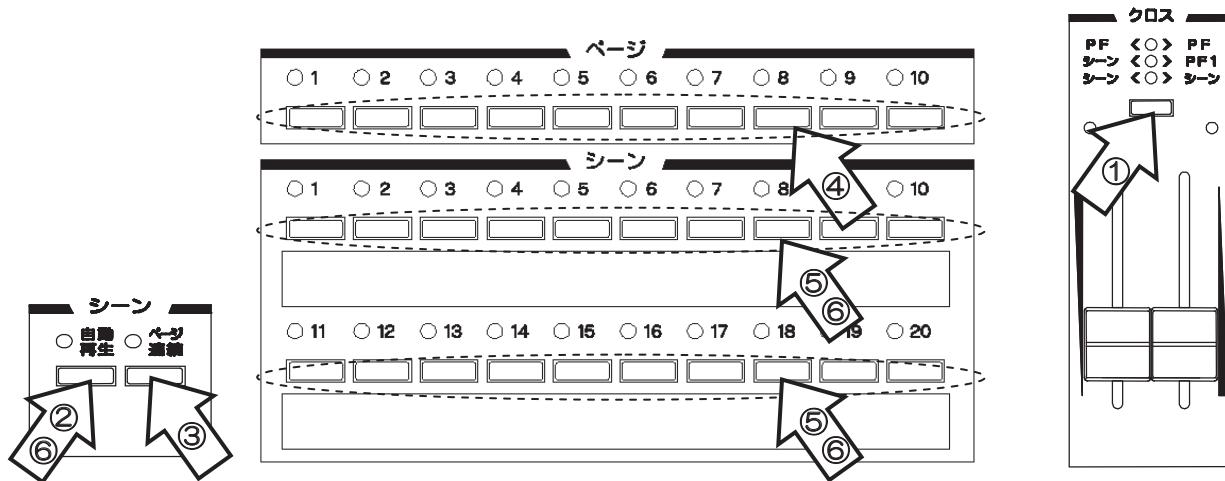
停止する時

- ⑤ シーン いずれかのシーン番号を押すと停止

シーン 自動再生を押すと停止

自動再生LED	消灯
ボタン音	ピッ

ページをまたいでのシーンの自動再生をおこなう



自動再生、ページ連続に設定し、自動再生を開始するシーン番号を押す。すべてのシーンを順次、予め設定したフェード時間、ウエイト時間で繰り返し再生します。

- ① クロス クロスマード切替を押し、「PF—PF」を選択する

PF—PF LED 点灯

- ② シーン 自動再生を押す

自動再生LED 点滅

ボタン音 ピッ

- ③ シーン ページ連続を押す

ページ連続LED 点灯

ボタン音 ピッ

- ④ ページ 自動再生するシーンのページ番号を押す

選択したページ番号LED 赤点灯

ボタン音 ピッ

- ⑤ シーン 自動再生するシーン番号を押す

選択したシーン番号LED 赤点灯

ボタン音 ピッ

自動再生LED 点灯

自動再生を開始します

停止する時

- ⑥ シーン いずれかのシーン番号を押すと停止

シーン 自動再生を押すと停止作

自動再生LED 消灯

ボタン音 ピッ

クロスを使って
灯りを点灯する

クロスの機能

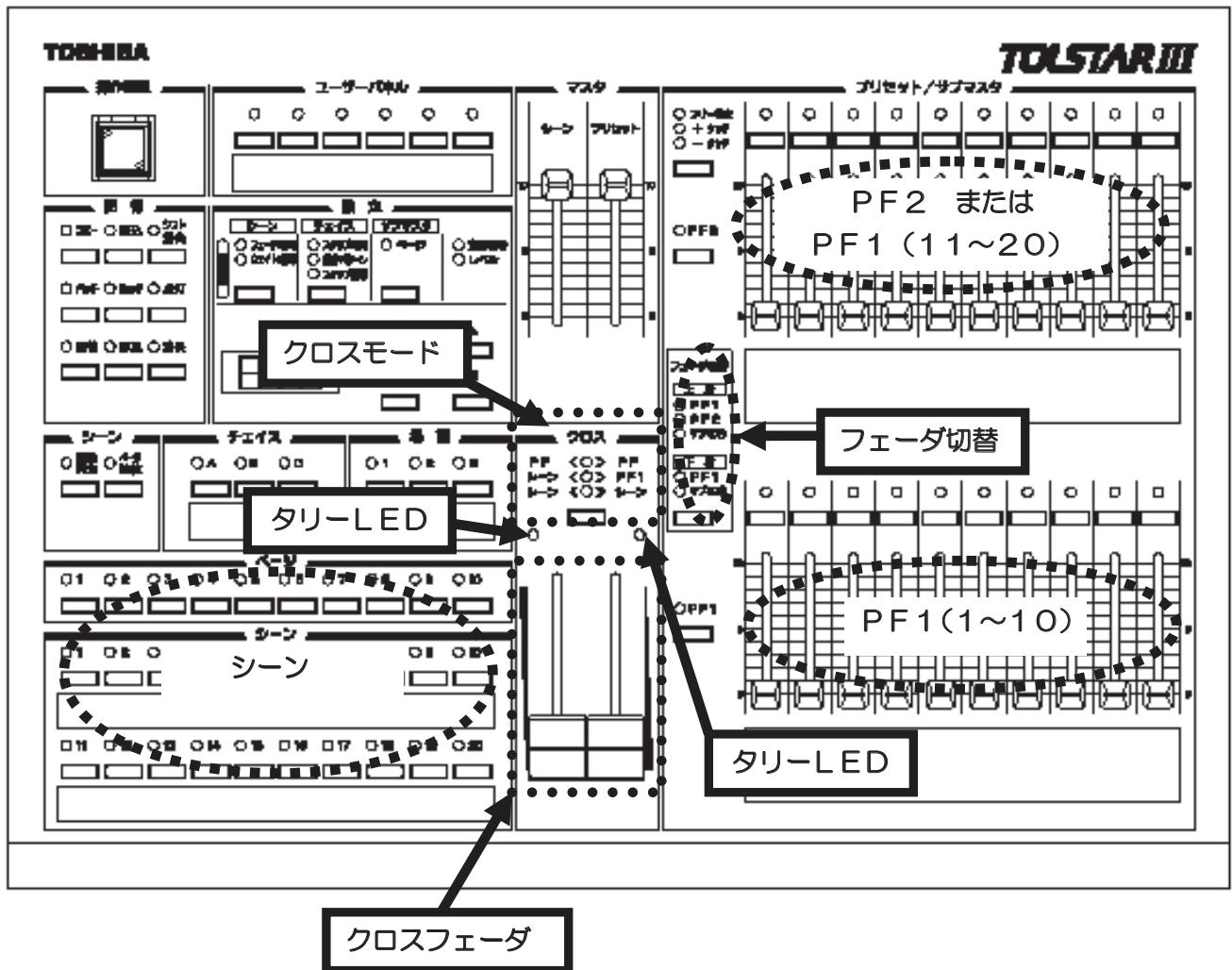
クロス再生

クロスはプリセットフェーダの灯りとシーンの灯りを再生することができます。

左右のクロスフェーダに各々、プリセットフェーダ（PF1、PF2）又はシーンが割り付きます。

割り付いているプリセットフェーダ又はシーンのレベルとクロスフェーダのレベルを掛け合わせて灯りをつくります。

左右のクロスフェーダに上下させることで灯りの転換ができます。



クロスには再生モードが3つあります。

再生モードは、左右クロスフェーダの両方が一番手前側、又は一番奥側にあるときに切り換えることができます。

*灯りの変化を防ぐため、クロスモード切り換え時、100%再生中のクロスフェーダへの割り付けは切り替え前の割り付けを保持します。

*タリーLEDが赤点滅しているときは、左右の両方クロスフェーダを次の位置にしてからクロスモードを切替えてください。

- ・切り換え時 クロスフェーダが手前側の場合 奥側 いっぱいまで動かす
- ・切り換え時 クロスフェーダが 奥側の場合 手前側 いっぱいまで動かす

*モードを切り換えたとき、クロスフェーダへの割り付けが変化しない場合には、そのまま使用できます。

P F-P F モード

左右のクロスフェーダにプリセットフェーダが割り付きます。

*フェーダ切替の設定が上段「P F 2」、下段「P F 1」の場合

左側クロスフェーダに上段10本のプリセットフェーダ（P F 2）

右側クロスフェーダに下段10本のプリセットフェーダ（P F 1）が割り付きます。

*フェーダ切替の設定が上下段ともに「P F 1」の場合

左右クロスフェーダにP F 1が割り付きます。

*フェーダ切替の設定が上段「サブマスター」下段「P F 1」の場合

左右クロスフェーダにP F 1が割り付きます。

*フェーダ切替の設定が上下段ともに「サブマスター」の場合

プリセットフェーダのクロス再生はできません。

このモードでシーンを再生する場合は、ボタン再生（→P62）、自動再生（→P64）を使用します。

シーン-P F 1 モード

シーンとプリセットを交互に再生するときに使用します。次のように割り付きます。

左側クロスフェーダにシーン

右側クロスフェーダにプリセットフェーダ（P F 1）

*左側クロスフェーダの割り付けは、クロス転換ごとに次のシーンへ進みます。

*左右クロスフェーダが手前にあるときは、左側クロスフェーダにシーンを割り付けることができます。

シーン-シーンモード

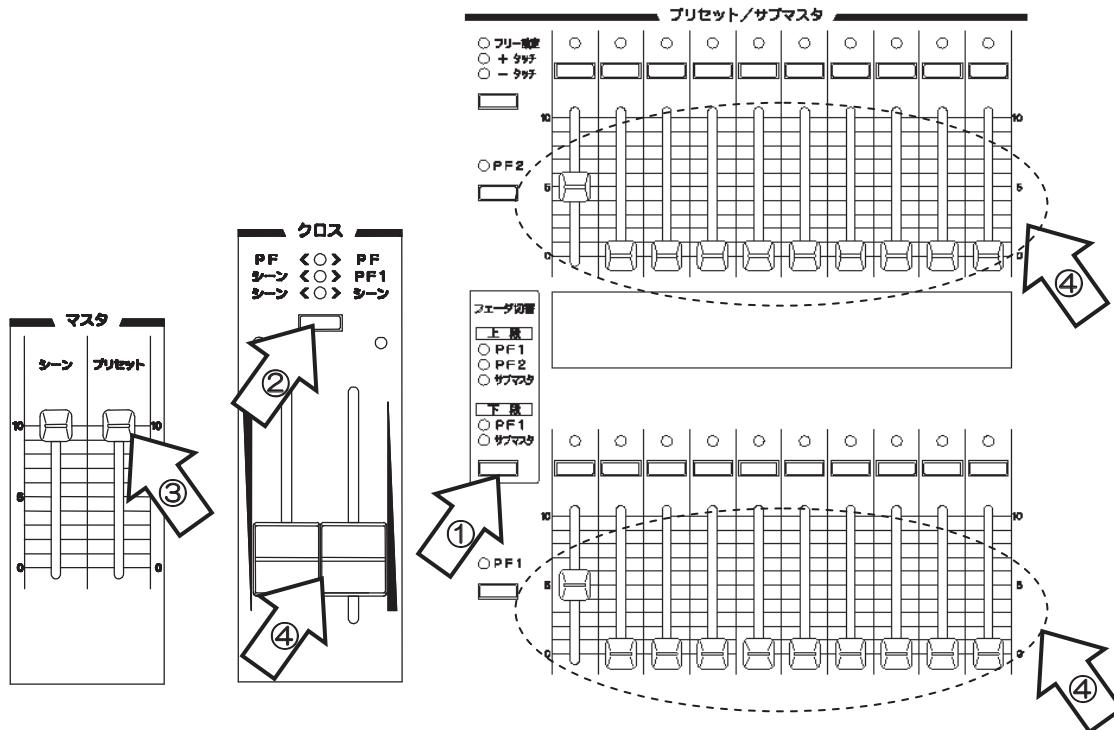
左右のクロスフェーダにシーンが割り付きます。シーンを順次再生するときに使用します。

*クロス転換ごとに次のシーンへ進みます。

*左右のクロスフェーダが手前にあるとき、左側クロスフェーダへシーンを割り付けることができます。

*左右のクロスフェーダが奥側にあるとき、右側クロスフェーダにシーンを割り付けることができます。

PF-PF再生で点灯する



プリセットフェーダの上側10本を「PF2」、下側10本を「PF1」として、クロスを用いて再生します。左側クロスフェーダを奥側にすると「PF2」が100%、右側クロスフェーダを手前側にすると「PF1」が100%となります。

① プリセット/サブマスタ **フェーダ切替**を押し、上段「PF2」下段「PF1」を選択する

上段 PF2 LED 点灯

下段 PF1 LED 点灯

② クロス **クロスマード切替**を押し、「PF-PF」を選択する

PF-PF LED 点灯

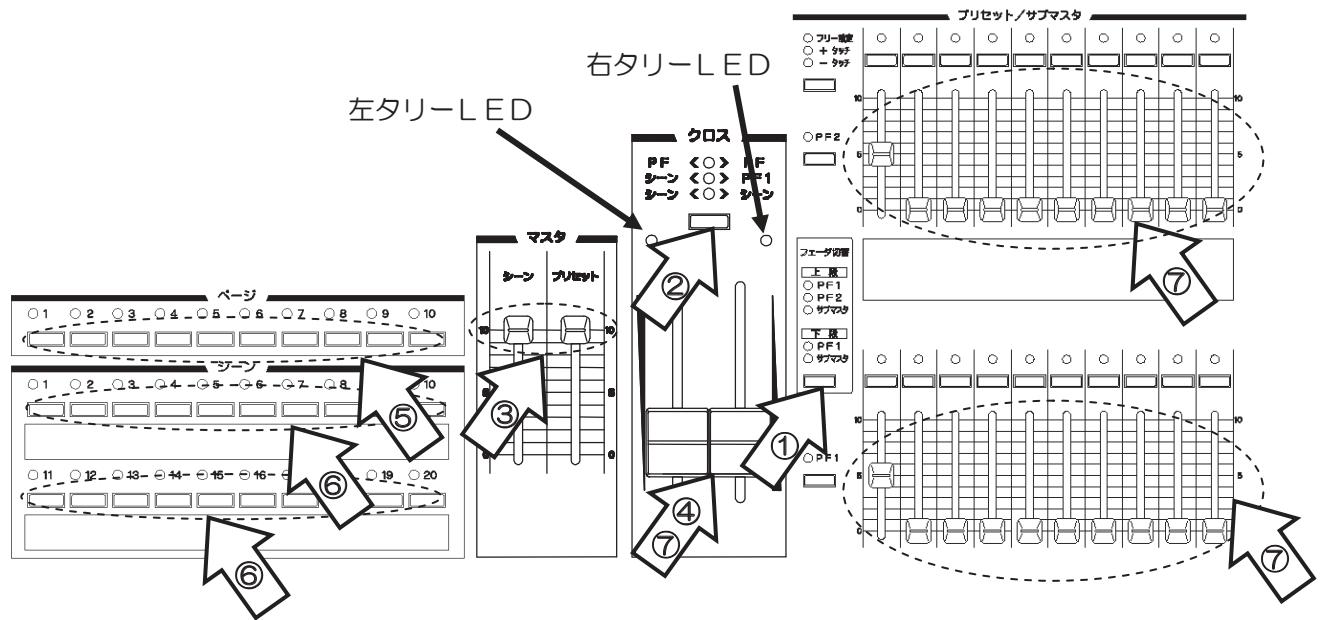
③ マスタ プリセットマスタフェーダを100%（一番上）の位置にする

④ プリセットフェーダで灯りを作り、クロスフェーダで切替えます。

*フェーダ切替で「PF2」を選択していないときは、左右のクロスフェーダは、どちらも「PF1」が割り付きます。

*フェーダ切替で上下段ともに「サブマスタ」の場合には、プリセットフェーダの灯りは出ません。

シーン-PF1再生で点灯する



プリセットフェーダとシーンを用いて再生します。左側クロスフェーダを奥側にすると「シーン」が100%、右側プリセットフェーダを手前になると「PF1」が100%となります。

クロスフェーダ2本を同時に動かし、奥側（シーン100%PF0%）、次に手前側（シーン0%PF100%）にするとシーンが1つ進みます。これでPF→シーン→PF→次のシーン→PF→その次のシーン・・・と再生します。[ページ連続]をONしておくとページをまたいでシーン再生します。クロスフェーダが手前側（シーン0%PF100%）の時に次に再生するシーンを指定できます。

- ① プリセット/サブ マスタ フェーダ切替を押し、上段「PF1」下段「PF1」を選択する

上段 PF1 LED 点灯

下段 PF1 LED 点灯

- ② クロス クロスマード切替を押し、「シーン-PF1」を選択する

シーン-PF1 LED 点灯

- ③ マスタ プリセットマスタフェーダを100%（一番上）の位置にする

シーンマスタフェーダを100%（一番上）の位置にする

- ④ クロスフェーダを左右2本とも手前側（シーン0%PF100%）にする

左タリー 緑点灯

右タリー 赤点灯

- ⑤ ページ クロスで再生するシーンの[ページ番号]を押す（保存済みのシーン番号 橙点灯）

選択したページ番号LED 緑点滅

ボタン音 ピッ

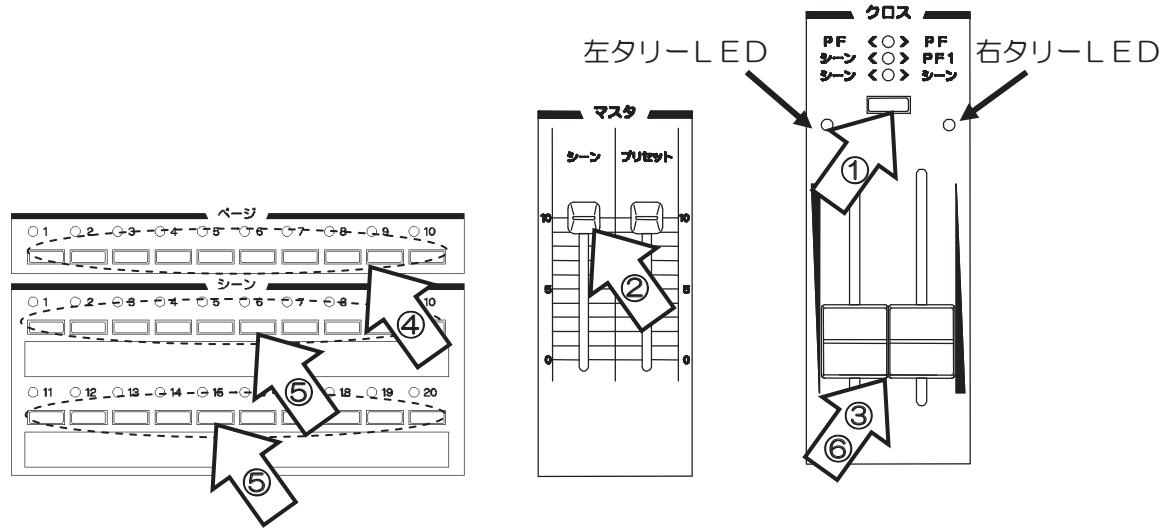
- ⑥ シーン クロスで再生する[シーン番号]を押すとクロス左側にシーンが割りつく

選択したシーン番号LED 緑点灯

ボタン音 ピッ

- ⑦ プリセットフェーダとシーンをクロスフェーダで交互に再生できます。

シーンーシーン再生で点灯する



シーンを用いて再生します。左側クロスフェーダを奥側にすると100%、右側を手前側にすると100%となります。

クロスフェーダ2本を同時に動かし、奥側（左側100%右側0%）にすると、右側が次のシーンに進み、手前側（左側0%右側100%）にすると左側が次のシーンに進みます。これでシーンを進めしていくことができます。**ページ連続**をONしておくとページをまたいでシーン再生します。

クロスフェーダが手前側、または奥側のときの0%側に次に再生するシーンを指定できます。

- ① クロス **クロスマード切替**を押し、「シーンーシーン」を選択する

シーンーシーンLED 点灯

- ② マスター シーンマスタフェーダを100%（一番上）の位置にする

- ③ クロスフェーダを左右2本とも手前側（左側0%右側PF100%）にする

左タリー 緑点灯

右タリー 赤点灯

- ④ ページ クロスで再生するシーンの**ページ番号**を押す（保存済みのシーン番号 橙点灯）

選択したページ番号LED 緑点滅

ボタン音 ピッ

- ⑤ シーン クロスで再生する**シーン番号**を押すとクロス左側にシーンが割りつく

選択したシーン番号LED 緑点灯

ボタン音 ピッ

- ⑥ シーンをクロスフェーダで再生できます。

サブマスターで
灯りを点灯する

サブマスタの機能

サブマスタとは

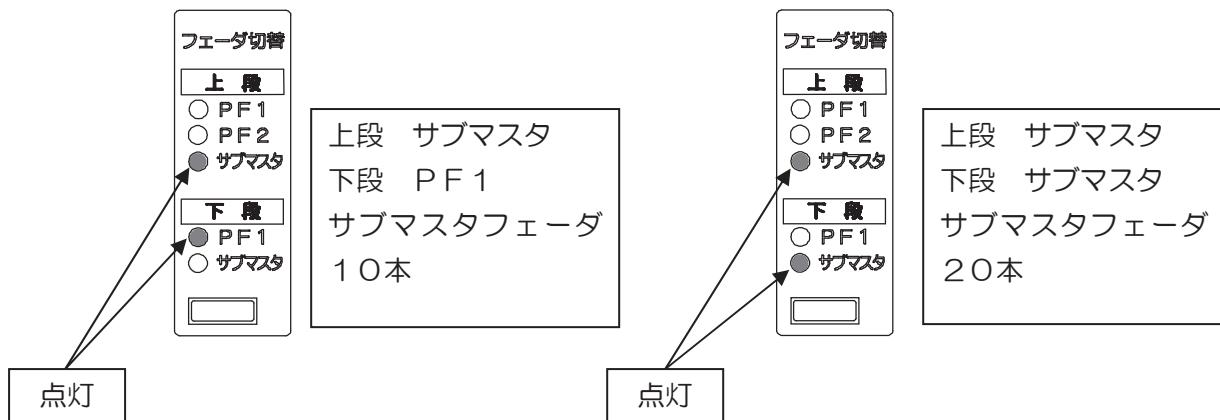
サブマスタとはフェーダに灯りの状態を記憶したものです。

サブマスタは最大20本×15ページ=300本の記憶ができます。

記憶する灯りは、プリセット、シーン、サブマスタで出している灯りです。

(フリーフェーダ、チェイス、タッチスイッチ、ハウスライト、ワンタッチシーン、ON/OFFの灯りは記憶しません)

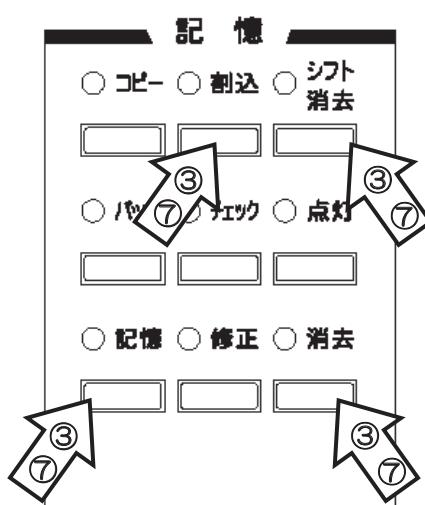
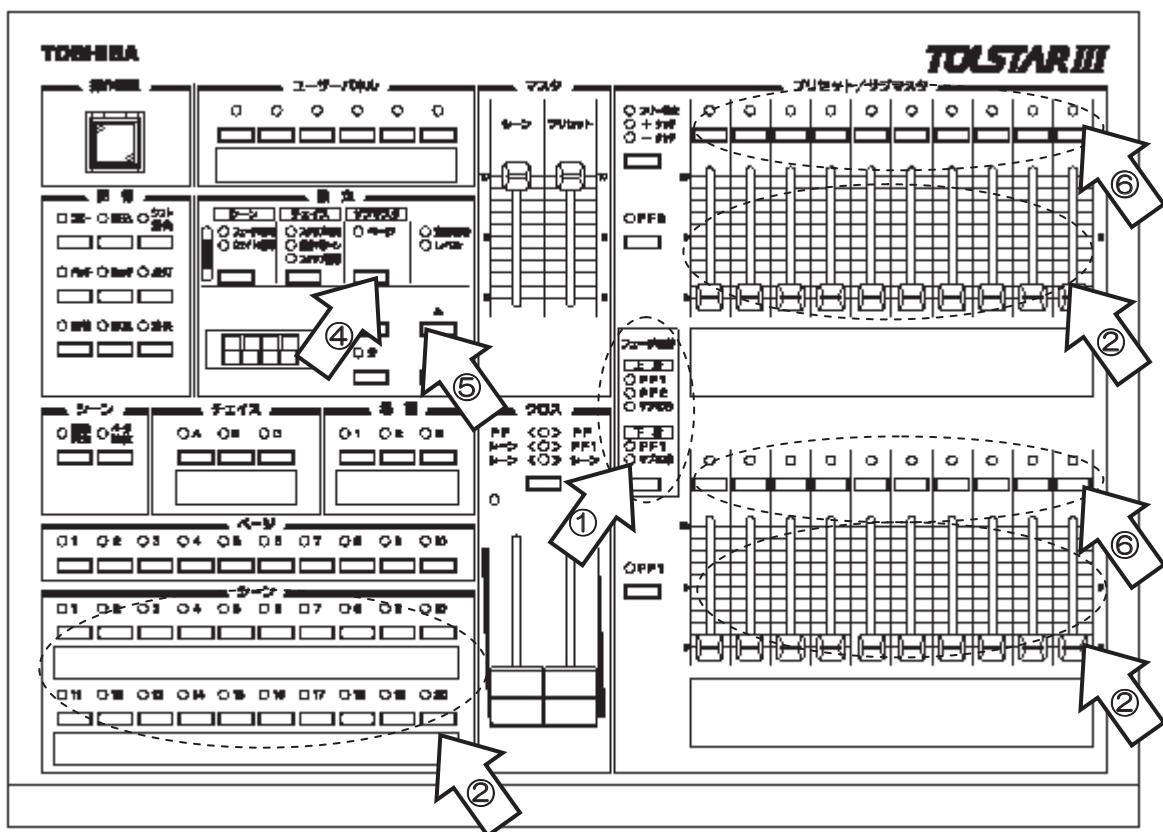
サブマスタを使用する場合にはフェーダ切替を以下のいずれかに設定してください。



フェーダ切替は、設定が変化する段のフェーダすべてが0レベル（一番手前）のとき切り換えることができます。

サブマスターに灯りを記憶する

操作場所



サブマスタに灯りを記憶する

- ① プリセット/サブマスタ **フェーダ切替**を押し、上段または上下段「サブマスタ」を選択する

上段 サブマスタLED	点灯
または上下段 サブマスタLED	点灯

- ② プリセット、シーン、サブマスタで灯りをつくる

- ③ 記憶 **記憶**を押す

記憶LED	点灯
ボタン音	ピッ

- ④ 設定 **サブマスタ**を押す

7セグ表示	(上段サブマスタ設定) 1-1
	(上下段サブマスタ設定) 1

ボタン音	ピッ
サブマスタ段フェーダLED (仕込済)	橙点灯

- ⑤ 設定 **▼ ▲**を押してサブマスタのページを選択する

7セグ表示	(上段サブマスタ設定) 1-1～15-2
	(上下段サブマスタ設定) 1～15

ボタン音	ピッ
------	----

- ⑥ プリセット/サブマスタ

記憶するフェーダLEDが消灯している場合

記憶するサブマスタの**フェーダ選択**を押す

フェーダLED	橙点灯
ボタン音	ピッ

記憶するフェーダLEDが橙点灯している場合（上書き）

記憶するサブマスタの**フェーダ選択**を押す

フェーダLED	赤点滅
ボタン音	ピッピッ

もう一度、記憶するサブマスタの**フェーダ選択**を押す

フェーダLED	橙点灯
ボタン音	ピッ

- ⑦ 記憶 **記憶**を押し終了

記憶LED	消灯
ボタン音	ピッ

サブマスタに割込ませて灯りを記憶する

指定したサブマスタ番号の位置に割込ませて記憶する。割込み記憶位置以降のサブマスタシーン記憶位置は後ろにずれる。ページ内の割込み記憶位置以降にサブマスタフェーダの空きがない場合はこの操作はできません。他ページのサブマスタシーン記憶位置はそのままです。操作手順は、記憶の上書きと同じです。

- ① プリセット/サブマスタ フェーダ切替を押し、上段または上下段「サブマスタ」を選択する

上段 サブマスタ LED	点灯
または上下段 サブマスタ LED	点灯

- ② プリセット、シーン、サブマスタで灯りをつくる

- ③ 記憶 割込を押す

割込 LED	点灯
ボタン音	ピッ

- ④ 設定 サブマスタを押す

7セグ表示	(上段サブマスタ設定) 1-1
ボタン音	ピッ
サブマスタ段フェーダ LED (仕込済)	橙点灯

- ⑤ 設定 ▼ ▲を押してサブマスタのページを選択する

7セグ表示	(上段サブマスタ設定) 1-1~15-2
ボタン音	ピッ
サブマスタ段フェーダ LED (仕込済)	橙点灯

- ⑥ プリセット/サブマスタ 割込するサブマスタのフェーダ選択を押す

フェーダ LED	橙点灯
ボタン音	ピッ
ページ内に空きがない場合	
ボタン音	ピッ、ピッ、ピッ

- ⑦ 記憶 割込を押し終了

記憶 LED	消灯
ボタン音	ピッ

*割込で選択したサブマスタフェーダが0%（一番手前）以外の場合、その灯りが保持され、

フェーダ LEDが赤点滅します。フェーダレベルを0に戻してください。

（保持された灯りがフェーダ操作に準じて消灯します）

サブマスタを消去する

サブマスタを消去する

消去するサブマスタのページと番号を指定して消去します。操作手順は、記憶の上書きと同じです。

- ① プリセット/サブマスタ フェーダ切替を押し、上段または上下段「サブマスタ」を選択する

上段 サブマスタLED 点灯
または上下段 サブマスタLED 点灯

- ② —— (操作なし)

- ③ 記憶 消去を押す

記憶LED 点灯
ボタン音 ピッ

- ④ 設定 サブマスタを押す

7セグ表示 (サブマスタ上段のみ) 1-1

(サブマスタ上下段) 1

ボタン音 ピッ

サブマスタ段フェーダLED (仕込済) 橙点灯

- ⑤ 設定 ▼ ▲を押してサブマスタのページを選択する

7セグ表示 (サブマスタ上段のみ) 1-1~15-2

(サブマスタ上下段) 1~15

ボタン音 ピッ

- ⑥ プリセット/サブマスタ 消去するサブマスタのフェーダ選択を押す

フェーダLED 赤点滅

ボタン音 ピッピッ

(操作をキャンセルしたいときは、記憶 消去を押す)

もう一度、消去するサブマスタのフェーダ選択を押す

フェーダLED 消灯

ボタン音 ピッ

- ⑦ 記憶 消去を押し終了

記憶LED 消灯

ボタン音 ピッ

*消去したサブマスタフェーダが0% (一番手前) 以外の場合、その灯りが保持され、フェーダLEDが赤点滅します。フェーダレベルを0に戻してください。
(保持された灯りがフェーダ操作に準じて消灯します)

サブマスタをシフト消去する

消去した位置以降のシーンがひとつ手前にずれる。他ページのサブマスタシーン記憶位置はそのままです。操作手順は、記憶の上書きと同じです。

- ① プリセット/サブマスク フェーダ切替を押し、上段または上下段「サブマスタ」を選択する

上段 サブマスタ LED	点灯
または上下段 サブマスタ LED	点灯

- ② — (操作なし)

- ③ 記憶 シフト消去を押す

記憶 LED	点灯
ボタン音	ピッ

- ④ 設定 サブマスタを押す

7セグ表示 (上段サブマスタ設定) 1-1	1-1
(上下段サブマスタ設定)	1
ボタン音	ピッ
サブマスタ段フェーダ LED (仕込済)	橙点灯

- ⑤ 設定 ▼ ▲を押してサブマスタのページを選択する

7セグ表示 (上段サブマスタ設定) 1-1～15-2	1-1～15-2
(上下段サブマスタ設定)	1～15

ボタン音	ピッ
------	----

- ⑥ プリセット/サブマスク 消去するサブマスタのフェーダ選択を押す

フェーダ LED	赤点滅
ボタン音	ピッピッ

(操作をキャンセルしたいときは、記憶 シフト消去を押す)

もう一度、消去するサブマスタのフェーダ選択を押す

フェーダ LED	右隣りのフェーダ LED点灯状態がシフトする
ボタン音	ピッ

- ⑦ 記憶 シフト消去を押し終了

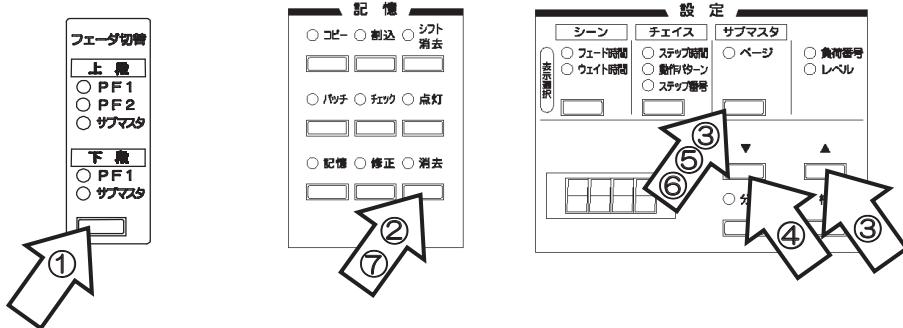
記憶 LED	消灯
ボタン音	ピッ

*消去したサブマスタフェーダが0%（一番手前）以外の場合、その灯りが保持され、フェーダ LEDが赤点滅します。フェーダレベルを0に戻してください。

(保持された灯りがフェーダ操作に準じて消灯します)

サブマスタをページ消去する

サブマスタをページ単位で消去します。



- ① プリセット/サブマスタ フェーダ切替を押し、上段または上下段「サブマスタ」を選択する

上段 サブマスタ LED 点灯

または上下段 サブマスタ LED 点灯

- ② 記憶 消去を押す

記憶 LED 点灯

ボタン音 ピッ

- ③ 設定 サブマスタを押す

7セグ表示（上段サブマスタ設定）1-1

（上下段サブマスタ設定）1

ボタン音 ピッ

サブマスタ段フェーダLED（仕込済） 橙点灯

- ④ 設定 ▼ ▲を押してサブマスタのページを選択する

7セグ表示（上段サブマスタ設定）1-1～15-2

（上下段サブマスタ設定）1～15

ボタン音 ピッ

- ⑤ 設定 サブマスタを押す

7セグ表示（上段サブマスタ設定）1-1～15-2 点滅

（上下段サブマスタ設定）1～15 点滅

ボタン音 ピッピッ

（操作をキャンセルしたいときは、記憶 消去を押す）

- ⑥ 設定 もう一度、サブマスタを押す（ページのサブマスタがすべて消去）

7セグ表示（上段サブマスタ設定）1-1～15-2 点灯

（上下段サブマスタ設定）1～15 点灯

ボタン音 ピッ

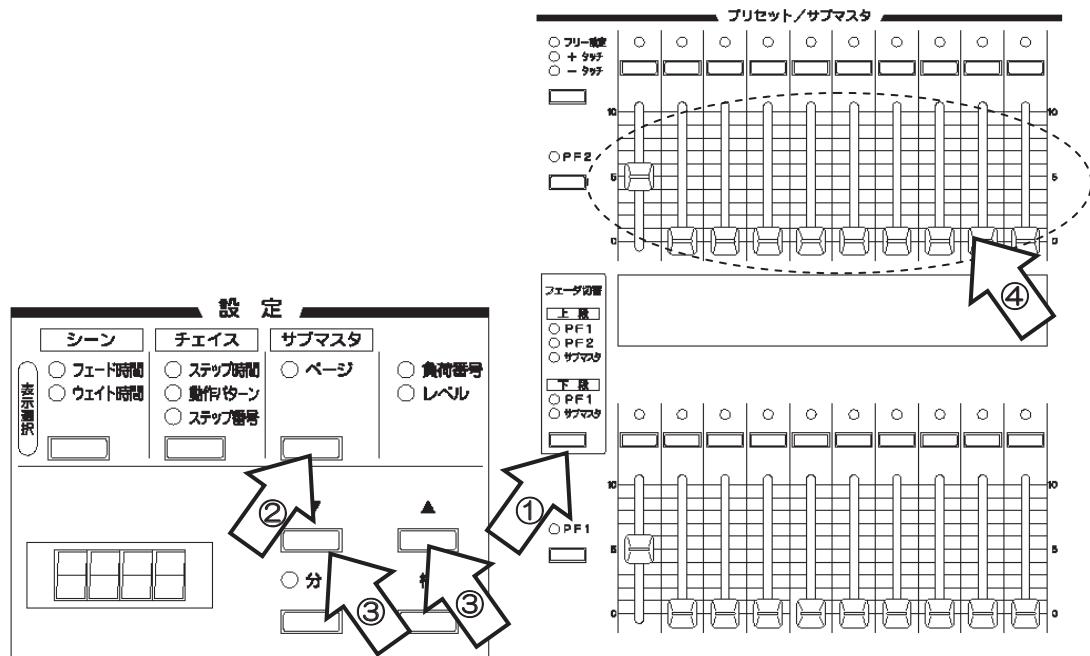
- ⑦ 記憶 消去を押し終了

記憶 LED 消灯

ボタン音 ピッ

*消去したサブマスタフェーダが0%（一番手前）以外の場合、その灯りが保持され、フェーダLEDが赤点滅します。フェーダレベルを0に戻してください。
(保持された灯りがフェーダ操作に準じて消灯します)

サブマスタで灯りを出す



- ① プリセット/サブマスタ フェーダ切替を押し、上段または上下段「サブマスタ」を選択する
上段 サブマスタ LED 点灯
または 上下段サブマスタ 点灯

- ② 設定 サブマスタを押す
7セグ表示 (上段サブマスタ設定) 1-1
(上下段サブマスタ設定) 1

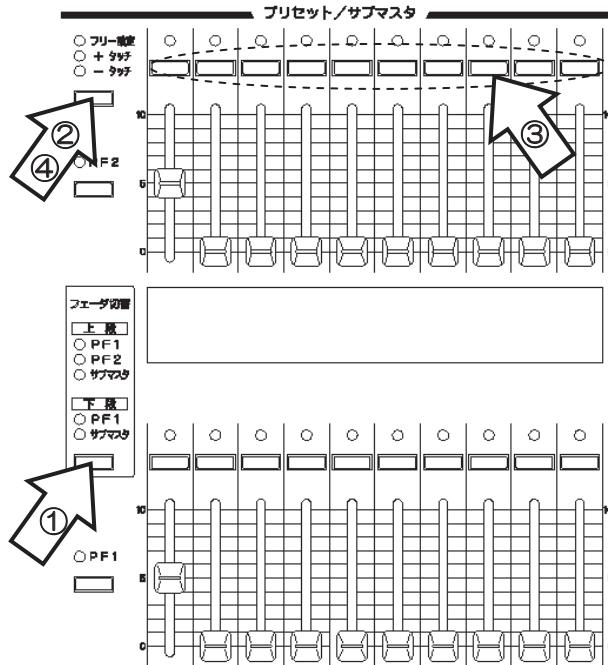
ボタン音 ピッ
サブマスタ段フェーダLED（仕込済） 橙点灯

- ③ 設定 ▼ ▲を押して再生するサブマスタのページを選択する
7セグ表示 (上段サブマスタ設定) 1-1～15-2
(上下段サブマスタ設定) 1～15
ボタン音 ピッ

- ④ プリセット/サブマスタ 再生するフェーダを上げる

*ページを変更したとき、サブマスタフェーダが0%（一番手前）以外の場合、その灯りが保持され、フェーダLEDが赤点滅します。フェーダレベルを0に戻してください。
(保持された灯りがフェーダ操作に準じて消灯します)

サブマスタをタッチで点灯する



① プリセット/サブマスタ **フェーダ切替**を押し、上段または上下段「サブマスタ」を選択する

上段 サブマスタLED	点灯
または上下段 サブマスタLED	点灯

② プリセット/サブマスタ **フェーダ選択切替**を押し、「+タッチ」または「-タッチ」を選択する

再生モードLED	+タッチ点灯
または	
再生モードLED	-タッチ点灯

③ タッチ点灯するサブマスタフェーダの**フェーダ選択**を押すと点灯

フェーダLED	赤点灯
ボタン音	ピッ

タッチ動作を終了する時

④ プリセット/サブマスタ **フェーダ選択切替**を押し、再生モードLEDを消灯する

再生モードLED	消灯
ボタン音	ピッ

チェイスを使う

チェイスの機能

チェイスとは

1つの灯りの状態をステップとして記憶します。いくつかのステップを一定間隔で繰り返し順次再生する動作をチェイスといいます。

記憶する灯りは、プリセット、シーン、サブマスタで出している灯りです。(フリーフェーダ、チェイス、タッチスイッチ、ハウスライト、ワンタッチシーン、ON/OFFの灯りは記憶しません)

ステップ数は、1パターンあたり25ステップ

ステップ時間は、パターン単位で0.1秒～99.9秒

動作パターンは、(7セグ表示は、動作パターン選択時、4桁目はパターン番号A, b, C)

フォワード (ステップ番号の若い順に順次再生)

7セグ表示 1桁目 0

リバース (ステップ番号の大きいほうから小さい方へ順次再生)

7セグ表示 1桁目 1

バウンズ (フォワード動作に続けてリバース動作)

7セグ表示 1桁目 2

チェイス灯りの移り変わりは、

フェード (ステップ時間でフェード)

7セグ表示 2桁目 F

カット (ステップ時間の切り替わりでカットチェンジ)

7セグ表示 2桁目 C

となります。

チェイスは、A, B, C 3パターンを同時に再生することができます。

(同じチェイスを同時に再生することはできません。)

チェイスは、チェイス選択ボタンでの再生、サブマスタでの再生ができます。サブマスタで再生する場合には、予め、チェイスをサブマスタへコピーする必要があります。

ボタン再生のチェイス灯りにはシーンマスタが掛かります。サブマスタ再生のチェイス灯りには掛けません。

ひとつのチェイスは、一箇所でしか操作できません。

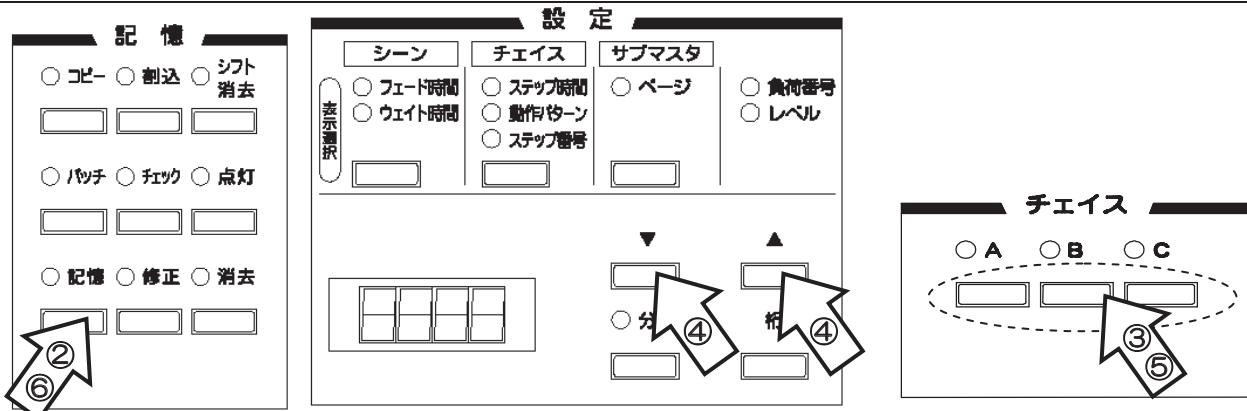
*例えば、

チェイス「A」をチェイスパネルのチェイス選択ボタンで再生した場合、サブマスタでのチェイス「A」を操作することはできません。

また、2本のサブマスタにチェイス「A」をコピーした場合、一方のサブマスタで再生したチェイス「A」を、もう片方のサブマスタ及びチェイス選択ボタンで操作することはできません。

チェイスに灯りを記憶する

チェイスに灯りを記憶する



プリセットとシーンを使って記憶する灯りを作り、チェイスのステップ番号を指定、記憶するチェイスパターン（A・B・C）を選択する。

① シーン・プリセット・サブマスタを使って灯りをつくる

② 記憶 **記憶**を押す。

記憶LED 点灯

ボタン音 ピッ

③ チェイス **記憶する** **Chase選択** (A, B, C) を押す

選択したチェイスLED 点灯

ボタン音 ピッ

④ 設定 **▼** **▲**を押してチェイスのステップ番号を選択する

アセグ表示 1~25 (記憶済み 点滅、記憶無し 点灯)

ボタン音 ピッ

⑤ チェイス アセグ表示が点灯している場合

記憶する**Chase選択** (A・B・C) を押す

選択したチェイスLED 点灯

ボタン音 ピッ

アセグ表示が点滅している場合(上書き)

記憶する**Chase選択** (A・B・C) を押す

選択したチェイスLED 点滅

ボタン音 ピッピッ

もう一度、記憶する**Chase選択** (A・B・C) を押す

選択したチェイスLED 点灯

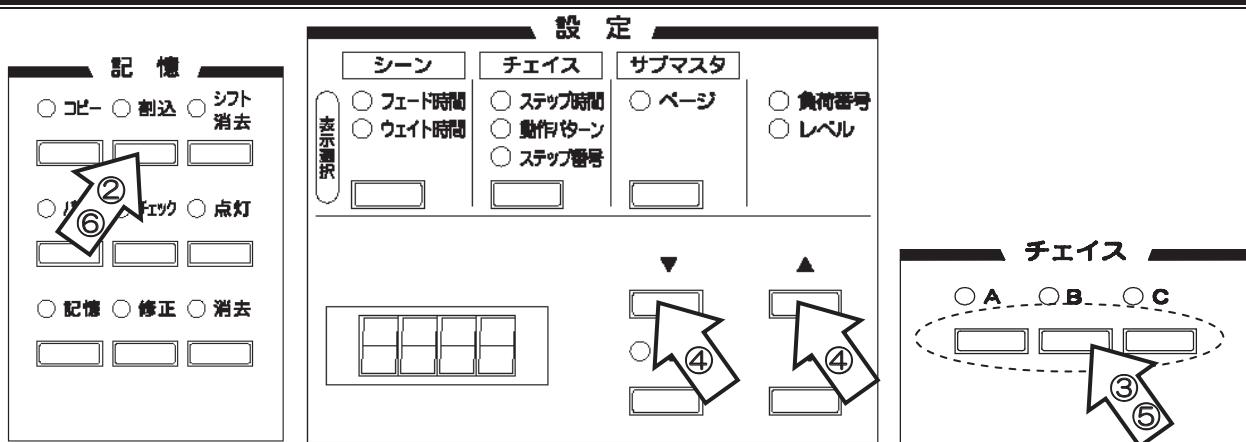
ボタン音 ピッ

⑥ 記憶 **記憶**を押し終了

記憶LED 消灯

ボタン音 ピッ

チェイスのステップに割込ませて灯りを記憶する



プリセットとシーンを使って記憶する灯りを作り、チェイスのステップ番号を指定、記憶するチェイスパターン（A・B・C）を選択する。

指定したステップ番号の位置に割込ませてチェイスを記憶する。割込み記憶位置以降のステップ記憶位置は後ろにずれる。割込み記憶位置以降にステップの空きがない場合はこの操作はできません。

① シーン・プリセット・サブマスターを使って灯りをつくる

② 記憶 割込を押す。

割込LED	点灯
-------	----

ボタン音	ピッ
------	----

③ チェイス 記憶するチェイス選択（A, B, C）を押す

選択したチェイスLED	点灯
-------------	----

ボタン音	ピッ
------	----

④ 設定 ▼ ▲を押してチェイスのステップ番号を選択する

7セグ表示	1～25
-------	------

ボタン音	ピッ
------	----

⑤ チェイス 記憶するチェイス選択（A・B・C）を押す

選択したチェイスLED	点灯
-------------	----

ボタン音	ピッ
------	----

ステップに空きがない場合

ボタン音	ピッピッピッ
------	--------

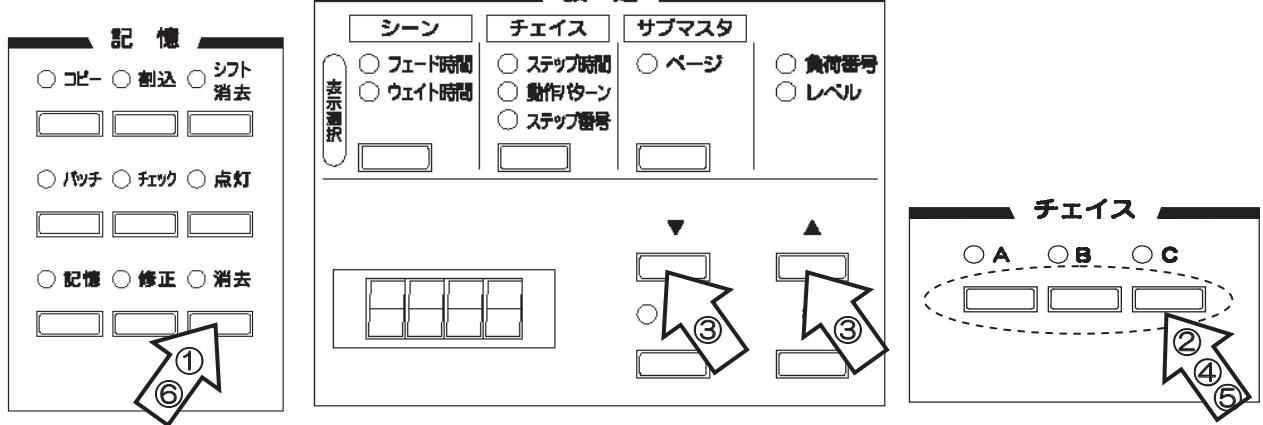
⑥ 記憶 割込押し終了

割込LED	消灯
-------	----

ボタン音	ピッ
------	----

チェイスを消去する

チェイスのステップを消去する



チェイスのステップ番号を指定して消去する。

- ① 記憶 **消去**を押す

消去LED 点灯

ボタン音 ピッ

- ② チェイス 消去する**Chase選択**(A・B・C)を押す

選択したチェイスLED 点灯

ボタン音 ピッ

- ③ 設定 ▼ ▲を押してチェイスのステップ番号を選択する

7セグ 1~25

ボタン音 ピッ

- ④ チェイス 消去する**Chase選択**(A・B・C)を押す

選択したチェイスLED 点滅

ボタン音 ピッピッ

(操作をキャンセルしたいときは、記憶 **消去**を押す)

- ⑤ チェイス もう一度、消去する**Chase選択**を押す

選択したチェイスLED 点灯

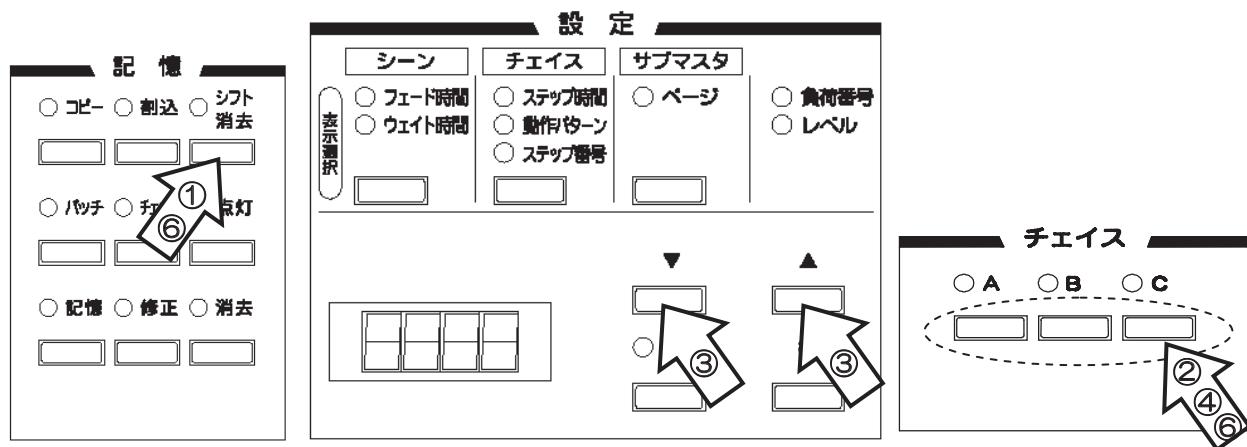
ボタン音 ピッ

- ⑥ 記憶 **消去**を押し終了

消去LED 消灯

ボタン音 ピッ

チェイスのステップをシフト消去する



チェイスのステップ番号を指定して消去する。消去した位置以降のステップ記憶位置がひとつ手前にずれる。

- ① 記憶 **シフト消去**を押す

シフト消去LED	点灯
ボタン音	ピッ

- ② チェイス 消去する**チェイス選択**(A・B・C)を押す

選択したチェイスLED	点灯
ボタン音	ピッ

- ③ 設定 **▼** **▲**を押してチェイスのステップ番号を選択する

アセグ表示	(A, b, C) 1~25
ボタン音	ピッ

- ④ チェイス 消去する**チェイス選択**(A・B・C)を押す

選択したチェイスLED	点滅
ボタン音	ピッピッ

(操作をキャンセルしたいときは、記憶 **シフト消去**を押す)

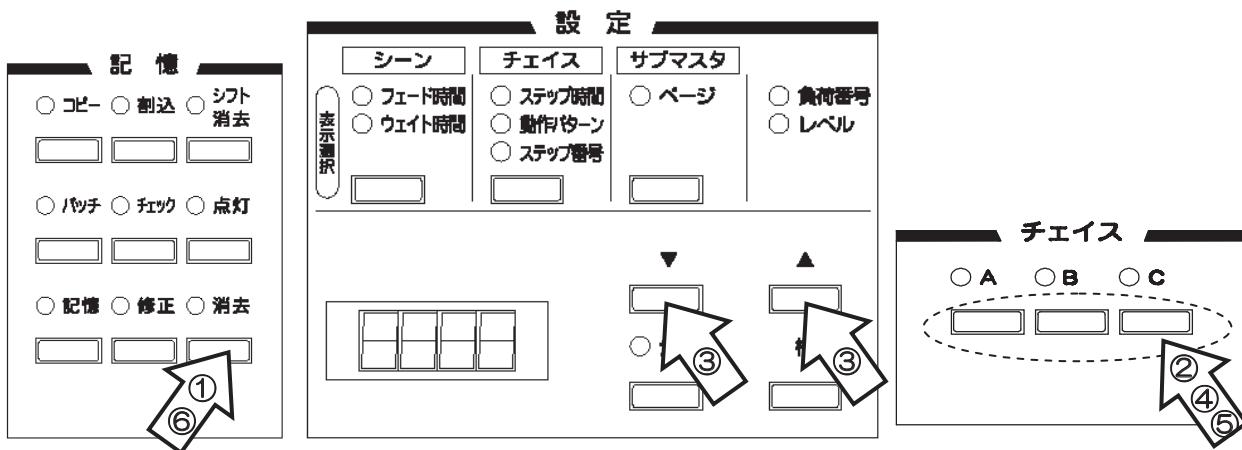
- ⑤ チェイス もう一度、消去する**チェイス選択**を押す

選択したチェイスLED	点灯
ボタン音	ピッ

- ⑥ 記憶 **シフト消去**を押し終了

シフト消去LED	消灯
ボタン音	ピッ

チェイスのパターンを消去する



チェイスパターンを消去する。

① 記憶 消去を押す

消去LED	点灯
ボタン音	ピッ

② チェイス 消去するChase選択(A・B・C)を押す

選択したチェイスLED	点灯
ボタン音	ピッ

③ 設定 ▼ ▲を押してALLを選択する

アセグ表示	(A, b, C) ALL
ボタン音	ピッ

④ チェイス 消去するChase選択(A・B・C)を押す

選択したチェイスLED	点滅
ボタン音	ピッピッ
(操作をキャンセルしたいときは、記憶 消去を押す)	

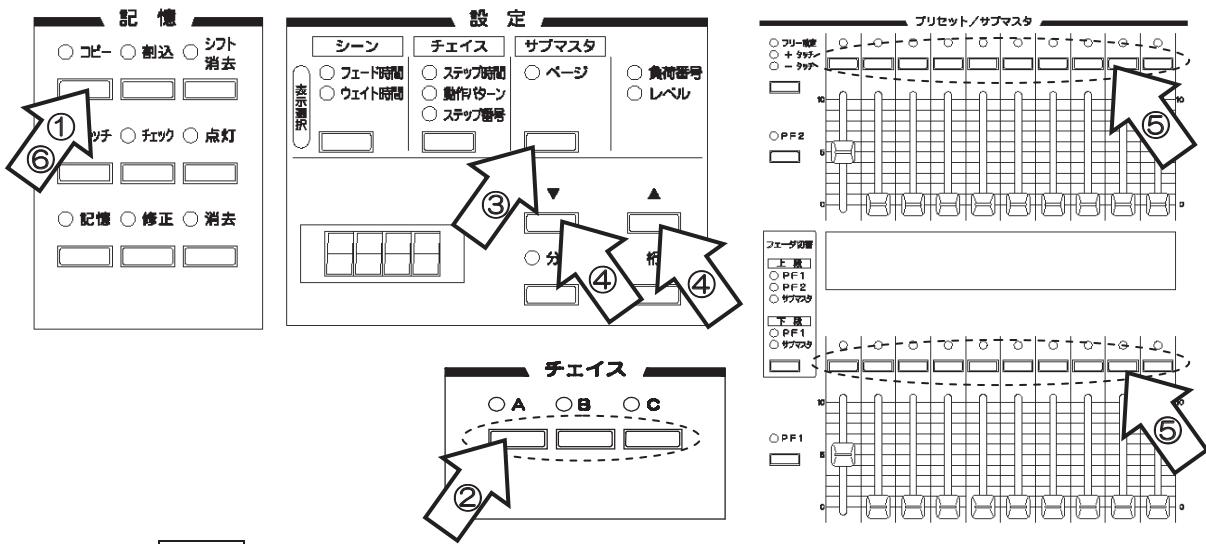
⑤ チェイス もう一度、消去するChase選択を押す

選択したチェイスLED	点灯
ボタン音	ピッ

⑥ 記憶 消去を押し終了

消去LED	消灯
ボタン音	ピッ

チェイスをサブマスタにコピーする



① 記憶 **コピー**を押す

コピーLED

点灯

ボタン音

ピッ

② チェイス コピー元の**Chase選択** (A・B・C) を押す

選択したChase LED

点滅

ボタン音

ピッ

③ 設定 **サブマスター**を押す

アセグ

1-1

ボタン音

ピッ

サブマスター段フェーダLED (仕込済) 橙点灯

④ 設定 **▼ ▲**を押してコピー先のサブマスターのページを選択する

アセグ表示

1-1~15-2

ボタン音

ピッ

⑤ プリセット/サブマスター **コピー先サブマスターのフェーダLEDが消灯している場合**

コピー先のサブマスターの**フェーダ選択**を押す

選択したフェーダLED 橙点灯

ボタン音

ピッ

コピー先サブマスターのフェーダLEDが橙点灯している場合（上書き）

コピー先のサブマスターの**フェーダ選択**を押す

選択したフェーダLED 赤点滅

ボタン音

ピッピッ

もう一度、コピー先のサブマスターの**フェーダ選択**を押す

選択したフェーダLED 橙点灯

ボタン音

ピッ

⑥ 記憶 **コピー**を押し終了

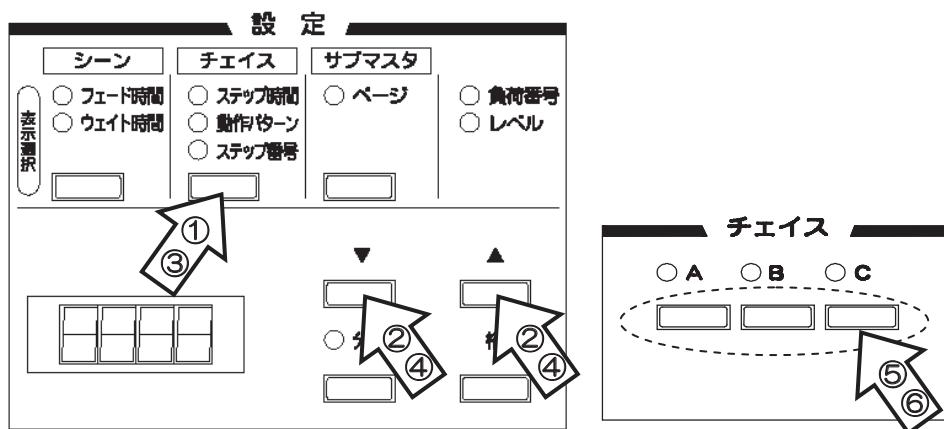
コピーLED

消灯

ボタン音

ピッ

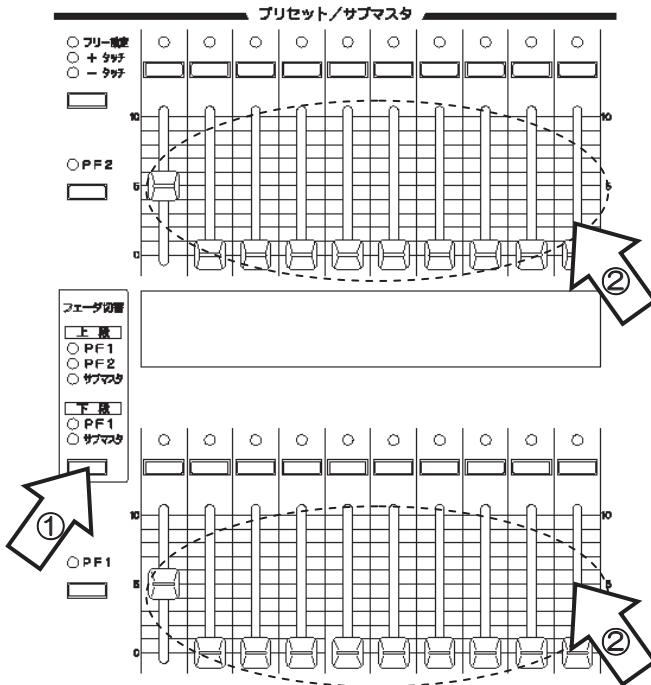
チェイスで灯りを出す



A, B, C 3パターンのチェイスを同時に再生することができます。

- ① 設定 **Chase**を押しA, B, Cの「ステップ時間」を選択する
ステップ時間 点灯
アセグ表示 (A, b, C) 0. 1~99. 9
- ② 設定 ▼ ▲を押してステップ時間を決定する。
アセグ表示 (A, b, C) 0. 1~99. 9
- ③ 設定 **Chase**を押しA, B, Cの「動作パターン」を選択する
動作パターン 点灯
アセグ表示 (A, b, C) F0~F2/C0~C2
- ④ 設定 ▼ ▲を押して動作パターン設定する。
F0 : フェードチェンジ、フォワード CO : カットチェンジ、フォワード
F1 : フェードチェンジ、リバース C1 : カットチェンジ、リバース
F2 : フェードチェンジ、バウンズ C2 : カットチェンジ、バウンズ
- ⑤ チェイス 再生する**Chase選択** (A・B・C) を押す (チェイスの灯りを再生する)
選択したチェイスLED 点灯
ボタン音 ピッ
- ⑥ チェイス 停止する**Chase選択** (A・B・C) を押す (チェイスが灯りが消灯する)
選択したチェイスLED 点灯
ボタン音 ピッ

チェイスをサブマスタで点灯する



① プリセット/サブマスタ フェーダ切替を押し、上段「サブマスタ」又は上下段「サブマスタ」を選択する。

上下段 または 上段サブマスタLED 点灯

② プリセット/サブマスタ チェイスをコピーしたサブマスタフェーダを操作する

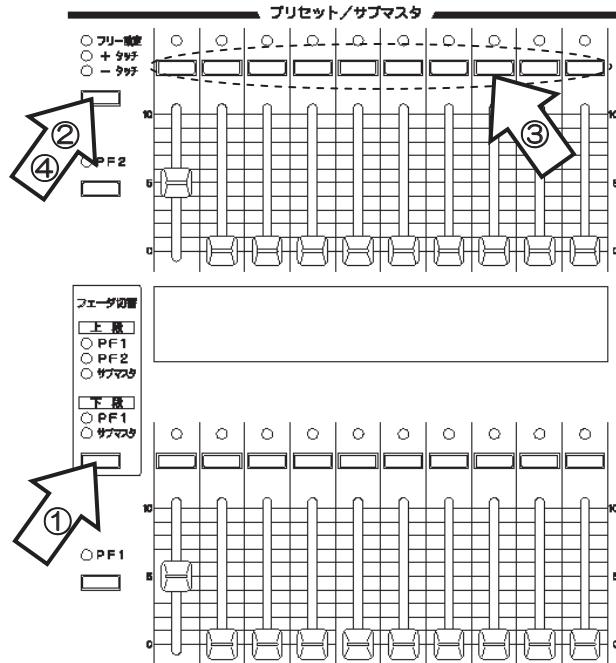
再生しているチェイスLED 点灯

(サブマスタフェーダが0%の時は消灯)

フェーダLED 赤調光

サブマスタへのチェイスのコピーは、P91 を参照してください

チェイスをタッチで点灯する



① プリセット/サブマスター フェーダ切替を押し、上段「サブマスター」又は上下段「サブマスター」を選択する

上下段 または 上段サブマスタLED 点灯

② プリセット/サブマスター フェーダ選択切替を押し、「+タッチ」または「-タッチ」を選択する

再生モードLED +タッチ点灯

または

再生モードLED -タッチ点灯

③ プリセット/サブマスター チェイスをコピーしたサブマスタフェーダのフェーダ選択を押す（チェイスの灯りが点灯）

フェーダLED 赤点灯

ボタン音 ピッ

タッチ動作を終了する時

④ プリセット/サブマスター フェーダ選択切替を押し、再生モードLEDを消灯する

再生モードLED 消灯

ボタン音 ピッ

サブマスターへのチェイスのコピーは、P91 を参照してください

シーン、サブマ
スク、チエイス
を編集する

コピー機能

コピーとは

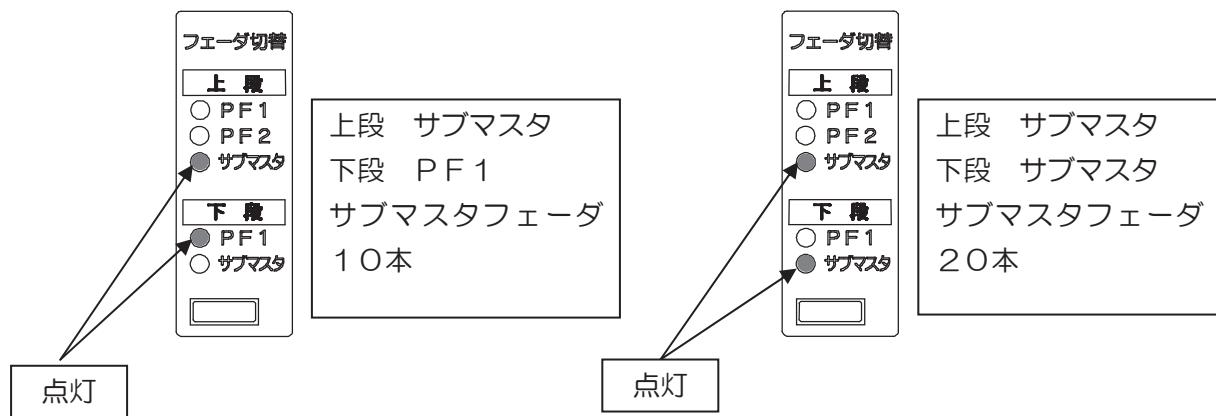
シーン、サブマスタに保存されている情報を別のシーン番号やサブマスタフェーダにコピーすることができます。

コピーできる範囲は以下の通りです。

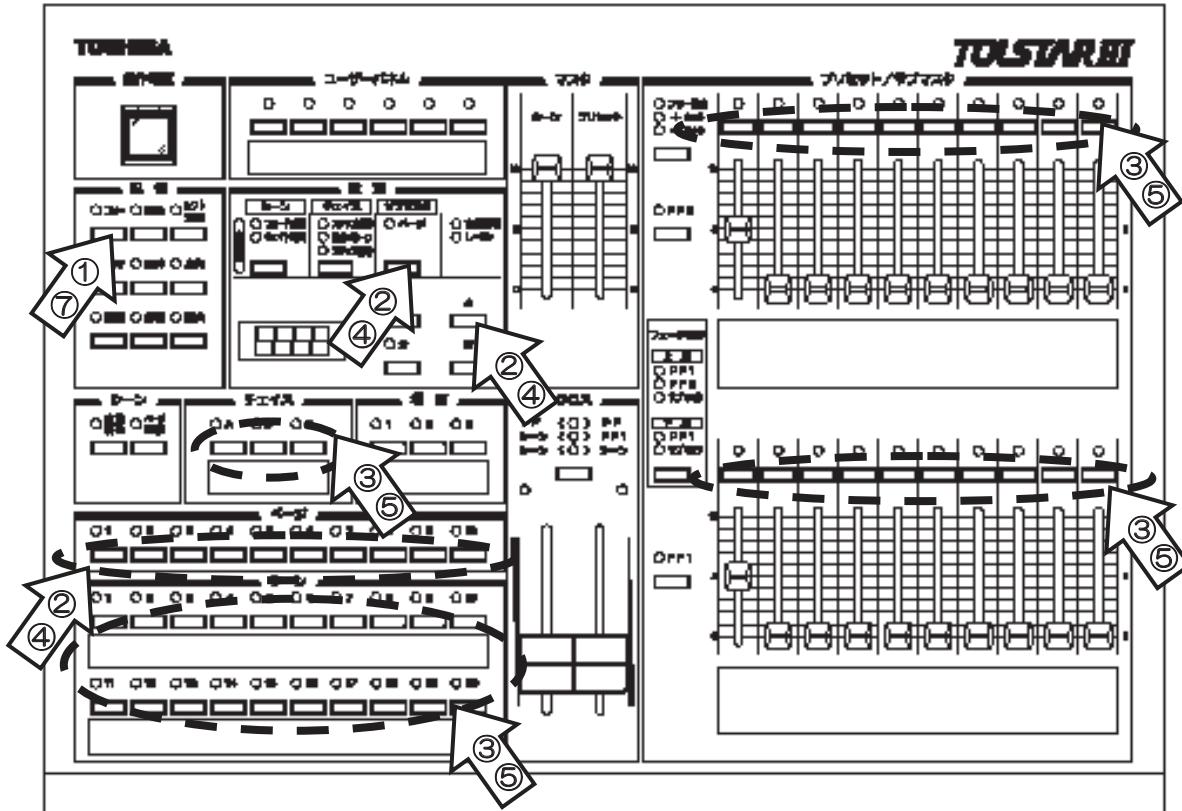
シーン	から	シーン	へ	コピー
シーン	から	サブマスタ	へ	コピー
サブマスタ	から	サブマスタ	へ	コピー
サブマスタ	から	シーン	へ	コピー
チェイス	から	サブマスタ	へ	コピー

サブマスタへのコピー、サブマスタからのコピーをおこなう場合には、フェーダ切替を以下のいずれかに設定してください。

フェーダ切替は、設定が変化する段のフェーダすべてが0レベル（一番手前）のとき切り換えることができます。



コピーをする



サブマスタを使用する場合には、フェーダ切替を 上段「サブマスタ」、下段「PF1」または上下段「サブマスタ」に設定してください。

チェイスは、サブマスタとチェイスにのみコピーできます。

① 記憶 **コピー**を押す

コピーLED

点灯

ボタン音

ピッ

② コピー元のページを選択する。

*シーンの場合

シーン **ページ番号**を押す。

ページ番号LED

赤点灯

ボタン音

ピッ

*サブマスタの場合

設定 **サブマスタ**を押し、**▼** **▲**で選択する。

7セグ表示

ページ番号

*チェイスの場合 操作なし

③ コピー元を選択する。

*シーンの場合

シーン シーン番号を押す。

シーン番号LED

緑点滅

ボタン音

ピッ

*サブマスターの場合

プリセット/サブマスター フェーダ選択 を押す。

フェーダLED

緑点滅

ボタン音

ピッ

*チェイスの場合

チェイス チェイス選択 (A、B、C) を押す。

チェイス選択LED

赤点滅

ボタン音

ピッ

④ コピー先のページを選択する

*シーンの場合

シーン ページ番号を押す。

ページ番号LED

赤点灯

シーン元 ページ番号LED

緑点滅

ボタン音

ピッ

*サブマスターの場合

設定 サブマスターを押し、▼ ▲で選択する。

アセグ表示

ページ番号

*チェイスの場合 操作なし

⑤ コピー先を選択する。

*シーンの場合

シーン シーン番号を押す。

既に記憶済みシーンのシーン番号LED

赤点滅

ボタン音

ピッピッ

未記憶シーンのシーン番号LED

橙点灯

ボタン音

ピッ (記憶完了)

*サブマスターの場合

プリセット/サブマスター フェーダ選択 を押す。

既に記憶済みフェーダのフェーダLED

赤点滅

ボタン音

ピッピッ

未記憶フェーダのフェーダLED

橙点灯

ボタン音

ピッ (記憶完了)

*チェイスの場合

チェイス チェイス選択 (A、B、C) を押す。

既に記憶済みチェイスのチェイス選択LED 赤点滅

ボタン音

ピッピッ

未記憶チェイスのチェイス選択LED 赤点灯

ボタン音

ピッ (記憶完了)

⑥ 既に記憶済みのコピー先に上書き記憶する場合 ⑤に続けて

*シーンの場合

⑤と同じ シーン **シーン番号**をもう一度押す。(上書き)

シーン番号LED 橙点灯

ボタン音 ピッ (記憶完了)

*サブマスターの場合

⑤と同じ プリセット/サブマスター **フェーダ選択** をもう一度押す。(上書き)

フェーダLED 橙点灯

ボタン音 ピッ (記憶完了)

*チェイスの場合

⑤と同じ チェイス選択 (A、B、C) をもう一度押す。(上書き)

フェーダLED 赤点灯

ボタン音 ピッ (記憶完了)

⑦ 記憶 **コピー**を押し終了

コピーLED 消灯

ボタン音 ピッ

修正機能

修正とは

シーン、サブマスタに保存されている各灯りのレベルを修正することができます。

修正した灯りを修正前と同じシーン、サブマスタに保存することができます。また、修正した灯りを別のシーン、サブマスタに保存することもできます。

修正した灯りを保存できる範囲は以下の通りです。

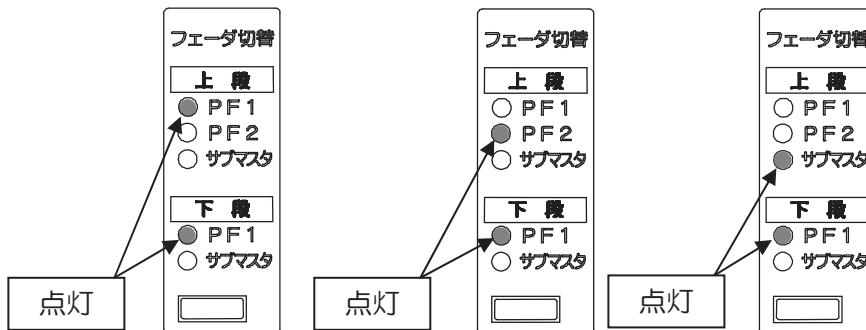
- シーン を修正し シーン へ 保存
- シーン を修正し サブマスタ へ 保存
- サブマスタ を修正し サブマスタ へ 保存
- サブマスタ を修正し シーン へ 保存
- チェイスステップ を修正し 同じチェイスステップへ保存

修正をおこなうときには、プリセットフェーダを使用します。

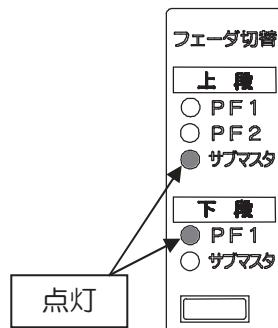
フェーダ切替をPFに設定しないと修正はできません。

フェーダ切替を以下の設定にして修正をしてください。

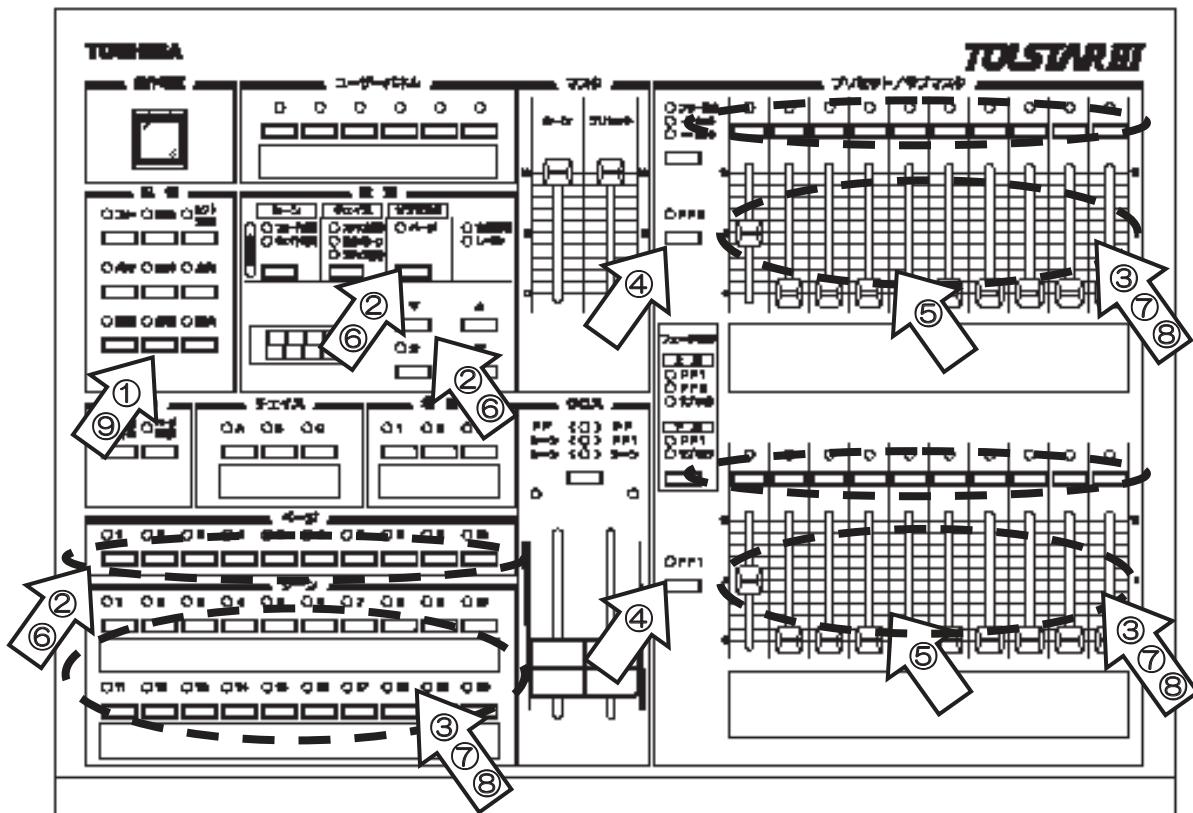
- ・シーンを修正しシーンへ保存する場合
- ・チェイスステップを修正し、同じチェイスステップへ保存する場合



- ・シーンを修正し、サブマスタへ保存する場合
- ・サブマスタを修正し、サブマスタへ保存する場合
- ・サブマスタを修正し、シーンへ保存する場合



シーン、サブマスタを修正する



サブマスタを使用する場合には、フェーダ切替を 上段「サブマスタ」、下段「P F 1」にしてください。上下段とも「サブマスタ」の設定では修正はできません。
(修正に使用するプリセットフェーダがないため)

① 記憶 **修正**を押す

修正LED

点灯

ボタン音

ピッ

② 修正する灯りのページを選択する。

*シーンの場合

シーン **ページ番号**を押す。

ページ番号LED

赤点灯

ボタン音

ピッ

*サブマスタの場合

設定 **サブマスタ**でページにし、**▼** **▲**でページを選択する。

7セグ表示

ページ番号

ボタン音

ピッ

③ 修正する灯りを選択する。

*シーンの場合

シーン シーン番号を押す。

シーン番号LED

緑点滅

ボタン音

ピッ

*サブマスタの場合

プリセット/サブマスター フェーダ選択を押す。

フェーダLED

緑点滅

ボタン音

ピッ

修正に使用する修正段のフェーダ切替LEDの状態

*フェーダ切替 上下段PF1設定時

PF1LED、PF2LED

橙点滅

*フェーダ切替 上段PF2、下段PF1設定時

修正段の PF1LEDまたはPF2LED 橙点滅

*フェーダ切替 上段サブマスター、下段PF1設定時

修正段の PF1LED

橙点滅

④ 修正に使用するプリセットフェーダの段を変更する。

*フェーダ切替 上下段PF1設定時(変更できない)

修正段はPF1固定

*フェーダ切替 上段PF2、下段PF1設定時

プリセット/サブマスター PF1 または PF2 押す。

選択した PF1LEDまたはPF2LED 橙点滅

*フェーダ切替 上段サブマスター、下段PF1設定時(変更できない)

修正段はPF1固定

⑤ 灯りを修正する。

フェーダの位置を保存位置とあわせてから修正する

*プリセットフェーダの位置と保存位置が違っているとき

プリセット/サブマスター フェーダLED 赤点滅 (フェーダ位置不一致)

LEDが点滅しなくなる位置までフェーダを動かす

プリセット/サブマスター フェーダLED 赤調光 (一致した時点から)

プリセットフェーダを動かし修正位置にする

プリセット/サブマスター フェーダLED 赤調光

*プリセットフェーダ位置と保存位置が同じとき

プリセット/サブマスター フェーダLED 赤調光

プリセットフェーダを動かし修正位置にする

プリセット/サブマスター フェーダLED 赤調光

⑥ 保存先のページを選択する

*シーンの場合

シーン ページ番号を押す。

選択した ページ番号 LED

赤点灯

コピー元 ページ番号 LED

緑点滅

ボタン音

ピッ

*サブマスタの場合

設定 サブマスタでページにし、▼ ▲でページを選択する。

アセグ表示

ページ番号

⑦ 保存先を選択する。

*シーンの場合

シーン シーン番号を押す。

既に記憶済みシーンのシーン番号 LED

赤点滅

ボタン音

ピッピッ

未記憶シーンのシーン番号 LED

橙点灯

ボタン音

ピッ (記憶完了)

*サブマスタの場合

プリセット/サブマスター フェーダ選択 を押す。

既に記憶済みフェーダのフェーダ LED

赤点滅

ボタン音

ピッピッ

未記憶フェーダのフェーダ LED

橙点灯

ボタン音

ピッ (記憶完了)

⑧ 既に記憶済みの記憶先に上書き記憶する場合 ⑦に続けて

*シーンの場合

⑦と同じ シーン シーン番号を押す。

シーン番号 LED

橙点灯

ボタン音

ピッ (記憶完了)

*サブマスタの場合

⑦と同じ プリセット/サブマスター フェーダ選択 を押す。

フェーダ LED

橙点灯

ボタン音

ピッ (記憶完了)

⑨ 記憶 修正を押し終了

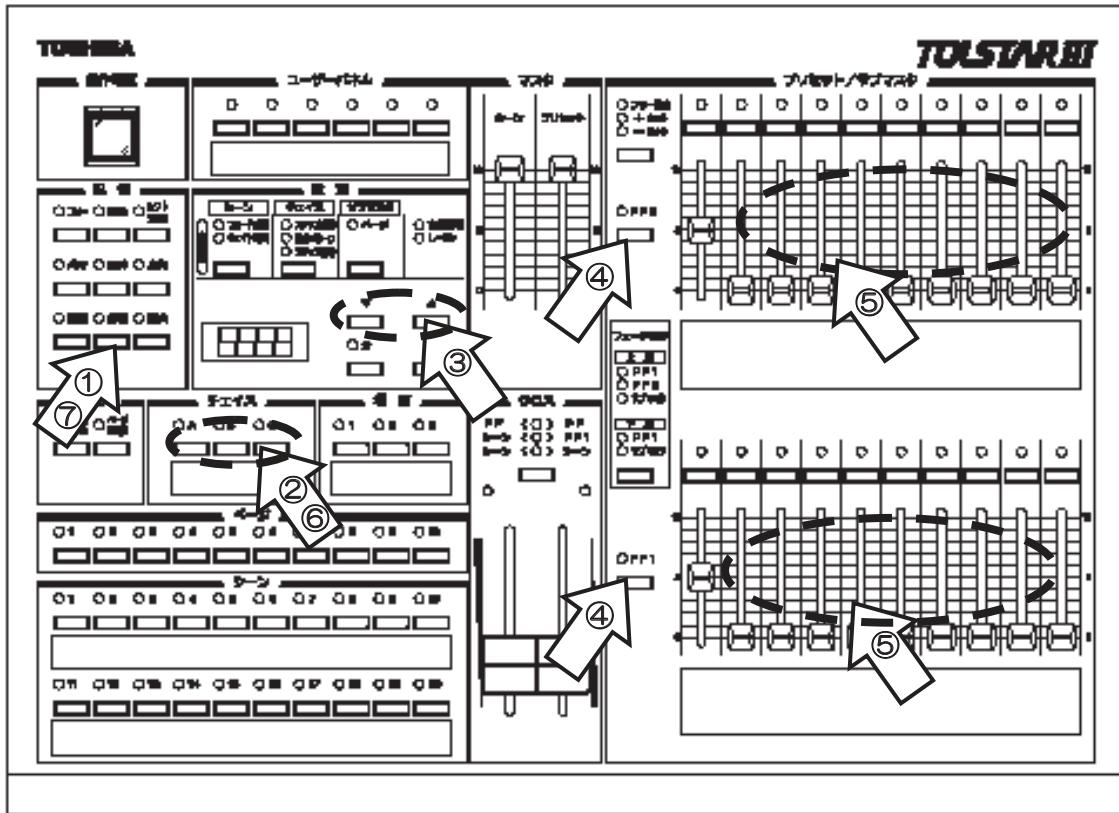
修正 LED

消灯

ボタン音

ピッ

チェイスステップを修正する



チェイスステップの修正は、フェーダ切替を上下段または下段に「P F 1」に設定してください。

① 記憶 **修正**を押す

修正LED

点灯

ボタン音

ピッ

② 修正するチェイスを選択する。

チェイス **チェイス選択** (A, B, C) を押す。

選択したチェイス選択LED

赤点灯

ボタン音

ピッ

③ 修正するステップを選択する。

設定 **▼** **▲** を押す。

7セグ表示

ステップ番号 (A01~C25)

修正に使用する修正段のフェーダ切替LEDの状態

*フェーダ切替 上段P F 1設定時

P F 1 LED、P F 2 LED

橙点滅

*フェーダ切替 上段P F 2、下段P F 1設定時

修正段の P F 1 LEDまたはP F 2 LED 橙点滅

*フェーダ切替 上段サブマスター、下段P F 1設定時

修正段の P F 1 LED

橙点滅

④ 修正に使用するプリセットフェーダの段を変更する。

*フェーダ切替 上下段P F 1 設定時（変更できない）

修正段はP F 1 固定

*フェーダ切替 上段P F 2、下段P F 1 設定時

プリセット/サブ マスタ P F 1 または P F 2 押す。

選択した P F 1 LED または P F 2 LED 橙点滅

*フェーダ切替 上段サブマスター、下段P F 1 設定時（変更できない）

修正段はP F 1 固定

⑤ 灯りを修正する。

*プリセットフェーダの位置と保存位置が違っているとき

プリセット/サブ マスター フェーダLED 赤点滅

プリセットフェーダを保存時の位置に動かす（一致した時点から）

プリセット/サブ マスター フェーダLED 赤調光

プリセットフェーダを動かし修正位置にする

プリセット/サブ マスター フェーダLED 赤調光

*プリセットフェーダ位置と保存位置が同じとき

プリセット/サブ マスター フェーダLED 赤調光

プリセットフェーダを動かし修正位置にする

プリセット/サブ マスター フェーダLED 赤調光

⑥ 保存する。

修正中チェイスのチェイスLED 赤点灯

点灯中のチェイス チェイス選択 (A, B, C) を押す

選択したチェイス選択LED 赤点滅

ボタン音 ピッピッ

もう一度点灯中のチェイス チェイス選択 (A, B, C) を押す

選択したチェイス選択LED 赤点灯

ボタン音 ピッ

⑦ 記憶 修正を押し終了

修正LED 消灯

ボタン音 ピッ

ユーザーパネル を使う

ユーザーパネルを使う

ユーザーパネルの使い方

ユーザーパネルには、6個のボタンがあります。このボタンをON／OFF再生、ハウスライト（客席灯り）再生、ワンタッチシーン再生の3種類で使用します。

操作電源を入れるときの操作で3種類の使い方のうち1種類を選択します。

*ON／OFF

ON／OFFボタンにパッチされている負荷回路をON（100%）、OFF（0%）します。

一つの負荷をON／OFFとプリセットフェーダにパッチすることができます。

*ハウスライト（客席灯り）

明、暗ボタンに記憶した灯りを再生します。

シーンとは別にハウスライト用のフェード時間で再生します。

止ボタンでフェード中の灯りを今の状態で保持します。

明、暗の再生灯りをマスタボタンで調整することができます。

（マスタボタンで操作した灯りは保存できません）

*ワンタッチシーン

6個のシーンをボタンに記憶し、選択した1つをワンタッチシーンとして再生します。

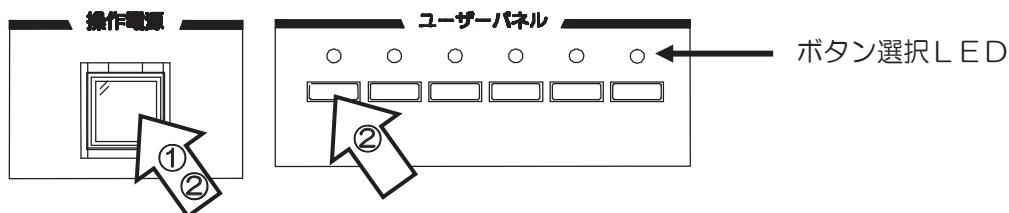
ワンタッチシーンのフェード時間は、シーンのフェード時間と共通です。

ワンタッチシーンは、シーンマスタフェーダ、クロスモード切替ボタンに関係なく再生します。

他の灯りと重ねて再生した場合には、最も明るい灯りが有効になります。

ユーザーパネルの使い方を選ぶ

ON/OFFに設定する



① 操作電源 操作電源を押し、操作電源をOFFします。

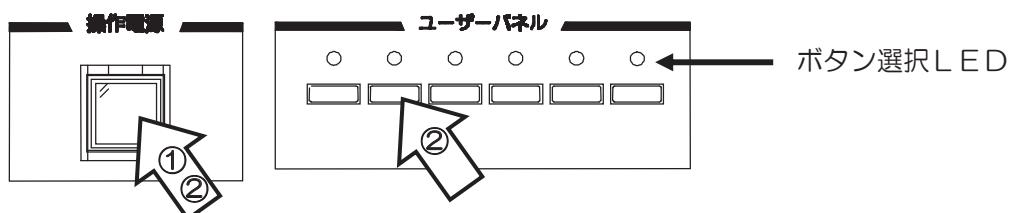
操作電源 消灯

② ユーザーパネル 1 を押しながら、操作電源 操作電源を押す。

操作電源 点灯

ボタン選択LED 1 1秒間点灯

ハウスライト（客席灯り）に設定する



① 操作電源 操作電源を押し、操作電源をOFFします。

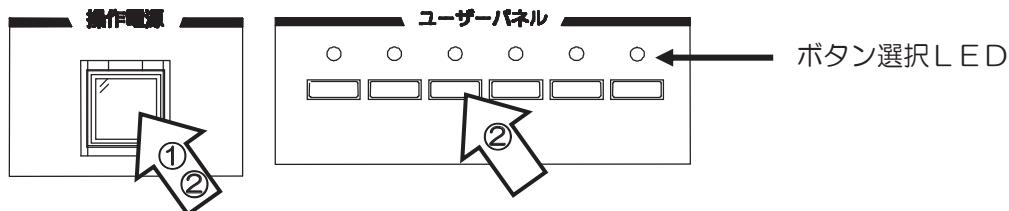
操作電源 消灯

② ユーザーパネル 2 を押しながら、操作電源 操作電源を押す。

操作電源 点灯

ボタン選択LED 2 点灯

ワンタッチシーンに設定する



① 操作電源 操作電源を押し、操作電源をOFFします。

操作電源 消灯

② ユーザーパネル 3 を押しながら、操作電源 操作電源を押す。

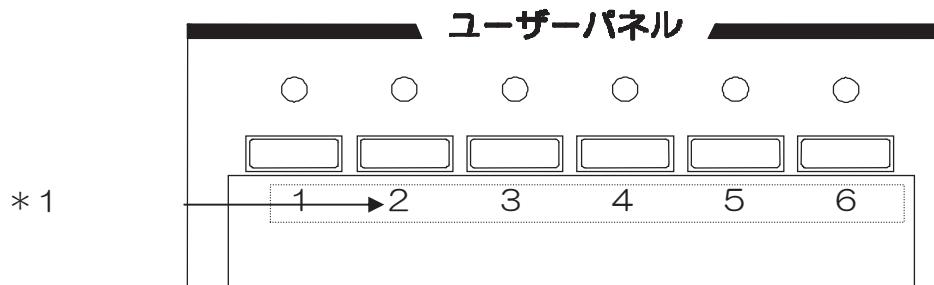
操作電源 点灯

ボタン選択LED 3 1秒間点灯

ON/OFF

ユーザーパネルをON/OFF使用します。

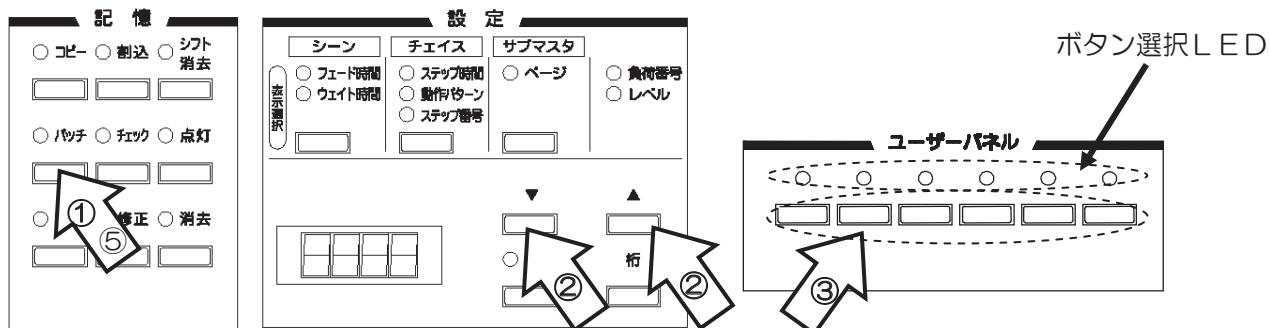
ON/OFFとしてユーザーパネルを使用する場合のボタンの割り付けは以下の通りです。



*1 仕込み記入板に点線枠内の文字を書き込んで使用してください。

1~6 6個のボタン選択ボタンにパッチされている負荷回路をON (100%)、OFF (0%)します。

ON/OFFボタンにパッチを仕込む



ON/OFFボタンに負荷を割付けます。まず、場面を選択しておきます。

デフォルト場面は1対1パッチ固定なので左から負荷番号21～26が割り付けます。デフォルト場面ではパッチを仕込むことはできません。

一つの負荷をON/OFFとプリセットフェーダにパッチすることができます。

① 記憶 パッチを押す

パッチLED 点灯

アセグ表示 負荷番号 (パッチしていない負荷番号の場合、点滅)

ボタン選択LED パッチ仕込みなしボタン 消灯

パッチ仕込み済みボタン 点灯

選択した負荷番号仕込み済みボタン 点滅

ボタン音 ピッ

② 設定 ▼ ▲ を押して割付けたい負荷番号を選択

アセグ表示 負荷番号 (パッチしていない負荷番号の場合、点滅)

③ ユーザーパネル 負荷を仕込むボタンのボタン選択を押す

既にパッチ済みの負荷番号を他のボタンにパッチした場合には

(ボタン選択LED 点滅、ボタン音 ピッピッ)

もう一度ボタン選択を押す

アセグ表示 負荷番号表示 (点灯)

ボタン選択LED パッチしたボタン 点滅

ボタン音 ピッ

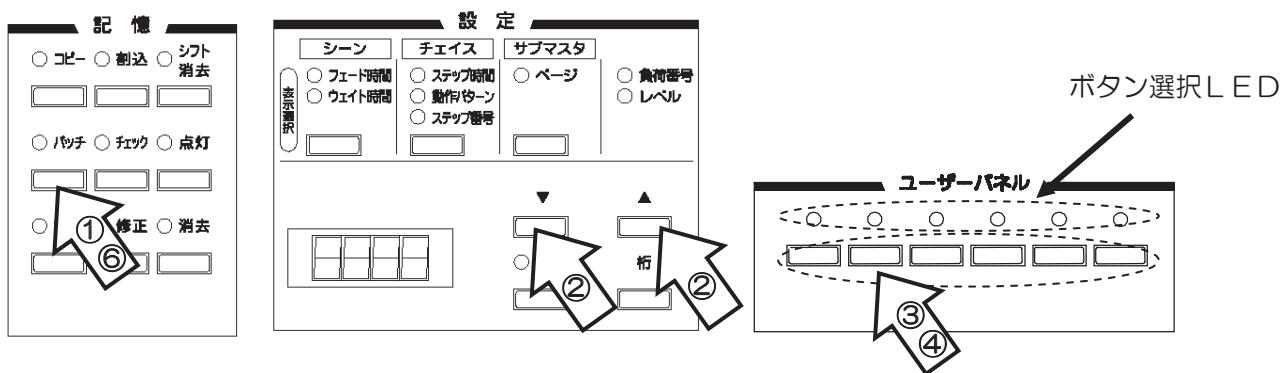
④ ②と③を繰り返し、必要な負荷をパッチする

⑤ 記憶 パッチを押す パッチ作業終了

パッチLED 消灯

ボタン音 ピッ

ON/OFFボタンのパッチを消去する



① 記憶 パッチを押す

パッチLED

点灯

ボタン音

ピッ

② 設定 ▼ ▲を押して消去する負荷番号を選択

アセグ表示

負荷番号（点灯）

③ ユーザーパネル ボタン選択LEDが点滅しているボタン選択を押す

ボタン選択LED 点滅

ボタン音

ピッピッ

④ ユーザーパネル もう一度ボタン選択LEDが点滅しているボタン選択を押すと消去確定

ボタン選択LED 消灯（仕込なし）または点灯（他の仕込みあり）

ボタン音

ピッ

⑤ ③から⑤を繰り返して負荷単位のパッチ消去をする

⑥ 記憶 パッチを押す パッチの負荷単位消去終了

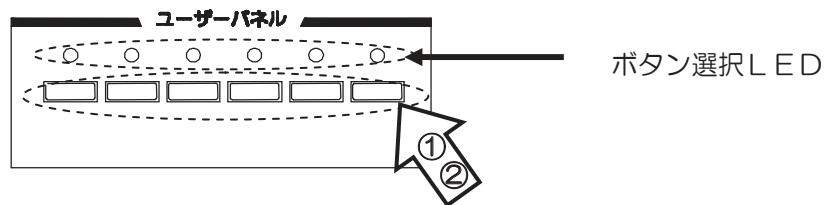
パッチLED 消灯

ボタン音

ピッ

*チェック、点灯の操作もプリセットフェーダへのパッチ同様におこなうことができます。

ON/OFFボタンで負荷を点灯／消灯する



① 点灯させる ユーザーパネル **ボタン選択**を押す

パッチした負荷が点灯する

パッチLED	点灯
--------	----

ボタン音	ピッ
------	----

② 消灯させる ユーザーパネル **ボタン選択**を押す

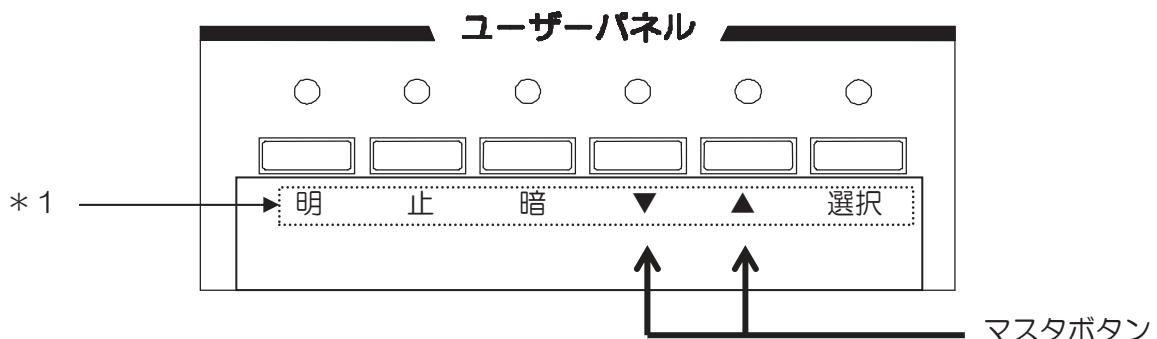
パッチした負荷が消灯する

パッチLED	点灯
--------	----

ボタン音	ピッ
------	----

ハウスライト（客席灯り）

ハウスライトとしてユーザーパネルを使用する場合のボタンの割り付けは以下の通りです。

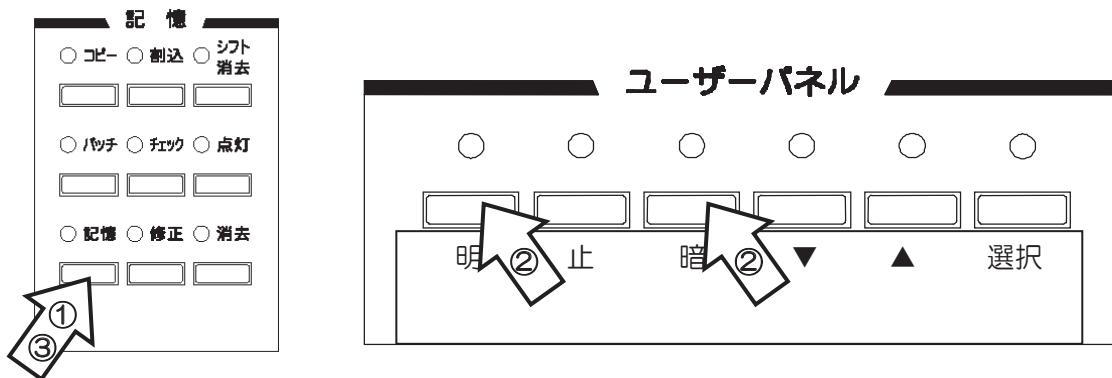


* 1 仕込み記入板に点線枠内の文字を書き込んで使用してください。

ハウスライトで操作した灯りは、シーン、サブマスターと同時に再生されます。
(同じ負荷を複数の操作で点灯した場合は、最も明るい灯りの状態になります。)

客席の灯りを明と暗に記憶し、再生することで、シーン、サブマスター等の演出とは独立して、客席の灯りだけを操作することができます。

明、暗ボタンに灯りを記憶する



記憶する灯りを作り、明、暗を指定して記憶する。

① 記憶 記憶を押す

記憶LED

点灯

明、暗LED

点灯（記憶なし）または点灯（記憶済み）

止LED

消灯

ボタン音

ピッ

② ユーザーパネル

記憶する明または暗LEDが消灯している場合

記憶する明または暗を押す

選択した明または暗LED 点灯

ボタン音 ピッ

記憶する明または暗LEDが点灯している場合（上書き）

記憶する明または暗を押す

選択した明または暗LED 点滅

ボタン音 ピッピッ

LEDが点滅している ユーザーパネル 明または暗を押す

選択した明または暗LED 点灯

ボタン音 ピッ

③ 記憶 記憶を押し終了

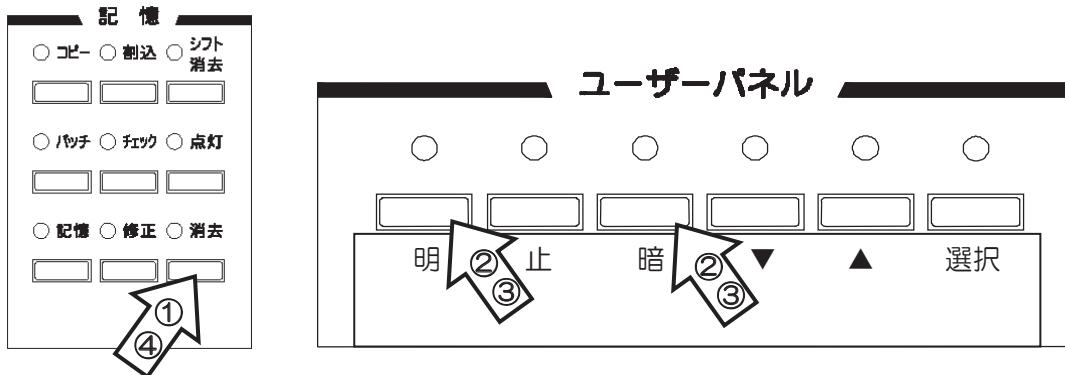
記憶LED 消灯

明、止、暗LED 再生の状態の表示に戻る

ボタン音 ピッ

*明、暗の修正記憶もできます。

明、暗を消去する



① 記憶 消去を押す

記憶LED 点灯

明、止、暗LED 消灯

ボタン音 ピッ

② ユーザーパネル 消去する明または暗を押す

選択した明または暗LED 点滅

ボタン音 ピッピッ

(操作をキャンセルしたいときは、記憶 消去を押す)

③ LEDが点滅している ユーザーパネル 明または暗を押す

選択した明または暗LED 点灯

ボタン音 ピッ

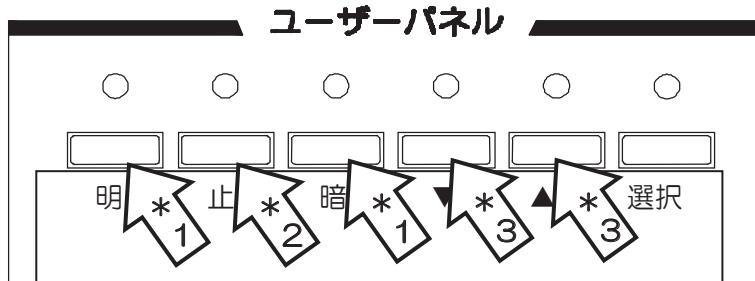
④ 記憶 消去を押し終了

記憶LED 消灯

明、止、暗LED 再生の状態の表示に戻る

ボタン音 ピッ

明、止、暗のボタン再生で灯りを出す



明、暗ボタンを押すことで客席灯りを再生します。明、暗の切り替わりは、設定したフェード時間でフェードチェンジします。フェード時間を客席灯り専用で設定できます。
フェード中の灯りをその状態で止めることができます。▲▼ボタンで客席灯りの手動調整ができます。

* 1 明 または 暗の灯りを再生する

ユーザーパネル **明** または **暗** を押す

ボタン音 ピッ

選択した明または暗 LED フェード中 点滅

止 LED フェード中 消灯

選択した明または暗 LED フェード終了 点灯

止 LED フェード終了 点灯

* 2 フェード中に客席灯りの状態を固定する。

ユーザーパネル **止** を押す

ボタン音 ピッ

再生途中の明又は暗 LED 点滅

止 LED 点灯

* 3 客席灯りを手動で操作する

明、暗の灯りの状態から±10段階で明るさを上下することができます。

(フェード中及び*2の状態では手動操作はできません)

客席灯りを明るくする場合 ユーザーパネル マスタボタン **▲** を押す

7セグ表示 調整レベルを1秒間表示 (-10~10)

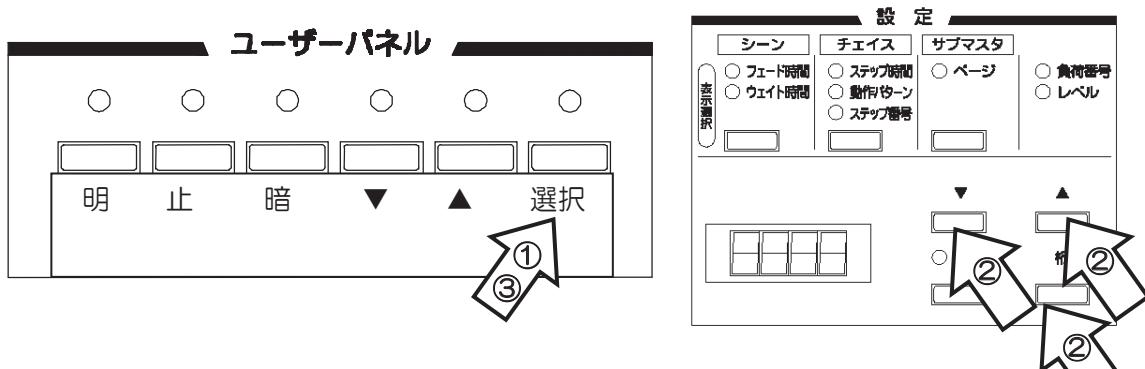
客席灯りを暗くする場合 ユーザーパネル マスタボタン **▼** を押す

7セグ表示 調整レベルを1秒間表示 (-10~10)

7セグ表示が10のとき客席灯りは100%点灯、-10のとき0%（消灯）となります。7セグ表示が0のときは、調整する前の灯りです。

* 2、* 3の状態から* 1を操作すると明、暗の灯りの状態にもどります。

明、暗 再生のフェード時間を変更する



明、暗のフェード時間は「0. 1秒～999. 9秒」まで0. 1秒間隔で設定できます。
ユーザーパネルの選択ボタンを押すことで客席灯りのフェード時間の変更、確認をします。

- ① ユーザーパネル [選択]を押しながら

7セグ表示	(客席灯りの)	フェード時間 (秒)
フェード時間LED		点灯

- ② (ユーザーパネル [選択]を押しながら)

設定	[▼]	[▲]	を押してフェード時間を0. 1秒単位で変更	
さらに	[桁]	[▼]	[▲]	を押すと1秒単位で変更

7セグ表示	(客席灯りの)	フェード時間 (秒)
-------	---------	------------

フェード時間LED		点灯
-----------	--	----

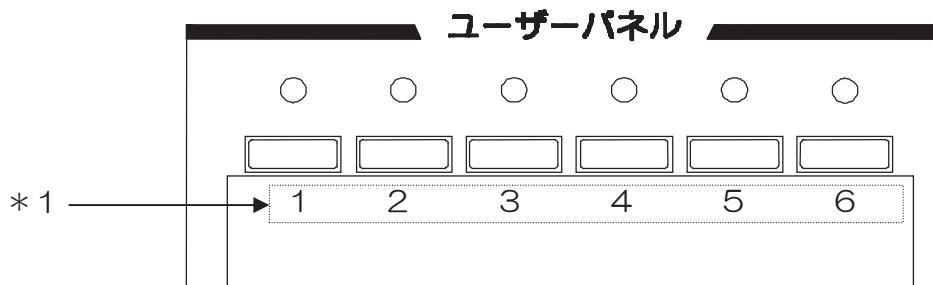
- ③ ユーザーパネル [選択]を離す

7セグ表示	選択を押す前の表示にもどる
-------	---------------

ワンタッチシーン再生をつかう

ユーザーパネルをワンタッチシーンで使用します。

ワンタッチシーンとしてユーザーパネルを使用する場合のボタンの割り付けは以下の通りです。



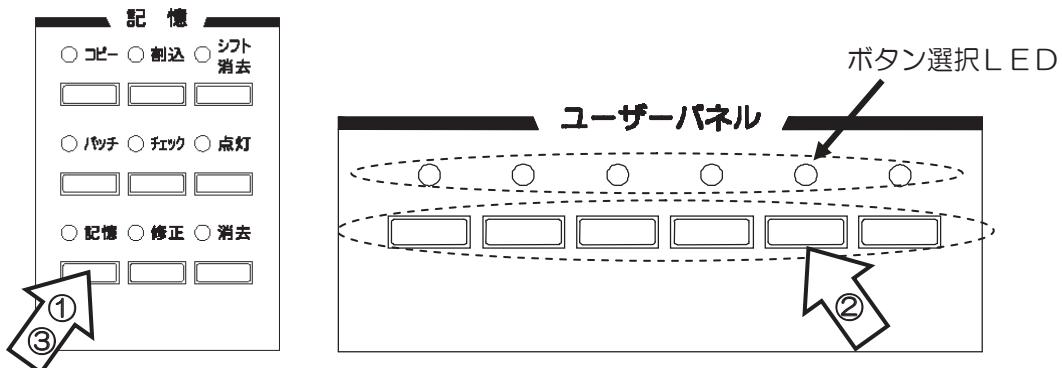
* 1 仕込み記入板に点線枠内の文字を書き込んで使用してください。

ワンタッチシーンで再生した灯りは、シーン、サブマスターと同時に再生されます。

(同じ負荷を複数の操作で点灯した場合は、最も明るい灯りの状態になります。)

ワンタッチシーンによく使う灯りを記憶しておくことで、簡単な操作で灯りを再生することができます。

ワンタッチシーンに灯りを記憶する



記憶する灯りを作り、ボタン選択を指定して記憶する。

① 記憶 **記憶**を押す

記憶LED

点灯

ボタン音

ピッ

② ユーザーパネル

記憶するボタン選択LEDが消灯している場合

記憶する**ボタン選択**を押す

選択したボタン選択LED

点灯

ボタン音

ピッ

記憶するボタン選択LEDが点灯している場合（上書き）

記憶する**ボタン選択**を押す

選択したボタン選択LED

点滅

ボタン音

ピッピッ

もう一度、**ボタン選択**を押す

選択したボタン選択LED

点灯

ボタン音

ピッ

③ 記憶 **記憶**を押し終了

記憶LED

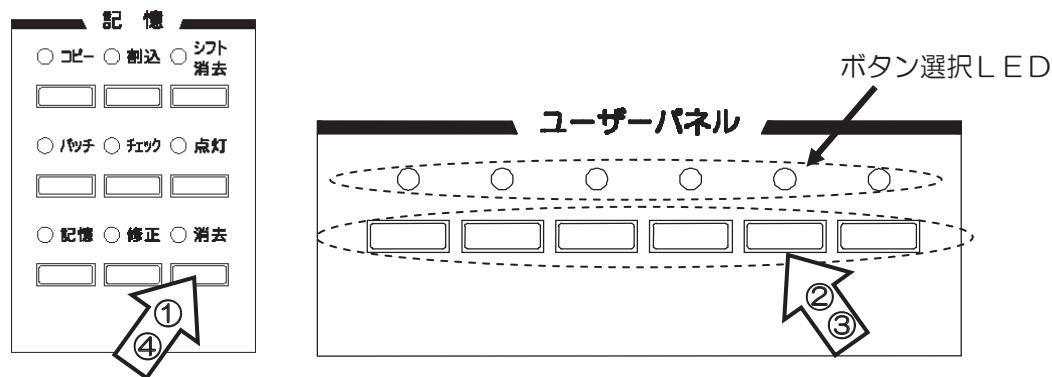
消灯

ボタン音

ピッ

*割込記憶、修正記憶、シーン、サブマスタへのコピーもできます。

ワンタッチシーンを消去する



① 記憶 消去を押す

記憶LED

点灯

ボタン音

ピッ

② ユーザーパネル 消去するボタン選択を押す

選択したボタン選択LED

点滅

ボタン音

ピッピッ

(操作をキャンセルしたいときは、記憶 消去を押す)

③ L EDが点滅している ユーザーパネル ボタン選択を押す

選択したボタン選択LED

点灯

ボタン音

ピッ

④ 記憶 消去を押し終了

記憶LED

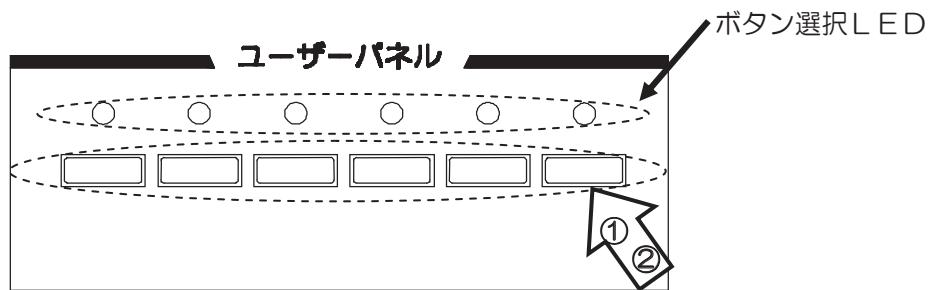
消灯

ボタン音

ピッ

*シフト消去もできます。

ワンタッチシーン再生で灯りを出す（消す）



ボタン選択のボタンを押すことでワンタッチシーン灯りを再生します。シーンの切り替わりは、設定したフェード時間でフェードチェンジします。フェード時間はシーンのボタン再生と共通です。

複数のワンタッチシーンを同時に点灯することはできません。

再生中のワンタッチシーンのボタン選択を押すとそのシーン灯りは消灯します。

- ① ユーザーパネル 再生するボタン選択を押す

選択したボタン選択LED 点灯

ボタン音 ピッ

- ② ユーザーパネル 消灯するボタン選択を押す

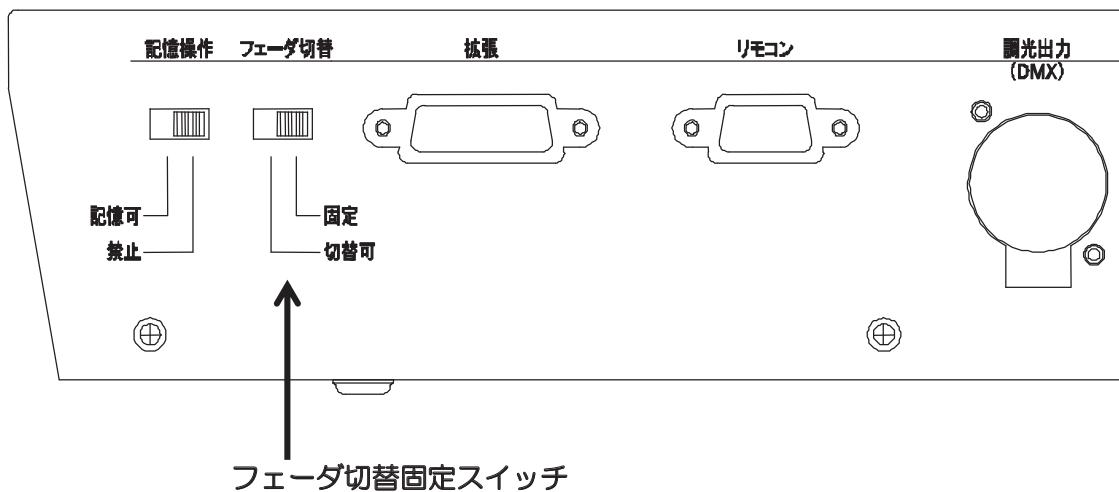
選択したシーン番号LED 消灯

ボタン音 ピッ

その他の機能

フェーダ切替 固定／切替可の設定

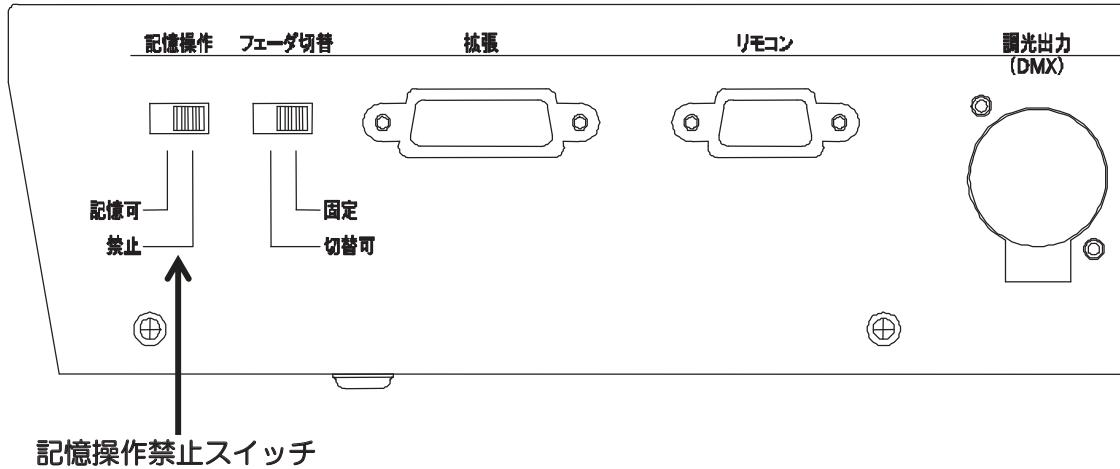
上下段20本フェーダの使い方を固定する場合に設定します。



- ① 背面パネル フェーダ切替を「固定」側（右側）にする
ボタン音 ピッピッ
フリセット/サブ マスター フェーダ切替のボタンが無効になります。
- ② 背面パネル フェーダ切替を「切替可側」（左側）にする
ボタン音 ピッ
フリセット/サブ マスター フェーダ切替のボタンが有効になります。

記憶操作 禁止／記憶可の設定

記憶操作の禁止／切替可を設定します。
離席時や記憶データを保護しておく場合に使用します。



- ① 背面パネル **記憶操作** を「禁止」側（右側）にする

ボタン音 ピッピッ

以下の操作が無効になります。

- ・記憶操作 記憶 修正 消去 パッチ シフト消去 割込 コピー
- ・プリセットのフリー設定

禁止操作をおこなった場合

ボタン音 ピッピッピッ

- ② 背面パネル **記憶操作** を「記憶可」（右側）にする

ボタン音 ピッ

記憶操作が有効になります。

電源OFF時に保持する情報

TOLSTAR3の主電源をOFF後、もう一度ONしたとき、以下の状態は保持されます。

ただし、操作の途中や、操作直後に電源をOFFした場合には、保持されていない可能性があります。

- ・場面

- ・フェーダ切替のモード
- ・クロスフェーダのモード
- ・フリーフェーダの設定
- ・チェイスの動作パターン、ステップ時間
- ・シーンボタン再生のフェード時間
- ・ハウスライトのフェード時間
- ・シーン、サブマスター、チェイス、ワンタッチシーン、ハウスライト 明、暗、パッチの記憶データ
- ・ユーザーパネルの設定
- ・ブザーのON/OFF

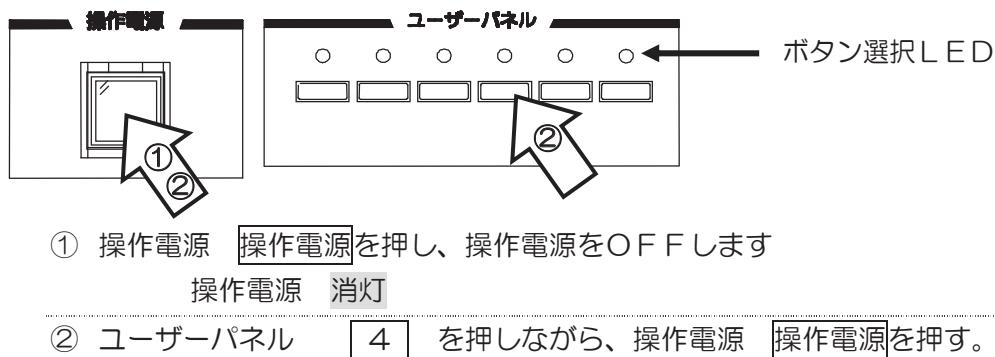
ブザー音について

TOLSTARⅢには、操作確認のためにブザーがついています

ブザー（ボタン音）のなり方

設定や記憶が完了したとき	ピッ
上書きや消去など確認のとき	ピッピッ
無効な操作をしたとき	ピッピッピッ
記憶操作 禁止→記憶可	ピッピッ
フェーダ切替 固定→切替可	ピッピッ

ブザー音が鳴らないようにしたいときは



元に戻すときも同じ操作です。

ブザーがなる設定の時は、操作電源 ON時にブザーが一回なります。

拡張ユニット について

PFユニットと客席調光ユニット

拡張ユニットの種類

別売りのPFユニット、客席調光ユニットを接続することで機能を追加することができます。

拡張ユニットの操作を有効にするためには、TOL STARⅢの設定を変更する必要があります。
「拡張ユニットの操作を有効にする（→P130）」を参照してください。

拡張ユニットをTOL STARⅢに接続する手順は、「拡張ユニットをつなぐ（→P132）」を参照してください。

拡張ユニットには、以下の5種類があります。

- PFユニット 20×2 形式 TRDM3-20J-2P (20本×2段)
- PFユニット 30×2 形式 TRDM3-30J-2P (30本×2段)
- PFユニット 20×3 形式 TRDM3-20J-3P (20本×3段)
- PFユニット 30×3 形式 TRDM3-30J-3P (30本×3段)
- 客席調光ユニット 型式 TRDM3-5J-HL

PFユニットは、2台まで接続することができます。ただし、2段タイプと3段タイプを併用することはできません。客席調光ユニットは、PFユニットの有無に関係なく、1台接続することができます。

拡張ユニットを接続したときの注意点

拡張ユニットと組み合わせることでTOLSTARⅢの動作が変わる部分があります。

(1) パッチ

TOLSTARⅢの開封時と拡張ユニットの有効、無効を切り換えた直後のデフォルト場面、

場面1～3のパッチは下表の通りです。すべて、1対1パッチ(→P40)です。

TOLSTARⅢの設定	プリセットフェーダ 負荷番号	ON/OFF ボタン 負荷番号	客席調光フェーダ 負荷番号
開封時 設定 (拡張ユニット無効)	1～20	21～26	無し
拡張ユニット 有効	1～180	191～198	負181～186

(2) 2段PFユニット(PFユニット20×2、30×2)を接続した場合

①TOLSTARⅢの20本フェーダの設定(フェーダ切替)

TOLSTARⅢのフェーダ切替は上段「サブマスタ」、下段「PF1」に設定できません。

②プリセットフェーダの本数

PFユニットの構成	TOLSTARⅢのフェーダ切替の設定	
	サブマスタ	サブマスタ以外
20×2 1台	40本1段 又は 20本2段	60本1段 又は 30本2段
30×2 1台	60本1段 又は 30本2段	80本1段 又は 40本2段
20×2 2台	80本1段 又は 40本2段	100本1段 又は 50本2段
20×2 + 30×2	100本1段 又は 50本2段	120本1段 又は 60本2段
20×3 2台	120本1段 又は 60本2段	140本1段 又は 70本2段

(3) 3段PFユニット(PFユニット20×3、30×3)を接続した場合

①TOLSTARⅢの20本フェーダの設定(フェーダ切替)

TOLSTARⅢのフェーダ切替は、上段、下段ともに「サブマスタ」の固定設定になります。

プリセットフェーダの1段、3段の切り替えは、PFユニットの **一段切替** でおこないます。

②プリセットフェーダの本数

PFユニットの構成	フェーダ切替の設定
20×3 1台	60本1段 又は 20本3段
30×3 1台	90本1段 又は 30本3段
20×3 2台	120本1段 又は 40本3段
20×3 + 30×3	150本1段 又は 50本3段

③プリセットフェーダのクロス再生

TOLSTARⅢのクロスマード切替を「PF1-PF2」に設定することで、PF1、PF2、PF3の任意の段をクロスフェーダに割りつけて灯りを出すことができます。

(4) 客調ユニットを接続した場合

①ユーザーパネルの設定

ユーザーパネルの設定は、「ワンタッチシーン」固定となります。

客席調光とON/OFFスイッチの操作は、客席調光ユニットでおこないます。

各ユニットの操作方法については、各ユニット付属の取扱説明書をご参照ください。

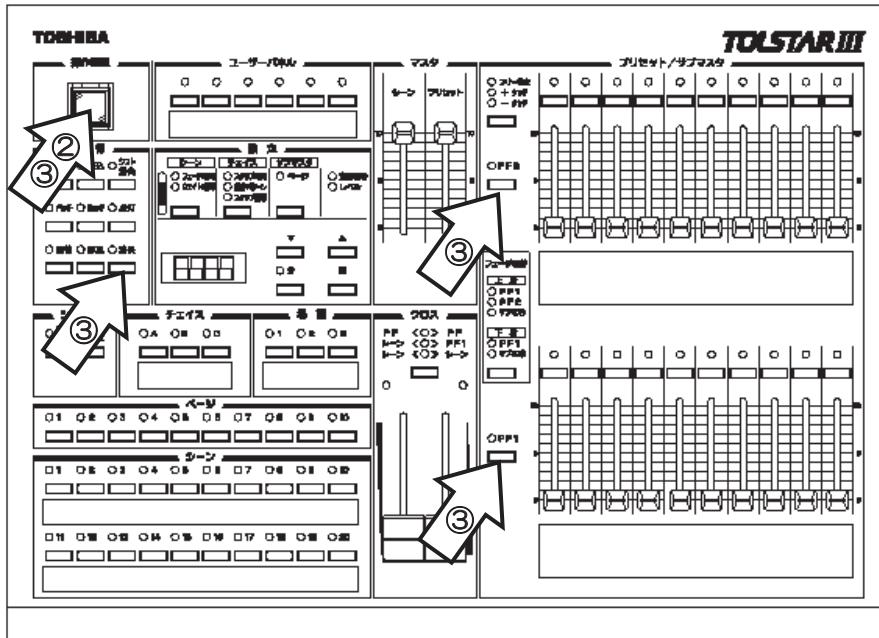
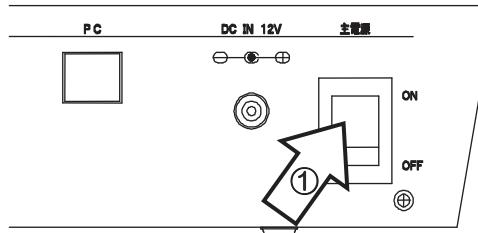
拡張ユニットの操作を有効にする

拡張ユニットの操作を有効にする

拡張ユニットを使用する前に、以下の操作をおこなってください。

注意：以下の操作を実施すると保存したデータはすべて消去されます。

TOLSTARⅢは、開封時、拡張ユニットが動作しないモード（TOLSTARⅢが単体で動作するモード）に設定されています。拡張ユニットを接続する前に必ず以下の操作をおこない、拡張ユニットが動作するモードに設定してください。



① 背面スイッチの**主電源**をONにする。

② 操作電源 操作電源スイッチLEDが消灯している場合は、③へ
操作電源スイッチLEDが点灯している場合は**操作電源スイッチ**を押す
操作電源スイッチLED 消灯

③ 拡張ユニットを有効にする

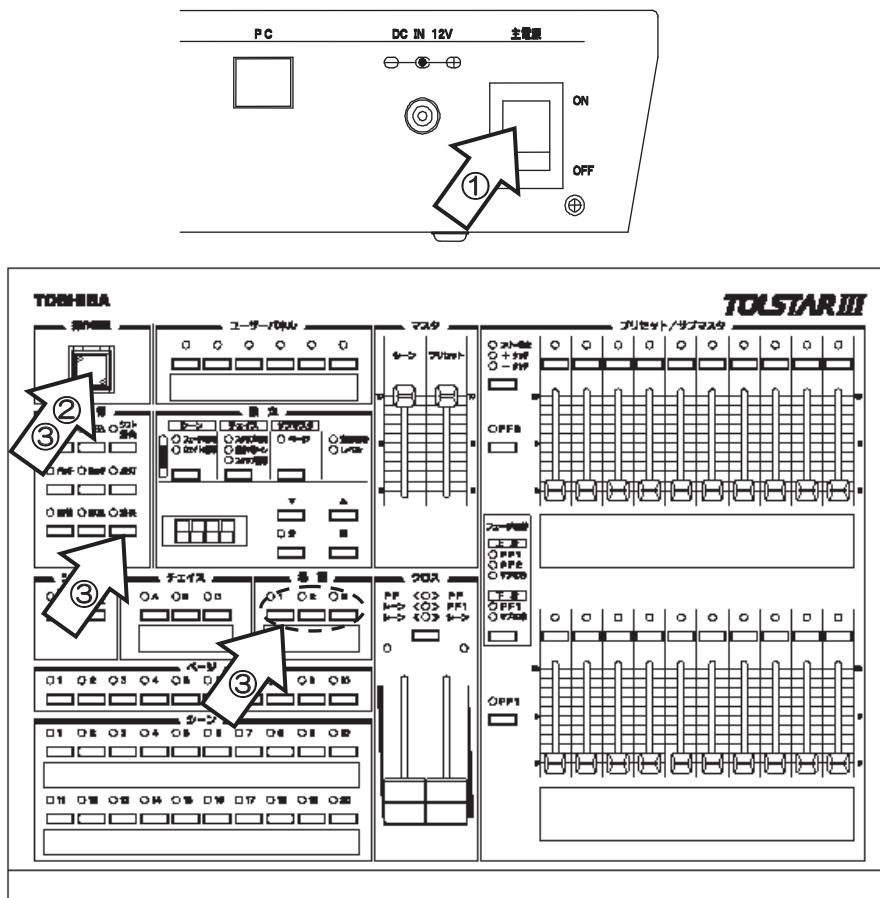
プリセット/サブマスタ	PF1、PF2 と
記憶	消去 の3つのボタンを押しながら、
操作電源	操作電源スイッチ を押す
操作電源	操作電源スイッチLED 消灯
設定	7セグ表示 OPOn を表示（1秒）

拡張ユニットの操作を無効にする

拡張ユニットが動作しないモード（TOLSTARⅢ本体が単体で動作するモード）に戻す場合は、以下の操作をおこなってください。

注意：以下の操作を実施すると保存したデータはすべて消去されます。

TOLSTARⅢは、開封時、拡張ユニットが動作しないモード（TOLSTARⅢが単体で動作するモード）に設定されています。拡張ユニットの操作を有効にした後（←P130）、開封時の状態に戻したいときに以下の操作を実施してください。



- ① 背面スイッチの主電源をONにする。
- ② 操作電源 操作電源スイッチLEDが消灯している場合は、③へ
操作電源スイッチLEDが点灯している場合は操作電源スイッチを押す
操作電源スイッチ LED 消灯
- ③ 拡張ユニットを無効にする
場面 1、2、3と
記憶 消去 の4つのボタンを押しながら、操作電源スイッチを押す
設定 7セグ表示 OPDF を表示（1秒）

拡張ユニットをつなぐ



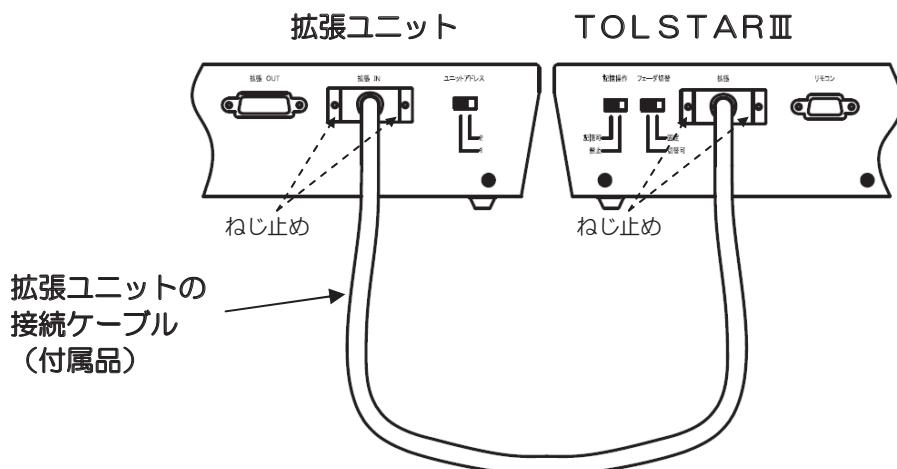
警 告



- 配線を接続するときは、TOL STARⅢ本体の主電源をOFFし、電源ケーブルをコンセント（AC 100V）につながないでください。
感電・故障の恐れがあります。

TOL STARⅢと拡張ユニット1台をつなぐ場合

TOL STARⅢの拡張コネクタと拡張ユニットの拡張INコネクタ間を接続ケーブルでつなぎます。接続ケーブルは本体にねじ止めしてください。



拡張ユニットを複数台つなぐ場合

TOL STARⅢには、最大3台の拡張ユニットを接続できます。

P Fユニットは、2台まで接続することができます。ただし、2段タイプと3段タイプを併用することはできません。客席調光ユニットは、P Fユニットの有無に関係なく、1台接続することができます。



警 告



- 配線を接続するときは、TOL STARⅢ本体の主電源をOFFし、電源ケーブルをコンセント（AC100V）につながないでください。
感電・故障の恐れがあります。

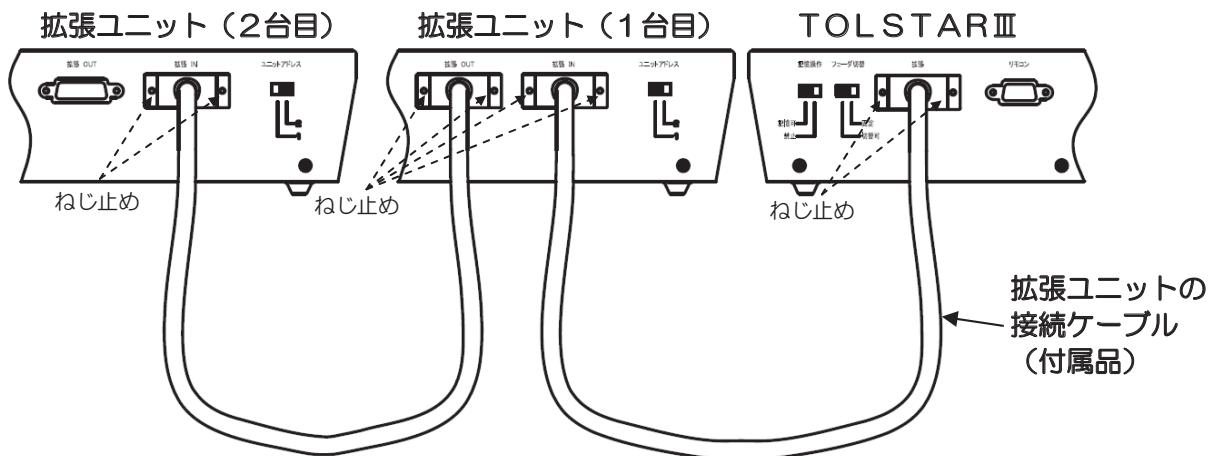
TOL STARⅢ本体の拡張コネクタと1台目の拡張ユニットの拡張INコネクタをつなぎ、順次、1台目の拡張OUTコネクタと2台目の拡張INコネクタ、2台目の拡張OUTコネクタと3台目の拡張INコネクタをつなぎます。

P Fユニットを2台接続して使用する場合、ユニットアドレスの設定が必要となります。

1台目のP Fユニットはユニットアドレススイッチを【1】に、2台目のP Fユニットは【2】に設定してください。

2段P Fユニット使用時は、P F20×2又はP F30×2の組み合わせで接続してください。

3段P Fユニット使用時は、P F20×3又はP F30×3の組み合わせで接続してください。2段P Fユニット（P F20×2、P F30×2）と3段P Fユニット（P F20×3、P F30×3）は接続できません。



注意：ユニットアドレススイッチの操作はTOL STARⅢの主電源をOFFにして行ってください。

PFユニットのチャンネル割り付け

PFユニットのフェーダとチャンネルの関係は、TOLSTARⅢのフェーダ切替とPFユニットの1段切替のボタン操作により切り替えます。

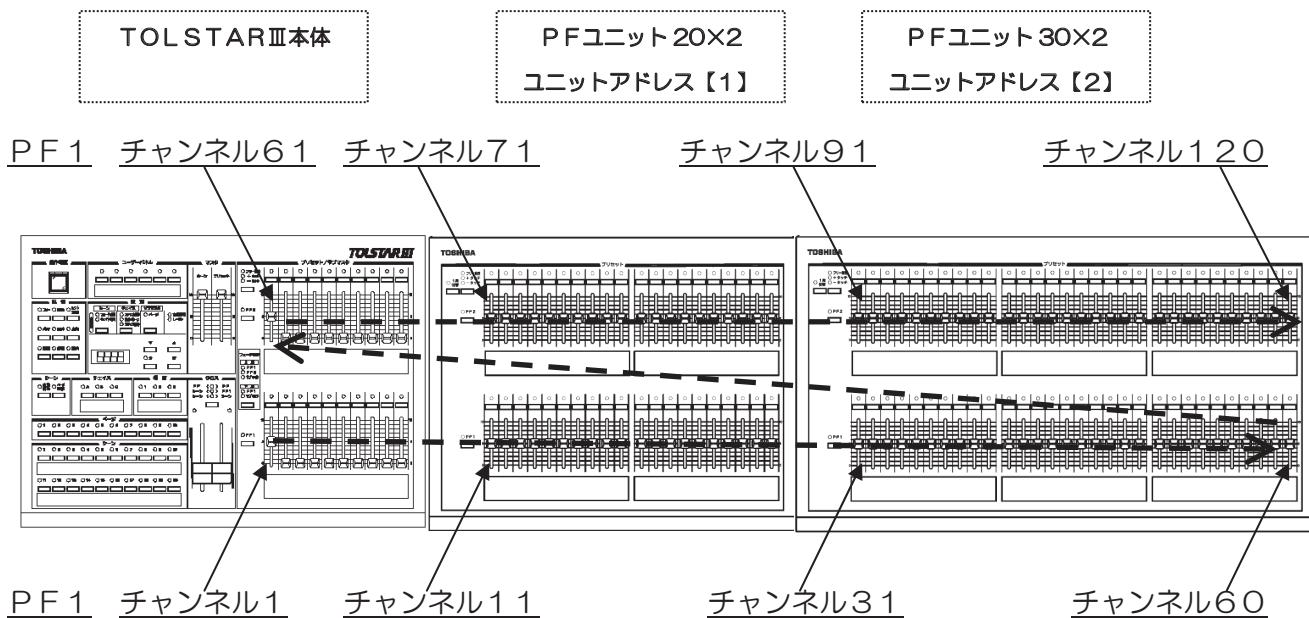
PF2段ユニットの場合（例：PFユニット 20×2と30×2の組み合わせ）

(1) TOLSTARⅢ フェーダ切替が上段「PF1」、下段「PF1」の時

120本×1段（PF1）のプリセットフェーダとなります。

下段左端がチャンネル1 → 下段右端 → 上段左端 → 上段右端 の順に割り付きます。

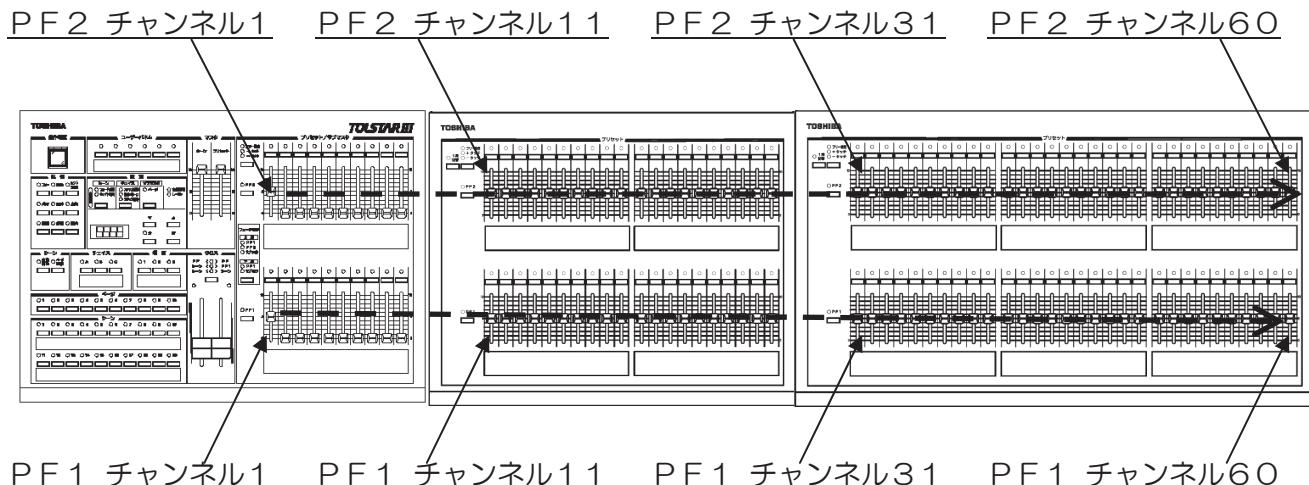
このとき、PFユニットの1段切替LEDは点灯しています。



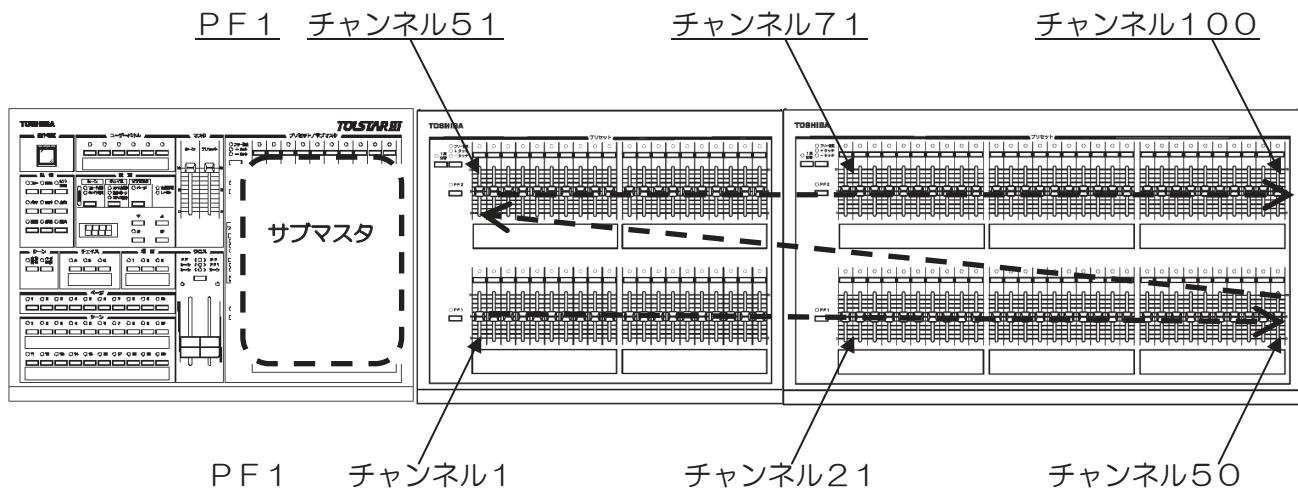
(2) TOLSTARⅢ フェーダ切替が上段「PF2」、下段「PF1」の時

60本×2段（上段PF1、下段PF2）のプリセットフェーダになります。

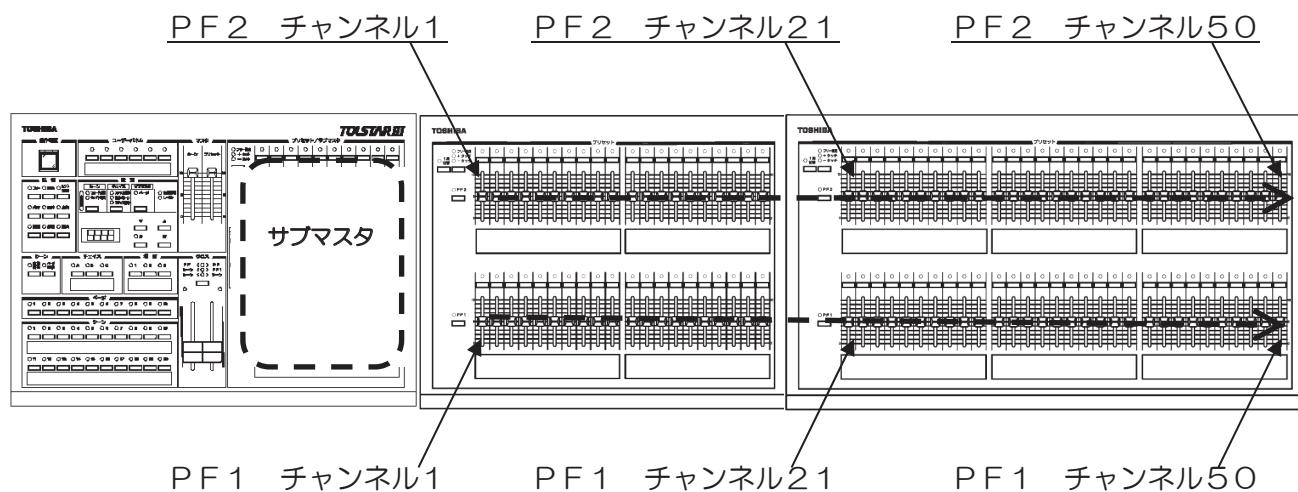
このとき、PFユニットの1段切替LEDは消灯しています。



- (3) TOLSTARⅢ フェーダ切替が上段「サブマスタ」、下段「サブマスタ」の時
かつ、PFユニット 1段切替が1段（LED点灯）の時
20本のサブマスタ と 100本×1段（PF1）のプリセットフェーダになります。



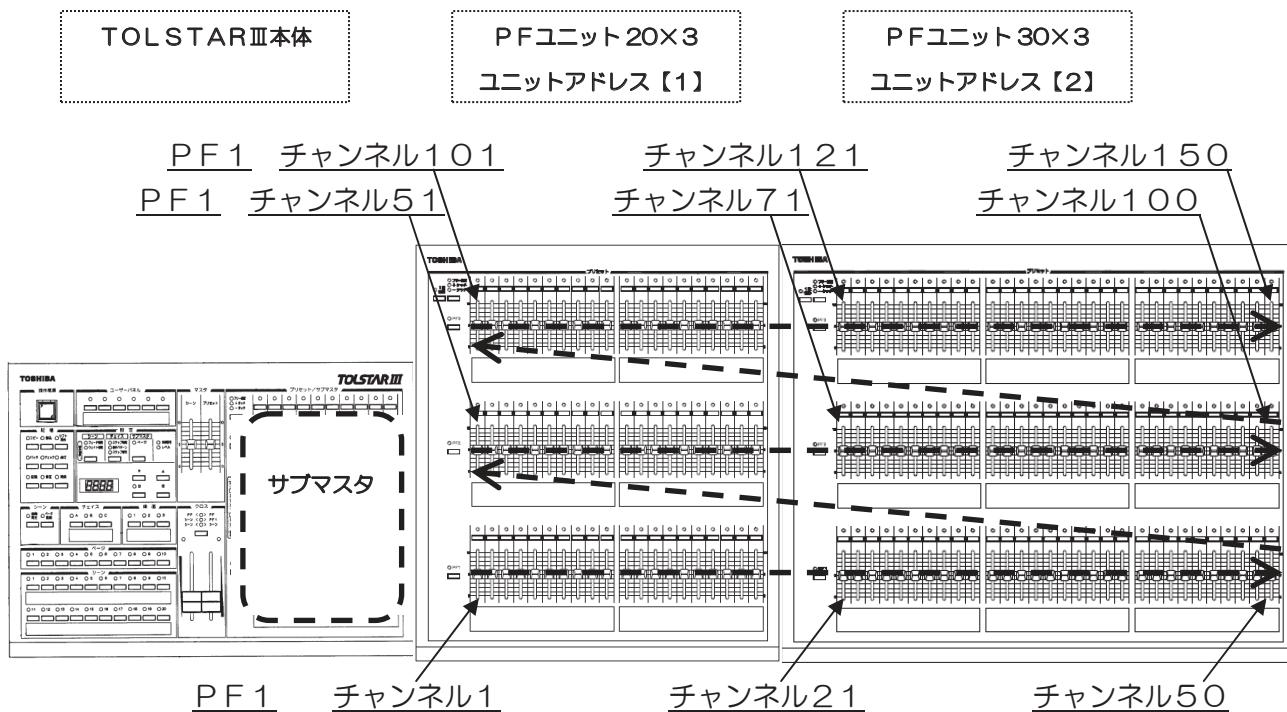
- (4) TOLSTARⅢ フェーダ切替が上段「サブマスタ」、下段「サブマスタ」の時
かつ、PFユニット1段切替が設定無し（LED消灯）の時
20本のサブマスタ と 50本×2段のプリセットフェーダになります。



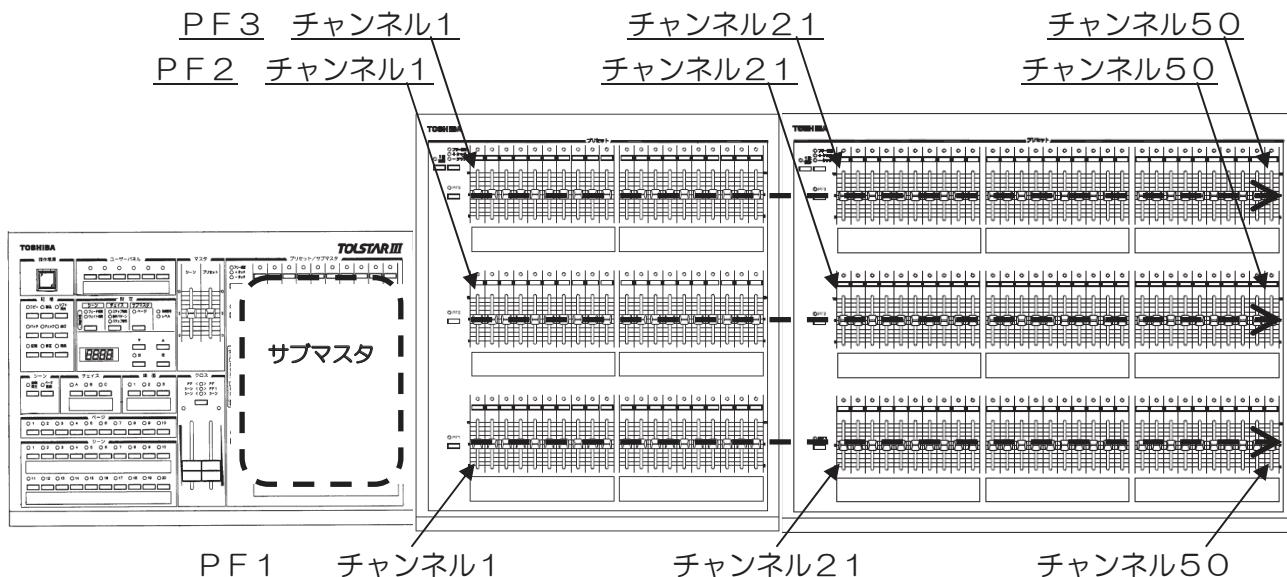
PF3段ユニットの場合（例：PFユニット20×3と30×3の組み合わせ）

注意：PF3段ユニット接続時、TOLSTARⅢのフェーダはサブマスタ固定となります。

- (1) TOLSTARⅢ フェーダ切替が上段「サブマスタ」、下段「サブマスタ」の時
かつ、PFユニット 1段切替が1段（LED点灯）の時
20本のサブマスタと150本×1段（PF1）のプリセットフェーダになります。



- (2) TOLSTARⅢ フェーダ切替が上段「サブマスタ」、下段「サブマスタ」の時
かつ、PFユニット 1段切替が設定なし（LED消灯）の時
20本のサブマスタと50本×3段のプリセットでフェーダになります。



点検、仕様 について

故障かなと思ったら

・トルスター3が動かない

確認1 ACアダプタのLED（緑）は点灯していますか

⇒ コンセントにAC100Vが供給されていること確認し、ACアダプタをコンセントに差してください。

確認2 ACアダプタと本体は接続されていますか。

⇒ ACアダプタを本体に接続してください。

確認3 主電源スイッチはONになっていますか。

⇒ 主電源をONしてください。

確認4 操作電源のLEDは点灯していますか。

⇒ 操作電源をONしてください。

・灯りがでない

確認1 調光出力コネクタにケーブルは差さっていますか

⇒ DMX規格のケーブルで本体と調光装置を接続してください。

確認2 場面は正しいですか

⇒ 使用する場面を選択してください

確認3 プリセットマスタ、シーンマスタが0%（一番手前）になっていませんか

⇒ プリセットマスタ、シーンマスタを上げてください

確認4 パッチはされていますか

⇒ プリセットフェーダに負荷をパッチしてください

・プリセットフェーダで灯りがでない

確認1 場面は正しいですか

⇒ 使用する場面を選択してください

確認2 プリセットマスタが0%（一番手前）になっていませんか

⇒ プリセットマスタを上げてください

確認3 クロスフェーダが0%（一番手前）になっていませんか

⇒ クロスフェーダを操作してください

確認4 フェーダ切替の設定は正しいですか

⇒ フェーダ切替を上段「PF1」 下段「PF1」又は上段「PF2」 下段「PF1」
「上段サブマスタ 下段PF1」に設定してください。

確認5 クロスフェーダのモードは正しいですか

⇒ クロスフェーダのモードを「PF-PF」または「シーン-PF1」に設定して、クロス
フェーダを動かしてください。

確認6 パッチはされていますか

⇒ フェーダに負荷をパッチしてください

・シーンのクロス再生ができない

確認1 シーンマスタが0%（一番手前）になっていませんか

⇒ シーンマスタを上げてください

確認2 クロスフェーダのモード、クロスフェーダの位置は正しいですか

⇒ クロスフェーダのモードを「シーン—P F 1」、「シーン—シーン」設定し、クロスフェーダを操作してください

・シーンのボタン再生ができない

確認1 シーンマスタが0%（一番手前）になっていませんか

⇒ シーンマスタを上げてください

確認2 クロスフェーダのモードは正しいですか

⇒ クロスフェーダのモードを「P F—P F」設定し、シーン番号ボタンを押してください。

確認3 シーンは記憶されていますか（記憶済みシーンのシーン番号LEDは橙点灯）

⇒ シーンを記憶してから再生してください。

・シーンの自動差再生ができない

確認1 シーンマスタが0%（一番手前）になっていませんか

⇒ シーンマスタを上げてください

確認2 クロスフェーダのモードは正しいですか

⇒ クロスフェーダのモードを「P F—P F」設定し、シーン番号ボタンを押してください。

・パッチができない

確認1 場面がデフォルト場面になっていませんか。（場面 1, 2, 3 LEDが消灯）

⇒ 場面1～3を選択してください（→P37）

確認2 本体 背面パネルの記憶操作スイッチが「禁止」になっていませんか

⇒ 記憶操作スイッチを「記憶可」に設定してください。

・記憶、消去、修正、割込、シフト消去、コピーができない

確認1 本体 背面パネルの記憶操作スイッチが「禁止」になっていませんか

⇒ 記憶操作スイッチを「記憶可」に設定してください。

・プリセットフェーダがフリー設定にできない

確認1 本体 背面パネルの記憶操作スイッチが「禁止」になっていませんか

⇒ 記憶操作スイッチを「記憶可」に設定してください。

確認2 フェーダ切替がサブマスタになっていますか

⇒ フェーダ切替を上段「P F 1」下段「P F 1」又は上段「P F 2」下段「P F 1」上段「サブマスタ」下段「P F 1」に設定してください。（→P31）

・フェーダ切替ができない

確認1 本体 背面パネルのフェーダ切替スイッチが「固定」になっていませんか

⇒ フェーダ切替スイッチを「切替可」に設定してください。

確認2 状態が変わるが側の段 10本のフェーダがすべて0%（手前側）になっていますか

⇒ すべて0%にしてください。

・ON/OFFの操作ができない

確認1 ユーザーパネルの設定は正しいですか

⇒ ユーザーパネルを設定してください。（→P108）

確認1 場面1～3を使用している場合、ボタンに負荷をパッチはしましたか

⇒ ボタンに負荷をパッチしてください。（→P110）

・ハウスマイト（客席灯り）の操作ができない

確認1 ユーザーパネルの設定は正しいですか

⇒ ユーザーパネルを設定してください。（→P108）

・ワンタッチシーンの操作ができない

確認1 ユーザーパネルの設定は正しいですか

⇒ ユーザーパネルを設定してください。（→P108）

・ブザー音（ボタン音）がしない

確認1 ブザー音がしない設定になっていますか

⇒ ブザー音を設定してください。（→P126）

日常点検

日常点検

TOL STARⅢを安全にご使用いただくために日常点検をおこなってください。

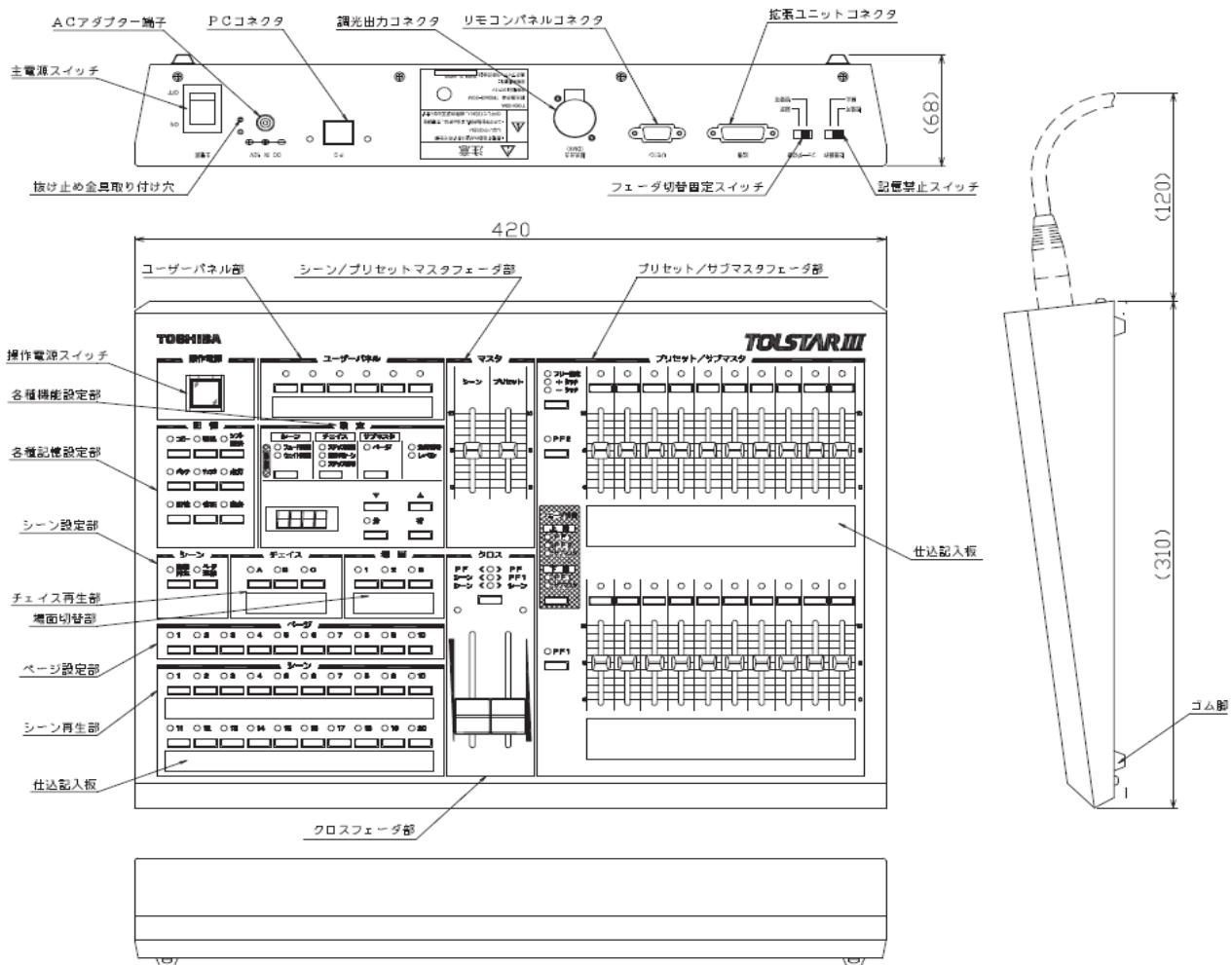
確認部位	確認内容	処置
ACアダプタ 電源ケーブル	ACアダプタと電源ケーブルが確実に接続されているか	コンセントから電源ケーブルを抜いた後、接続してください
ACアダプタ TOL STARⅢ本体	TOL STARⅢ本体とACアダプタのコネクタが確実に接続されているか	コンセントから電源ケーブルを抜いた後、接続してください
電源ケーブル	電源ケーブルに変形、亀裂がないか	交換をお勧めします
ACアダプタ	ACアダプタ、ACアダプタのケーブルに変形、亀裂はないか	お買い上げ販売店（工事店）へご相談ください
ACアダプタ	異常な発熱はないか	
TOL STARⅢ本体	LED、ボタン、スイッチに破損はないか 動作に異常はないか	お買い上げ販売店（工事店）へご相談ください
TOL STARⅢ本体 ACアダプタ 電源ケーブル	汚れていないか	清掃してください

定期点検のお勧め

使用期間における経年変化またはご使用の状況によって、消耗、劣化する部品または絶縁の低下が懸念されます。専門技術者による定期点検をお勧めします。

定期点検は弊社との保守点検契約をお勧めします。

概略仕様



基本仕様

型名	TRDM3-20M	サブマスタ再生	20本×15ページ／場面
本体質量 (kg)	4.5 kg (ACアダプタ含まず)	チエイス再生	3パターン×25ステップ／場面 ステップ時間0.1～99.9秒
本体入力電源	DC12V±10% (ACアダプタにより供給)	客席調光 *1	自動調光 明、暗 手動レベル設定 (▼▲ボタン)
消費電流	(DC12V) 1A以下	ON/OFF *1	6個
動作環境	屋内、結露しないこと	ワンタッチシーン*1	6シーン
周囲温度	0～40°C	付属品	ACアダプタ 入力容量 最大143VA 入力電源 AC100V50/60HZ 仕込み記入板 一式 抜け止め金具
制御調光回路数	DMX512/1990 1系統	*1 ユーザーパネルの設定により客席調光、ON/OFF、 ワンタッチシーンのうち1つを使用できます。	
パッチ場面数	3場面+固定 1場面		
マスター/フェーダ	プリセットマスター 1本 シーンマスター 1本		
プリセットフェーダ	20本 (サブマスターと切替) 20本×1段、10本×2段		
クロスフェーダ	1組		
シーン再生方式	シーンボタン再生、クロス再生/ 自動再生		
シーンフェード時間	0.0～999.9秒		
シーン自動再生時間 (1シーン毎)	フェード時間、ステップ時間 0.1秒～9時間59分59.9秒		

添付資料

「添付 TOLSTAR3で使われるソフトウェアのライセンス情報」

TOLSTAR3で使用されているソフトウェアの一部に第三者が著作権を持つフリーソフトウェア「μIP」を含んでいます。本フリーソフトウェアの動作に関して、保障は第三者には無く弊社によって保障されます。

なお、本フリーソフトウェアのライセンスではソフトウェアコードの開示は行いません。

TOLSTAR3で使用されているフリーソフトウェアのライセンスは、弊社以外の第三者による規定であるため、原文（英文）を記載します。

「TOLSTAR3で使用されているフリーソフトウェアのライセンス原文（英文）」

Copyright (c) 2001–2006, Adam Dunkels and the Swedish Institute of Computer Science
All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. The name of the author may not be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE AUTHOR `AS IS' AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

保証について

- ・保証期間は、商品お買上げ日より1年間です。但し、LED器具の点灯装置は3年間です。取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合に、無償修理させていただきます。
- ・ランプ、点灯管、電池などの消耗品は対象外です。

※保証の例外

24時間連続使用など、1日20時間以上の長時間使用の場合は、上記の半分の期間とします。

保証の免責事項

1. 保証期間内でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。
 - (1) 使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷
 - (2) お買い上げ後の取り付け場所移設、輸送、落下などによる故障及び損傷
 - (3) 火災、地震、水害、落雷、その他天災地変、異常電圧、指定外の使用電源（電圧、周波数）などによる故障及び損傷
 - (4) 車両、船舶等に搭載された場合に生じる故障及び損傷
 - (5) 施工上の不備に起因する故障や不具合
 - (6) 法令、取扱説明書で要求される保守点検を行わぬことによる故障及び損傷
 - (7) 日本国内以外での使用による故障及び損傷
2. 離島および離島に準ずる遠隔地への出張修理を行った場合には出張に要する実費を申し受けます。

修理を依頼されるとき

- ・保証期間中は、お買上げ日を特定できるものを添えてお買上げ販売店（工事店）までお申し出ください。
 - ・保証期間を過ぎている時は、お買上げ販売店（工事店）にご相談ください。
- 修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理させていただきます。
- ・アフターサービスについてご不明な点並びに修理に関するご相談は、お買上げ販売店（工事店）にお問い合わせください。その際は器具の形名、お買上げ時期をお忘れなくお知らせください。

日本国内専用
Use only in Japan

東芝ライテック株式会社 <https://www.tlt.co.jp>

北海道 地 区 (首 都 圏 営 業 所)	〒063-0814 北海道札幌市西区琴似4条2-1-2 コルテナII	TEL.011-624-1181	FAX.011-615-3168
東 北 営 業 所	〒980-0803 宮城県仙台市青葉区国分町2-2-2 東芝仙台ビル	TEL.022-264-7261	FAX.022-263-7660
首 都 圏 営 業 所	〒212-8585 神奈川県川崎市幸区堀川町72-34 ラゾーナ川崎東芝ビル	TEL.050-3148-9825	FAX.044-548-9638
中 部 営 業 所	〒451-0064 愛知県名古屋市西区名西2-33-10 名西二丁目ビル	TEL.050-3191-3163	FAX.052-528-1545
関 西 営 業 所	〒530-0017 大阪府大阪市北区角田町8番1号 大阪梅田ツインタワーズ・ノース	TEL.050-3147-0843	FAX.06-6130-1169
中 国 営 業 所	〒730-0017 広島県広島市中区鉄砲町7-18 東芝フコク生命ビル	TEL.050-3164-9903	FAX.082-212-1249
九 州 営 業 所	〒810-0072 福岡県福岡市中央区長浜2-4-1 東芝福岡ビル	TEL.050-3191-7172	FAX.092-735-3446

営業所名・住所・電話番号などは変更になる場合があります。
最新情報は右記 QRコードより弊社ホームページをご確認ください。



お読みになったあとも必ず保存してください。

233248I